RT−200KI 詳細取扱説明書

Ver.1.4

目次

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

2 本商品の設定画面

3 付録

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

マニュアルの見かた

1 こんなときにはこの設定にする

本商品で利用できるサービスについて説明します。概要、データ設定、環境構築、使用方法などについてまとめました。

■ひかり電話に関する設定
有線IP端末や無線IP端末を利用したときの電話サービスについてまとめました。

■インターネットに関する設定
インターネット接続を利用したときの各種サービスについてまとめました。

2 本商品の設定画面

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Webブラウザ画面が表示されます。この章では画面単位の設定内容について説明します。

3 付録

付録として用語集、設定記入シートを載せましたので活用してください。

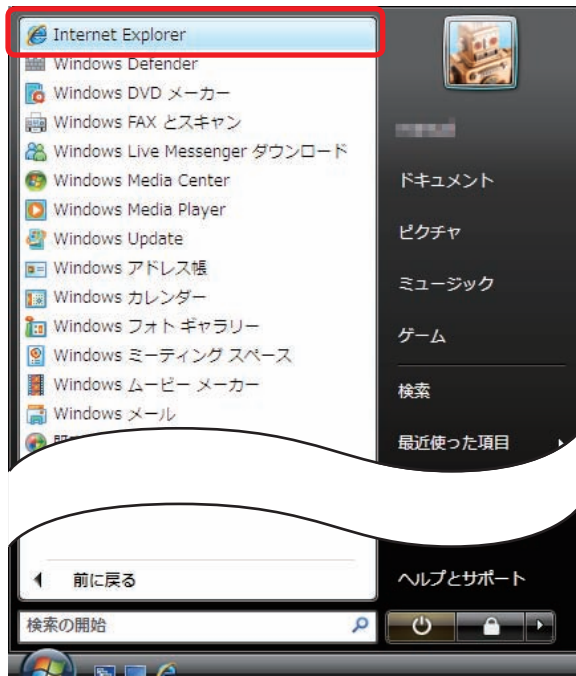
<用語定義>

- アナログ端末 … アナログ電話機
- IP端末 ………… 音声や映像をパケットに変換して、IPネットワーク上で通信を行う電話端末
- 有線IP端末 …… LANケーブルで接続するIP端末
- 無線IP端末 …… 無線LANで接続するIP端末
- 電話機（端末）… アナログ端末とIP端末の総称

本商品へのログイン方法

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などの各種Webブラウザ画面を表示するための、本商品へのログイン方法を説明します。

1 本商品に接続したパソコンで[スタート]-[すべてのプログラム]から「Internet Explorer」アイコンをクリックします。

2 RT-200KI - Windows Internet Explorer
http://ntt.setup/

※「http://ntt.setup/」と半角文字で入力し、「Enter」を押します。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録

3

画面左にメニュー、右に「かんたん設定」画面を表示します。

RT-200KI
かんたん設定
ルータ設定
電話設定
状態表示
ログ表示
保守
再起動
反映

かんたん設定　ヘルプ?

インターネットサービスプロバイダ設定

接続ユーザ名	(例:aaa@xxxxxxx.ne.jp、bbb@xxxxxxx.or.jp)
接続パスワード	
接続パスワード確認	

確認　送信

目次
用語集

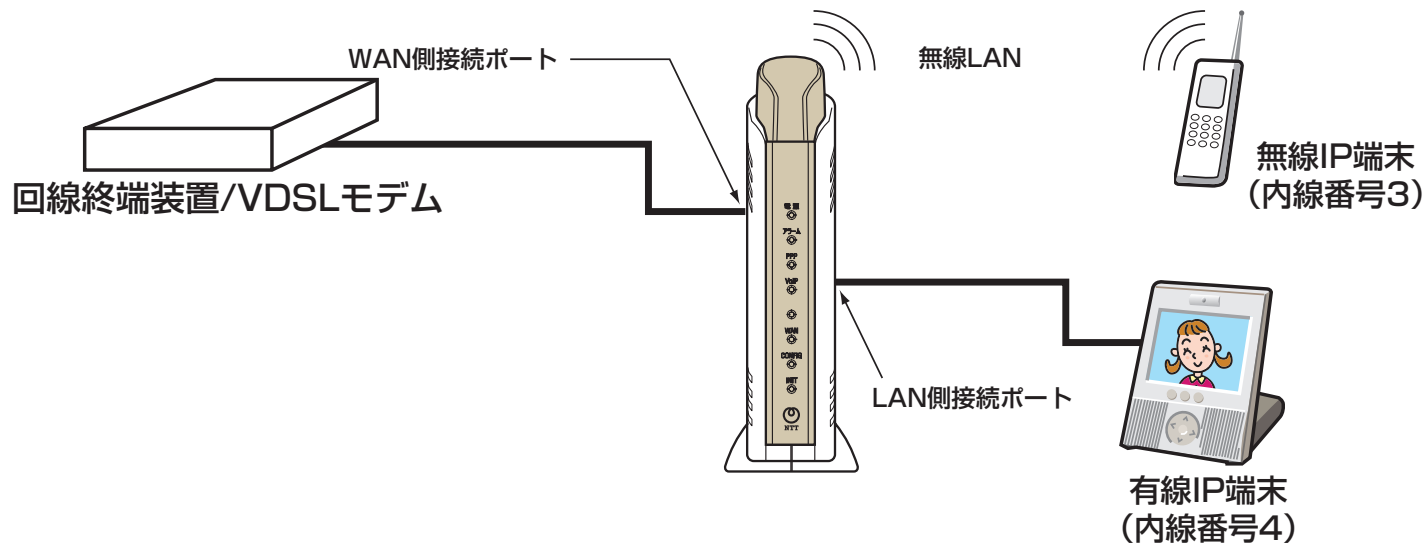
第1章　こんなときにはこの設定にする

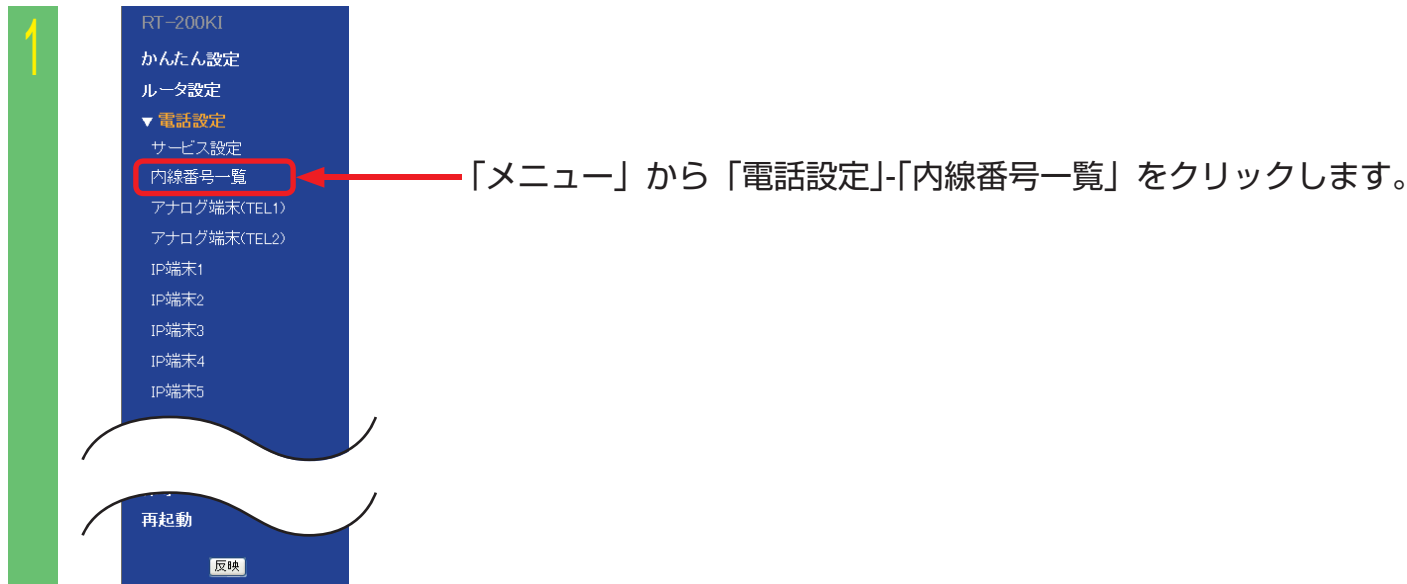
●ひかり電話に関する設定●

■ 有線IP端末や無線IP端末を使うには

IP端末（有線/無線）を接続して、ネットワークを利用して電話をかけたり、受けたりすることができます。

アナログ端末の使用方法については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

事前に以下の用意をします。
有線IP端末を接続する場合
①ひかり電話の申し込みをします。
②本商品のLAN側接続ポートに有線IP端末をLANケーブルで接続します。
③有線IP端末の設定をします。（内線番号等を本商品へ登録する必要があります。登録方法はIP端末のマニュアルをご覧ください。）

無線IP端末を接続する場合
①ひかり電話の申し込みをします。
②本商品に接続したパソコンから「まるごと設定ツール」により無線LANの設定をします。（設定方法は別冊「最初にお読みください」の第3章、または「取扱説明書」の第6章をご覧ください。）
③無線IP端末の設定をします。（設定方法は別冊「最初にお読みください」の第4章、または無線IP端末のマニュアルをご覧ください。）

2

①「内線番号」を確認します。
②「収容端末選択」が「有効」となっていることを確認します。
③該当端末が「登録済み」状態であることを確認します。

設定したIP端末で使用できること（内線番号や外線番号をダイヤルして､相手先との通話（または映像通信ができること））をご確認ください。

お知らせ

●テレビ電話などの映像の送受信には「テレビ電話接続（NTT東日本)」または「テレビ電話（NTT西日本)」のご契約が必要です。また通話先が映像通信に対応している必要があります。
●IP端末を内線登録する場合は、内線番号3〜5を使用してください。それ以外をお使いの場合は、本商品の設定が必要です。(「内線番号を変更するには」(☛P1-17)、「内線を追加するには」(☛P1-22）参照)
●一方の端末がアナログ端末または音声通話のみ可能な端末の場合、もう一方が映像通信が可能なIP端末でも音声のみの通話となります。

電話をかけるには

本商品に接続したIP端末から「ツー」という発信音が聞こえたら、電話をかけることができます。

基本的な電話のかけ方については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「電話をかける（発信）」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

相手がお話し中のときには

IP端末で電話をかけたとき相手先がお話し中だった場合は、本商品に接続したIP端末から「ツーツーツー」という音が聞こえます。

お話し中のときの操作については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「相手がお話し中のとき」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

電話を受けるには

本商品に接続したIP端末から「プルルルー、プルルルー、…」などの着信音が鳴ったときは、電話がかかってきています。電話を受けるとかけてきた相手とお話しすることができます。

電話を受けるときの操作については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「電話を受ける（着信）」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

■ 内線通話をするには

IP端末（有線/無線）同士、およびアナログ端末と内線通話ができます。
電話機（端末）ごとに設定した内線番号（1～9、10～99の1～2桁）をダイヤルすると、内線発信として扱います。

基本的な電話のかけ方、受け方等の操作については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「内線通話」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

お知らせ

- 同時に利用できる内線通話は1通話です。
- 一方の端末がアナログ端末または音声通話のみ可能な端末の場合、もう一方が映像通信が可能なIP端末でも音声のみの通話となります。

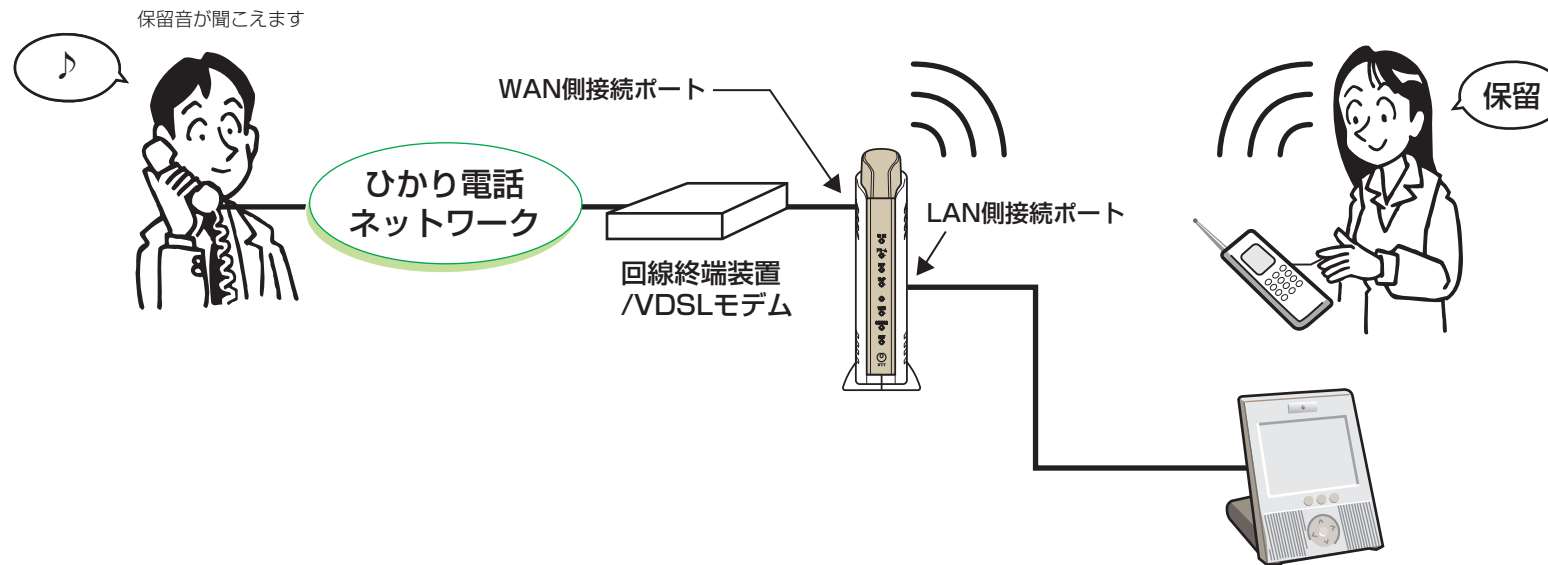
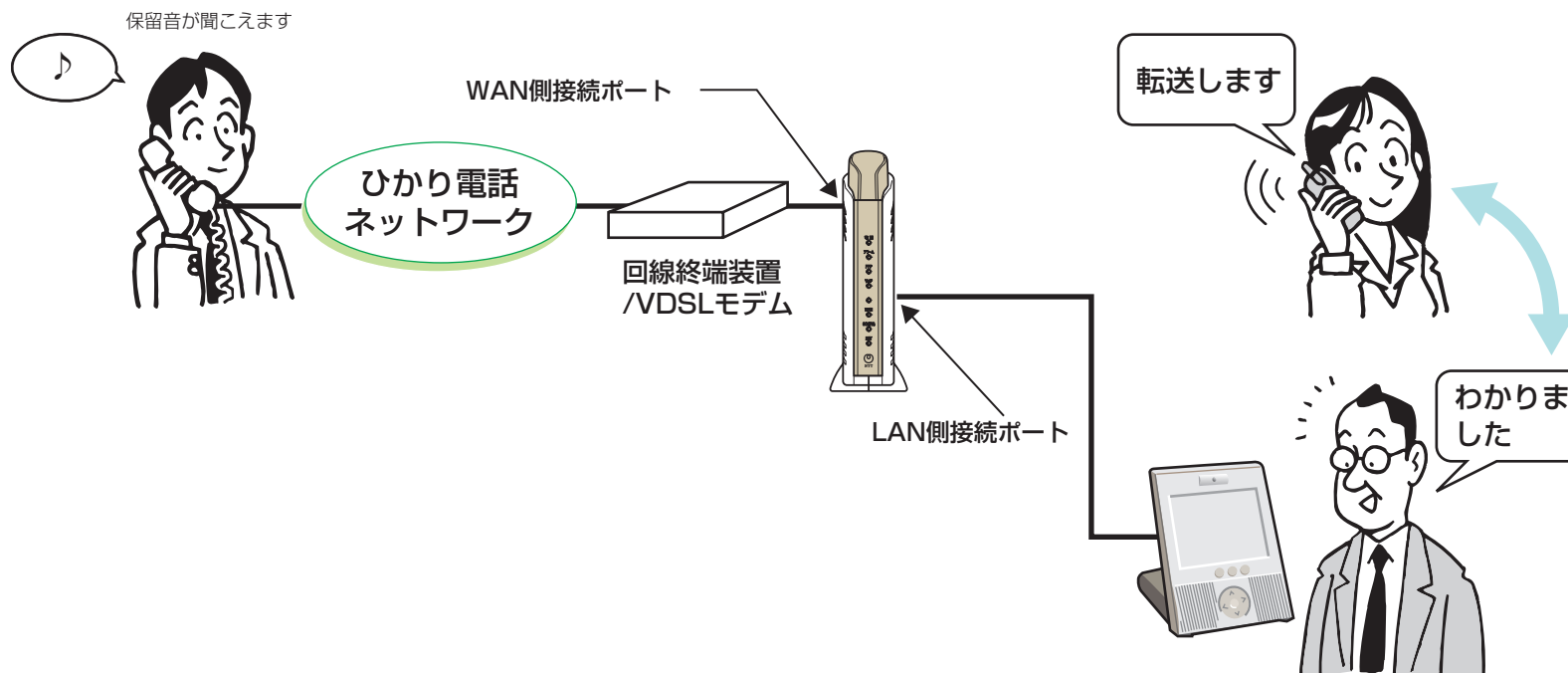
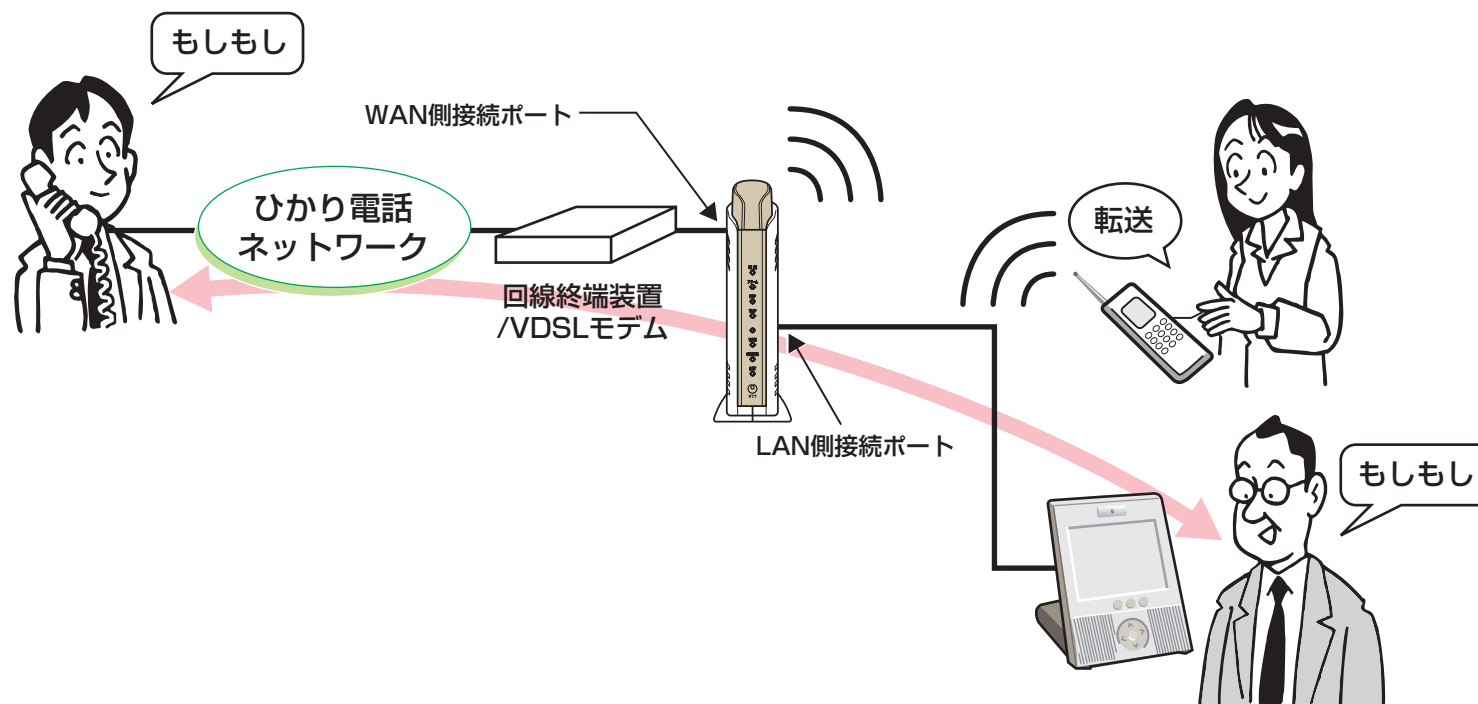
表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

お話し中の通話（外線）を別の電話機（端末）に転送するには

IP端末で通話中のとき、別の端末へ通話を転送することができます。

転送操作については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「内線転送（外線通話から内線へ)」をご覧ください。お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

1 IP端末で外線とお話し中の通話を保留します。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

2 内線に発信し、転送することを連絡します。

3 転送操作をすると、転送先と保留されていた相手がお話しできるようになります。転送元は電話を切ることができます。

お知らせ

- 音声＋映像の通話は転送できません。
- 転送操作前にキャッチホンによる着信があった場合は、転送操作がキャンセルされ、キャッチホンによる着信を受けることになるため、転送はできません。

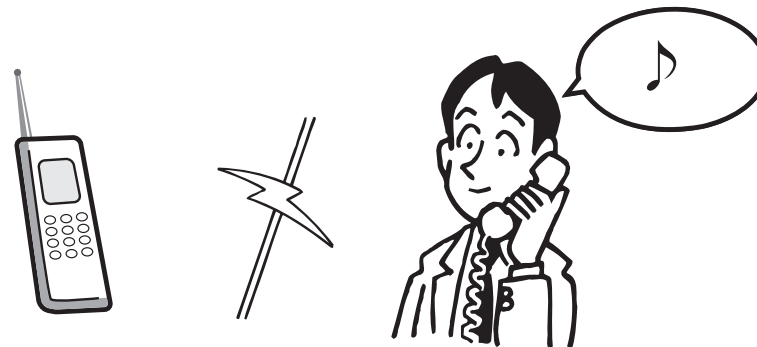
■ 一時通話を保留するには

ひかり電話のお話し中、通話を一時中断して、しばらくしてから再開することができます。保留中の相手先には保留音が聞こえます。

お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

1 IP端末で外線との通話を保留します。

2 通話が保留されます。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

3

保留解除操作をして、IP端末での外線との通話を再開します。

お知らせ

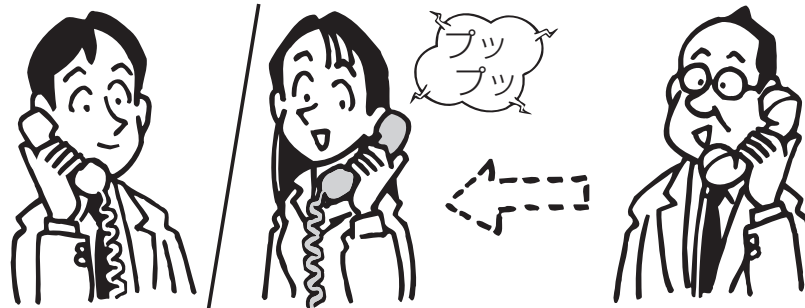
- ●音声＋映像による通話中の場合は、保留はできません。
- ●本商品に収容した電話機（端末）同士での通話（内線通話）は、保留はできません。

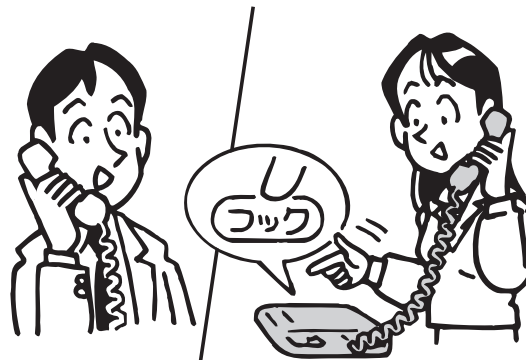
表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

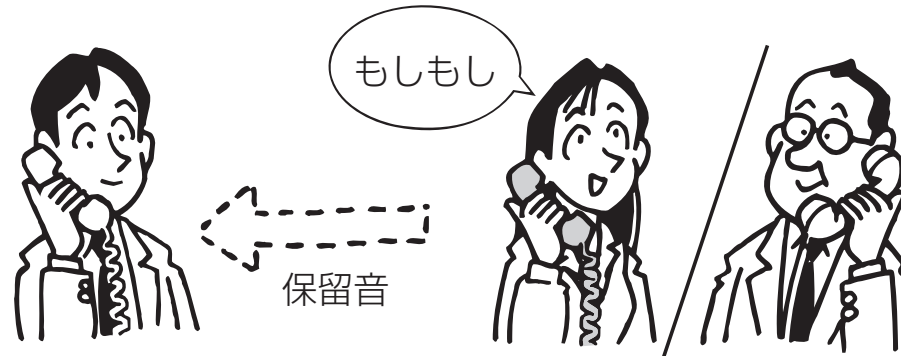
キャッチホンを使うには

IP端末で通話中のときも、かかってきた電話に出ることができます。

キャッチホンの使い方については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「キャッチホン」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

1 お話し中に「プッップッ・・・」という着信音が聞こえます。

2 相手の方に伝え、フッキングします。

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しします。

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセット（受話器）を置きます。

着信音が鳴ります。ハンドセット（受話器）を取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
※フッキングでも切り替えができます。

お知らせ

●「複数チャネルサービス「ダブルチャネル」」をご契約の場合は、キャッチホンのご契約はできませんが、お話し中に「プップッ・・・」という着信音が聞こえ、キャッチホン相当の機能をご利用いただけます。
●「複数チャネルサービス「ダブルチャネル」」をご契約でない場合、キャッチホン機能をご利用になるには、別途ご契約が必要です。

ワンポイント

●内線通話中で着信音が聞こえたときにフッキングした場合は、最初にお話ししていた方との通話は切れます。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

かかってきた相手の電話番号を表示するには

「ナンバー・ディスプレイ」機能を利用して、ひかり電話の着信があったとき、かけてきた相手の電話番号を着信したIP端末に表示させることができます。

ナンバー・ディスプレイについては、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「ナンバー・ディスプレイ」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイ機能をご利用になるには、別途ご契約が必要です。
●お使いの電話機（端末）がナンバー・ディスプレイ機能に対応していることをご確認ください。

相手に通知する電話番号を設定するには

ひかり電話で電話をかけるとき、相手に通知する番号を設定することができます。

発信者番号通知については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「発信者番号通知」をご覧ください。
設定方法については「各種設定を変更するには（端末設定画面）」（☛P1-14）をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

お知らせ

●「184」「186」を付与するダイヤルは外線発信時に有効です。内線発信時に付与することはできません。（内線発信は番号通知のみです。）

■ 各種設定を変更するには（端末設定画面）

Webブラウザから、本商品に接続されたIP端末に対して、電話番号などの設定を行うことができます。

アナログ端末の各種設定変更については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「端末設定画面」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

●設定方法

■本商品の設定

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

2

①該当端末が利用中の「内線番号」を確認します。

②該当端末の「端末名」を確認します。

3

「メニュー」から「電話設定」-「IP端末1」～「IP端末5」の中で該当する「端末名」をクリックします。

4

①ひかり電話の契約者電話番号・追加電話番号が表示されます。

②発信者番号通知（「相手に通知する電話番号を設定するには」（☛P1-13））に使用する電話番号を「有効」に設定します。
※「通知番号」を「有効」に設定した電話番号は自動的に「着信番号」も「有効」に設定されます。

③外線着信をさせる電話番号を「有効」に設定します。

④「確認」をクリックします。

⑤「送信」をクリックします。

5

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

お知らせ

●IP端末にはあらかじめ内線番号登録操作が必要です。
●本商品の初期値はIP端末用に内線番号3～5が割り当てられています。

ワンポイント

●初期値は「通知番号」として契約者電話番号､「着信番号」として契約者電話番号およびすべての追加電話番号が「有効」に設定されます。

■ 内線番号を変更するには

電話機（端末）の内線番号を変更することが可能です。設定データの変更が必要です。

アナログ端末の内線番号変更については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「内線番号一覧」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

以下では、無線IP端末の内線番号3を変更する設定を説明しています。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

①該当端末が利用中の「内線番号」を確認します。

②該当端末の「端末名」を確認します。

3

「メニュー」から「電話設定」-「IP端末1」をクリックします。

4

①内線番号を変更します。
※他の内線番号との重複はできません。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

5

反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

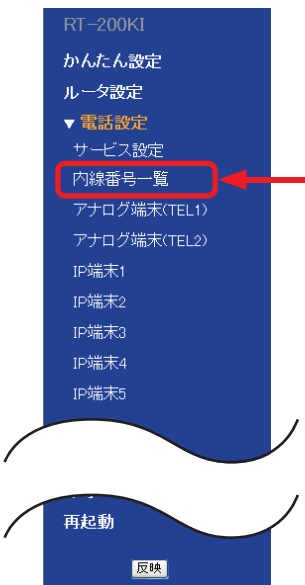
6

有線IP端末を接続する場合

①有線IP端末の設定をします。（内線番号等を本商品へ登録する必要があります。登録方法はIP端末のマニュアルをご覧ください。）

無線IP端末を接続する場合

①無線IP端末の設定をします。（設定方法は別冊「最初にお読みください」の第4章、または無線IP端末のマニュアルをご覧ください。）

7

「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

8

内線番号一覧

ヘルプ?

内線番号	収容端末選択	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
1	有効	アナログ端末(TEL1)	–	–	–
2	有効	アナログ端末(TEL2)	–	–	–
33	有効	IP端末1	–	–	登録済み
4	有効	IP端末2	–	–	登録済み
5	有効	IP端末3	–	–	未登録
6	無効	IP端末4	–	–	–
7	無効	IP端末5	–	–	–

確認　送信

①内線番号が変更されていることを確認します。

②該当端末が「登録済み」状態であることを確認します。

これで設定は終了しました。

お知らせ

●IP端末にはあらかじめ内線番号登録操作が必要です。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

■ 内線を追加するには

内線は初期設定状態でアナログ端末2台、IP端末3台収容することができます。収容替えを行うときは設定データの変更が必要です。

アナログ端末の内線追加設定については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「内線番号一覧」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。機能有無を含め、詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。
以下では、内線番号2を削除し、内線番号6を追加する設定を説明しています。

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録

2

①削除する「内線番号」を確認します。

②削除する「内線番号」の「収容端末選択」を「無効」にします。

③追加する「内線番号」を確認します。

④追加する「内線番号」の「収容端末選択」を「有効」にします。
※アナログ端末を含め最大５つまでを「有効」に設定できます。

⑤「確認」をクリックします。

⑥「送信」をクリックします。

3

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

4

有線IP端末を接続する場合

①有線IP端末の設定をします。（内線番号等を本商品へ登録する必要があります。登録方法はIP端末のマニュアルをご覧ください。）

無線IP端末を接続する場合

①無線IP端末の設定をします。（設定方法は別冊「最初にお読みください」の第4章、または無線IP端末のマニュアルをご覧ください。）

目次
用語集

5

「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

6

内線番号一覧 ヘルプ?

内線番号	収容端末選択	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
1	有効	アナログ端末(TEL1)	-	-	-
2	無効	アナログ端末(TEL2)	-	-	-
3	有効	IP端末1	-	-	登録済み
4	有効	IP端末2	-	-	未登録
5	有効	IP端末3	-	-	未登録
6	有効	IP端末4	-	-	登録済み
7	無効	IP端末5	-	-	-

確認 送信

該当端末が「登録済み」状態であることを確認します。

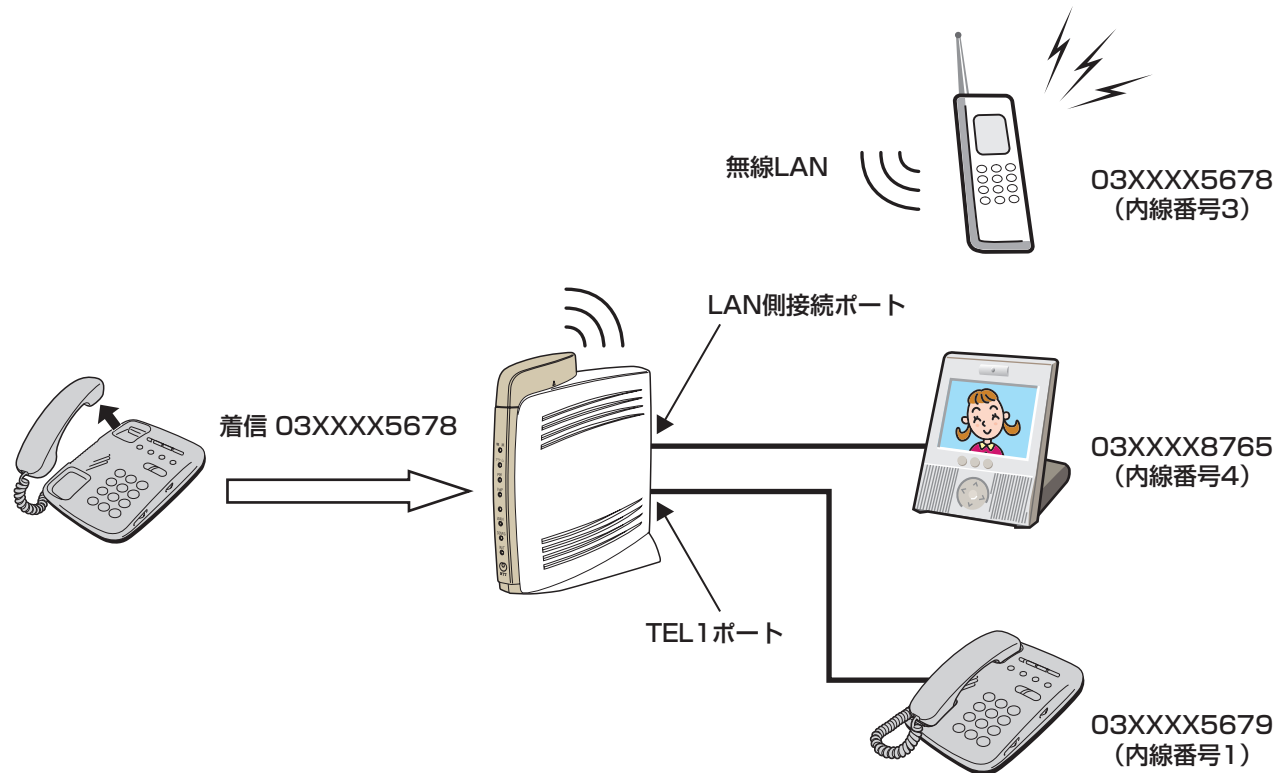
これで設定は終了しました。

お知らせ

●内線番号は電話機（端末）ごとに設定でき、最大5番号まで利用できます。
●IP端末にはあらかじめ内線番号登録操作が必要です。
●IP端末を4台以上接続する場合は、アナログ端末の「収容端末選択」を「無効」に設定してください。

■ 外線から着信のとき特定の電話機（端末）を呼び出すには

「追加番号サービス「マイナンバー」」をご契約のとき、電話機（端末）ごとに別の番号を設定すると、着信があった電話機（端末）のみが鳴ります。

お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

以下では、着信があった電話機（端末）のみを呼び出す設定を説明しています。

・03xxxx5678で着信の場合、内線番号3のみ呼び出します。
・03xxxx8765で着信の場合、内線番号4のみ呼び出します。
・03xxxx5679で着信の場合、内線番号1のみ呼び出します。

●設定方法

■本商品の設定

1
RT-200KI
かんたん設定
ルータ設定
▼電話設定
サービス設定
内線番号一覧
ログ表示
保守
再起動
反映
「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

2
内線番号一覧
ヘルプ?
内線番号
収容端末選択
端末名
優先着信ポート
指定着信機能
登録状態
有効
無効
アナログ端末(TEL1)
アナログ端末(TEL2)
IP端末1
IP端末2
IP端末3
IP端末4
IP端末5
登録済み
未登録
確認
送信
①「内線番号」を確認します。
②該当端末が「登録済み」状態であることを確認します。
※アナログ端末の登録状態は常に「－」と表示されます。
③該当端末の「端末名」を確認します。

3

「メニュー」から「電話設定」-「IP端末1」をクリックします。

4

①「03xxxx5678」の「通知番号」と「着信番号」を「有効」にします。
※「通知番号」を「有効」に設定した電話番号は自動的に「着信番号」も「有効」に設定されます。

②「03xxxx8765」の「着信番号」を「無効」にします。

③「03xxxx5679」の「着信番号」を「無効」にします。

④「確認」をクリックします。

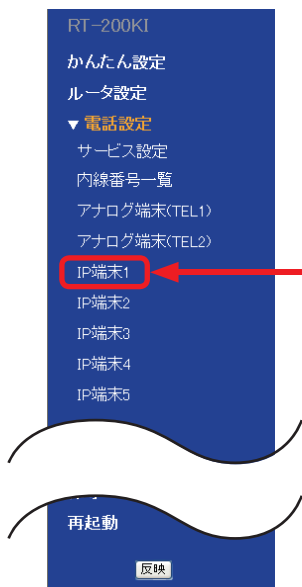
⑤「送信」をクリックします。

5

「メニュー」から「電話設定」-「IP端末2」をクリックします。

6

IP端末2

ヘルプ?

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号
03 ■■5678	無効	無効
03 ■■8765	有効	有効
03 ■■5679	無効	無効
	無効	有効
	無効	有効

内線番号設定

以下の項目はお客様ご自身で内線番号の設定を行う場合を除き、設定を変更しないで下さい。

内線番号	4
端末属性	IP端末(映像)
ユーザ名	0004
パスワード	●●●●●●●●
パスワード確認	●●●●●●●●
内線番号設定の削除	削除

確認　送信

①「03xxxx8765」の「通知番号」と「着信番号」を「有効」にします。
※「通知番号」を「有効」に設定した電話番号は自動的に「着信番号」も「有効」に設定されます。

②「03xxxx5678」の「着信番号」を「無効」にします。

③「03xxxx5679」の「着信番号」を「無効」にします。

④「確認」をクリックします。

⑤「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

アナログ端末をご使用にならない場合は、手順9へお進みください。

7

「メニュー」から「電話設定」-「アナログ端末（TEL1）」をクリックします。

8

①「03xxxx5679」の「通知番号」と「着信番号」を「有効」にします。
※「通知番号」を「有効」に設定した電話番号は自動的に「着信番号」も「有効」に設定されます。

②「03xxxx5678」の「着信番号」を「無効」にします。

③「03xxxx8765」の「着信番号」を「無効」にします。

④「確認」をクリックします。

⑤「送信」をクリックします。

9

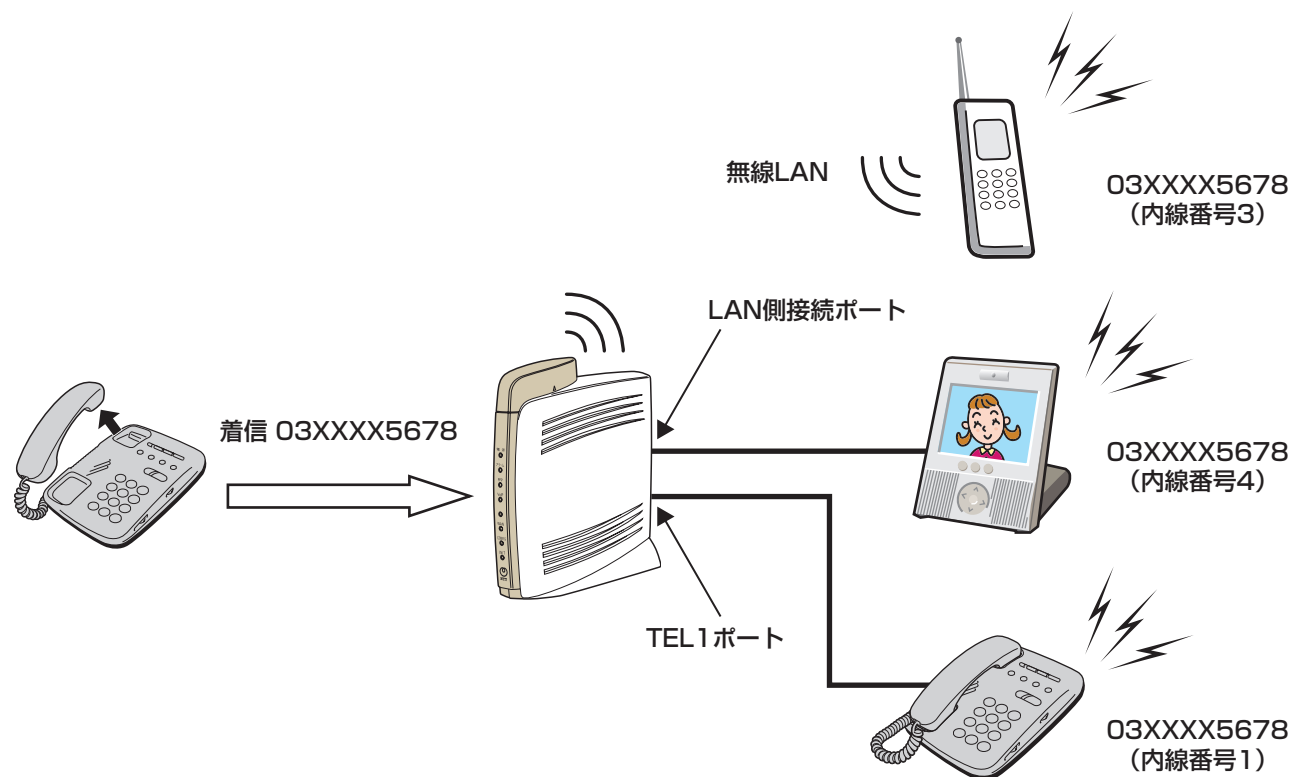
反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ 外線から着信のときすべての電話機（端末）を一斉に呼び出すには

外線から着信があったとき、最大5台までの電話機（端末）を一斉に呼び出すこと（一斉着信）ができます。

一斉着信設定の操作およびアナログ端末の設定については、取扱説明書「ひかり電話を利用する」の「一斉着信設定」をご覧ください。
お使いになるIP端末により、操作、設定方法が異なる場合があります。詳しくはIP端末のマニュアルでご確認ください。

以下では、03XXXX5678で着信のときすべての電話機（端末）を一斉に呼び出す設定を説明しています。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1

2

内線番号一覧

内線番号	収容端末選択	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
1	有効	アナログ端末(TEL1)	-	-	-
2	有効	アナログ端末(TEL2)	-	-	-
3	有効	IP端末1	-	-	登録済み
4	有効	IP端末2	-	-	登録済み
5	有効	IP端末3	-	-	未登録
6	無効	IP端末4	-	-	-
7	無効	IP端末5	-	-	-

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

3

「メニュー」から「電話設定」-「アナログ端末(TEL1)」～「アナログ端末(TEL2)」または「IP端末1」～「IP端末5」の中で該当する「端末名」をクリックします。

4

①一斉着信対象の「03XXXX5678」の「通知番号」と「着信番号」を「有効」にします。
※「通知番号」を「有効」に設定した電話番号は自動的に「着信番号」も「有効」に設定されます。

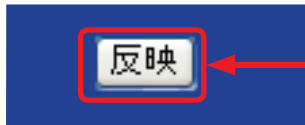
②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

5 **設定するすべての電話機（端末）について、1～4の操作を繰り返します。**

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

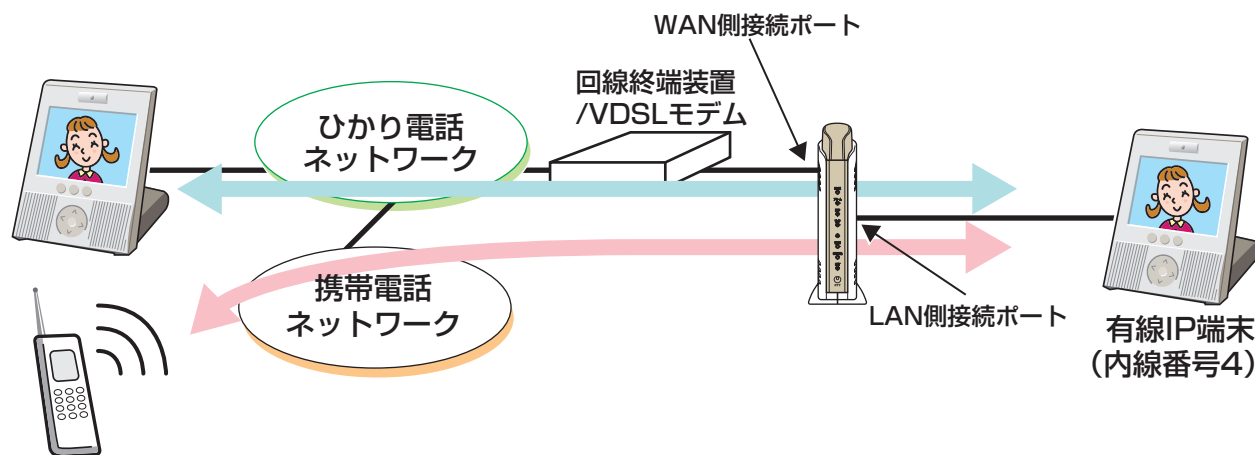
6

反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ 映像通信をできるようにするには

ひかり電話ネットワークに接続されている端末や、携帯電話（FOMA）端末と、映像と音声による通信を行うことができます。

映像通信に対応したIP端末が必要です。また「テレビ電話接続（NTT東日本)」または「テレビ電話（NTT西日本)」のご契約が必要となります。

以下では、映像通信の設定を説明しています。

お知らせ

- ●映像と音声による通信になります。映像のみの通信はできません。
- ●映像通信中は、本商品に接続した他の端末で外線通話を行うことができません。
- ●外線との映像通信は、本商品に接続した他の端末に転送することはできません。
- ●一方の端末がアナログ端末または音声通話のみ可能な端末の場合、もう一方が映像通信が可能なIP端末でも音声のみの通話となります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

事前に以下の用意をします。
　映像通信で使用するIP端末を、本商品のLAN側接続ポートにLANケーブルで接続して電源を入れます。（IP端末で必要な設定については、IP端末のマニュアルをご覧ください。）

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「電話設定」-「内線番号一覧」をクリックします。

2

①該当端末が利用中の「内線番号」を確認します。

②該当端末の「端末名」を確認します。

3

「メニュー」から「電話設定」-「IP端末2」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

4

IP端末2　ヘルプ?

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号
03 8765	有効	有効
03 5679	無効	有効
	無効	無効
	無効	有効
	無効	有効

内線番号設定

以下の項目はお客様ご自身で内線番号の設定を行う場合を除き、設定を変更しないで下さい。

内線番号	4
端末属性	IP端末(映像)
ユーザ名	0004
パスワード	●●●●●●●●●
パスワード確認	●●●●●●●●●
内線番号設定の削除	削除

確認　送信

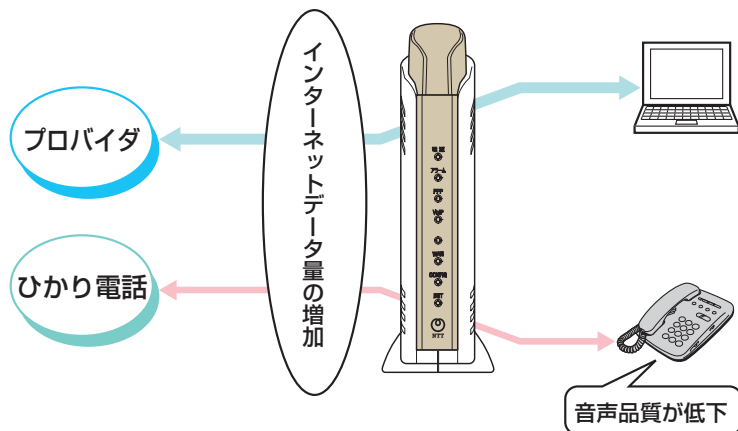
「端末属性」が「IP端末（映像）」になっていることを確認します。

これで設定は終了しました。
ひかり電話や携帯電話（FOMA）との映像通信をお楽しみください。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

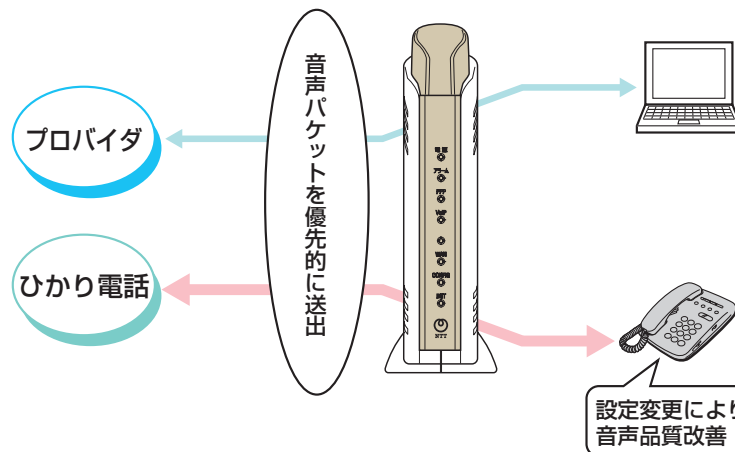
■ ひかり電話の音声劣化が気になったときには

インターネットとひかり電話を同時にご使用の場合に、インターネットで使用しているデータ量が増えると音声品質が低下することがあります。
このような場合は、本商品の音質優先モード設定を変更することにより、音声品質を改善します。

音質優先モード「無」に設定されている場合

音質優先モード「優先/最優先」に設定されている場合

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「電話設定」－「サービス設定」をクリックします。

①「優先」または「最優先」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

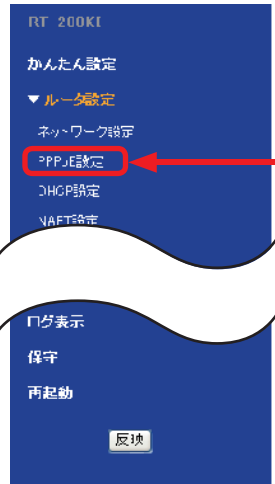
これで設定は終了しました。

お知らせ

- 音質優先モードは通話中の間のみ機能します。
- 音質優先モードを設定すると、インターネット接続の速度が低下する場合があります。音声品質とインターネットの接続状況を確認しながら適切なモードに調整してください。

インターネットに関する設定

PPPoE接続（マルチセッション）を用いてフレッツ・スクウェアへ接続するには

PPPoEのマルチセッション機能を使うことで、2つ以上のネットワークに同時に接続することができ、接続先の切り替えなしで異なるネットワークがご利用になれます。

ここでは以下のような構成例に従い、「使用するセッション」で当社提供サービスのフレッツ・スクウェアをご利用になる場合の設定について説明します。「メインセッション（接続先1情報）」はお客様が契約されているプロバイダに接続されていることを前提とします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「PPPoE設定」をクリックします。

2

「使用するセッション」の接続先を選択します。この場合は「接続先2」を選択しています。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

3

①フレッツ・スクウェアへの接続情報を入力します。
各項目の入力値については下記の表をご覧ください。

	NTT 東日本ご利用の方	NTT 西日本ご利用の方
接続ユーザ名	guest@flets	flets@flets
接続パスワード	guest	flets
接続パスワード確認	guest	flets
接続モード	要求時接続 自動切断までの時間 ：1800（秒）	要求時接続 自動切断までの時間 ：1800（秒）

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

4

「メニュー」から「ルータ設定」－「ルーティングテーブル設定」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

5

①「ドメイン名」に「flets」と入力します。

②「接続先2」を選択します。

③「追加」をクリックします。

④「ドメイン名」の一覧に「flets」が追加されていることを確認します。

⑤「確認」をクリックします。

⑥「送信」をクリックします。

6

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

7

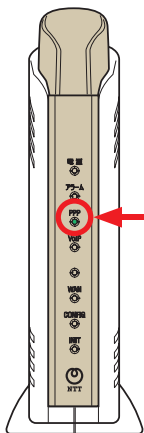
「メニュー」から「状態表示」－「装置状態表示」をクリックします。

8

PPPoE状態

	有効/無効	状態
接続先1	有効　無効	正常
接続先2	有効　無効	未使用
接続先3	有効　無効	未使用
接続先4	有効　無効	未使用
接続先5	有効　無効	未使用

「接続先1」の状態が「正常」、「接続先2」の状態が「未使用」と表示されているかどうか確認します。
※パソコンからフレッツ・スクウェアへ接続すると、「接続先2」の状態は「正常」を表示します。

9

本商品の「PPPランプ」の確認をします。
橙色のランプが点灯していればマルチセッションで接続されています。

ランプ種別	ランプ表示
PPP ランプ	点灯（緑）：1 セッション接続時 点灯（橙）：2 セッション以上接続時

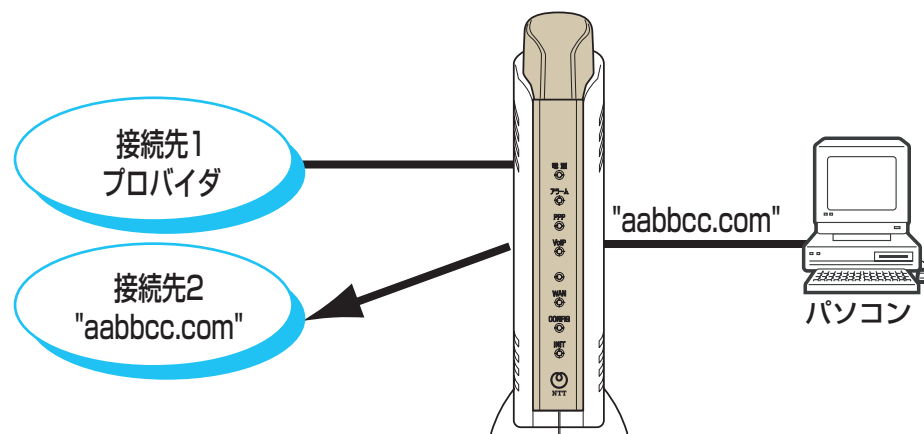
これで設定は終了しました。

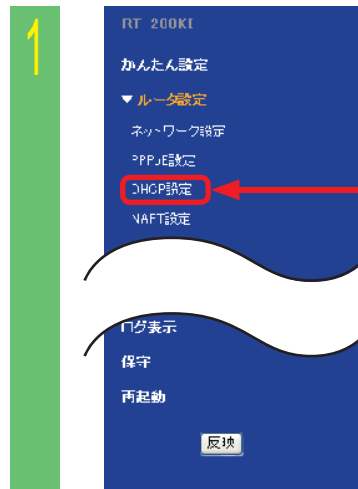
ワンポイント

●ドメイン名は一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているドメイン名をクリックし､「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
●「ドメイン名ルーティング設定」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能)」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

■ ドメインごとに問い合わせ先のDNSサーバを振り分けるには（DNSリレー機能）

DNSリレー機能とはLAN側のパソコンからのDNS問い合わせに対し、本商品がWAN側のDNSサーバに代理で問い合わせ、名前解決を実施する機能です。
DNSへの問い合わせを接続先1～5に振り分けることができます。

構成例

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」－「DHCP設定」をクリックします。

2

DHCP設定 ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長	192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能	有効
割り当て開始 IPアドレス	192.168.1.2
割り当て終了 IPアドレス	192.168.1.11
DNS サーバアドレス	192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス	
MACアドレス	(記入例 00:11:22:33:44:55)

追加　変更　削除

IPアドレス　MACアドレス

確認　送信

①「DHCPサーバ機能」のプルダウンメニューから「有効」を設定します。

②LAN側IPアドレスと同様の値を入力します。

③「確認」をクリックします。

④「送信」をクリックします。

3

「メニュー」から「ルータ設定」－「ルーティングテーブル設定」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

4

①「ドメイン名」に「aabbcc.com」を入力します。
②「接続先2」を選択します。
③「追加」をクリックします。
④一覧に「aabbcc.com」が表示されていることを確認します。
⑤「確認」をクリックします。
⑥「送信」をクリックします。

5

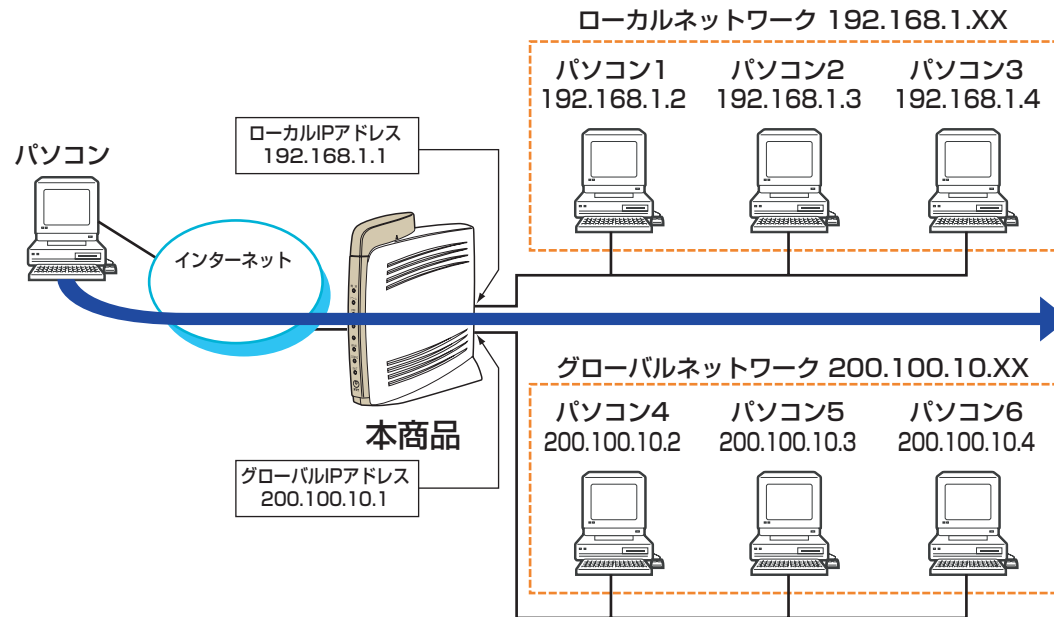
「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

ワンポイント

- ドメイン名の登録は16個まで行えます。
- ドメイン名は一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているドメイン名をクリックし､「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
- 「ドメイン名ルーティング設定」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。(☛P1-55)

■ 複数の固定IPアドレスサービスを利用するには（Unnumbered接続）

本商品では、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IPアドレスによるサブネットワークを構築できます。
複数のグローバルIPアドレスを付与するサービスを利用して、複数のインターネットサーバ公開や外出先から自宅のパソコンへのアクセスなどが可能になります。

事前に以下の用意をします。
①Unnumbered接続（複数固定IPサービス）の契約（プロバイダへの申し込み）をします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」－「PPPoE設定」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

①「メインセッション」と「使用するセッション」の「接続先1」をチェックします。

②ご契約のプロバイダから付与された接続ユーザ名を入力します。

③ご契約のプロバイダから付与されたパスワードを入力します。

④ご契約のプロバイダから付与されたパスワードをもう一度入力します。

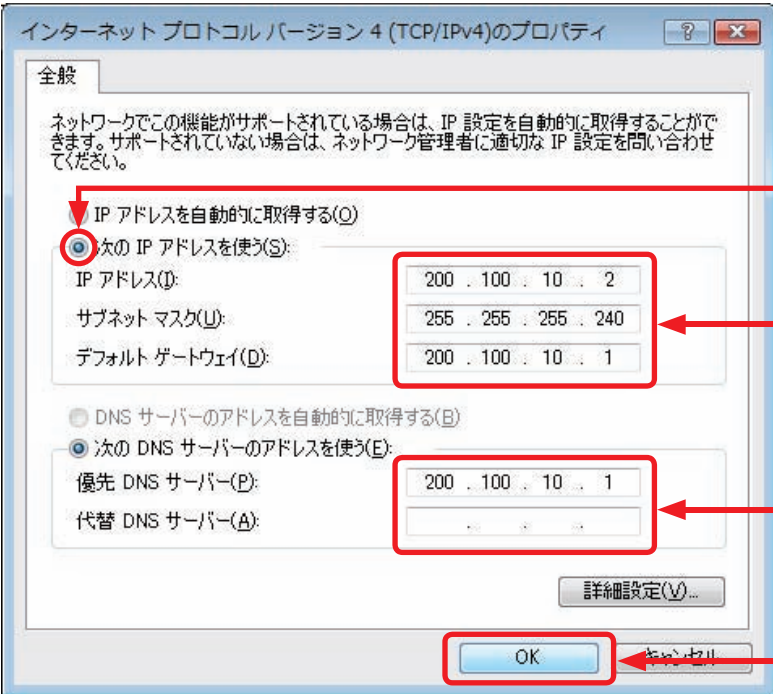
⑤ご契約のプロバイダからDNSサーバアドレスを指定された場合は、指定されたアドレスを入力します。
この例ではプライマリ「200.100.10.100」、セカンダリ「200.100.10.200」を指定しています。

⑥「IPアドレス指定」は「指定する（unnumbered接続）」をチェックします。

⑦「IPアドレス」と「マスク長」はご契約のプロバイダから割り振られた固定IPアドレスを入力します。この例では「200.100.10.1/28」を指定しています。

⑧「確認」をクリックします。

⑨「送信」をクリックします。

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで本商品の設定は終了しました。
続けて接続するパソコンの設定を行います。以下ではP1-50のパソコン4の設定を説明しています。

■パソコンの設定

1 取扱説明書4章または9章の手順を参照し、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ」画面（Windows Vista™以外の場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面）を開きます。

2

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I): 200 . 100 . 10 . 2
サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 240
デフォルト ゲートウェイ(D): 200 . 100 . 10 . 1

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P): 200 . 100 . 10 . 1
代替 DNS サーバー(A): . . .

詳細設定(V)...

OK　キャンセル

①「次のIPアドレスを使う」をチェックします。

②「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

③「優先DNSサーバー」を設定します。「代替DNSサーバー」は空欄でかまいません。

④「OK」をクリックします。

「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

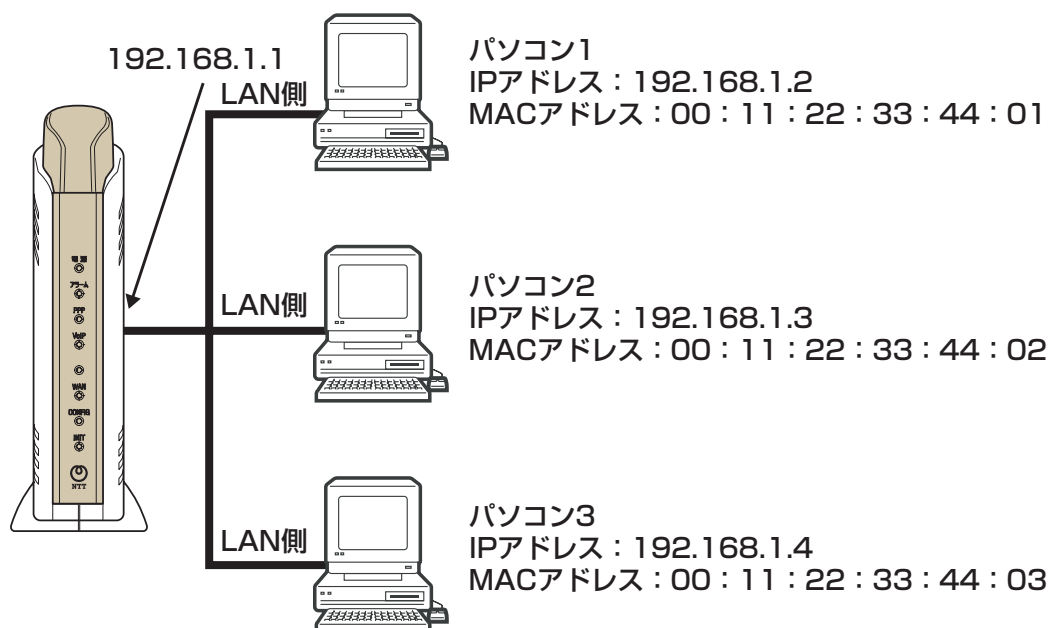
これで設定は終了しました。

お知らせ

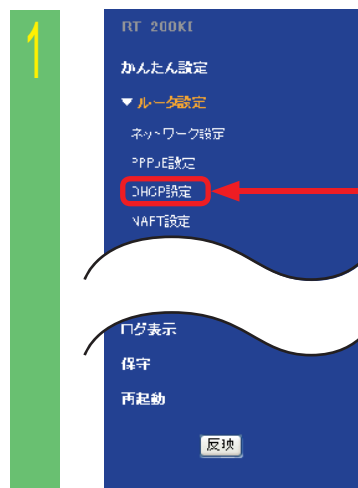
- プロバイダから割り当てられる連続したグローバルIPアドレスのうち、最初（ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)はシステムで予約されていますので、本商品やパソコンへ設定しないでください。
- Unnumbered接続の設定時にIPアドレスの重複を知らせるエラーメッセージが表示された場合は、Unnumbered接続で使用するIPアドレスを別のIPアドレスに変更してください。

■ パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）

本商品の「DHCP設定」の「固定IPアドレスで使用する端末の情報設定」を使用することで最大16個までの端末に対してIPアドレスを一定にすることができます。

以下の構成例ではLAN側のIPアドレスとマスク長を「192.168.1.1/24」とし、複数台のパソコンがつながっている状態です。

●設定方法

■本商品の設定

（MACアドレスが「00:11:22:33:44:01」である端末（パソコン1）をIPアドレス「192.168.1.2」に設定する場合）

2

①「LAN側IPアドレス/マスク長」に「192.168.1.1/24」を入力します。

②「IPアドレス」に「192.168.1.2」を入力します。

③「MACアドレス」に「00:11:22:33:44:01」を入力します。

※「MACアドレスの確認方法」（☛P1-116）を参照してください。

④「追加」をクリックします。

⑤入力した値が一覧に表示されているかどうか確認します。

⑥「確認」をクリックします。

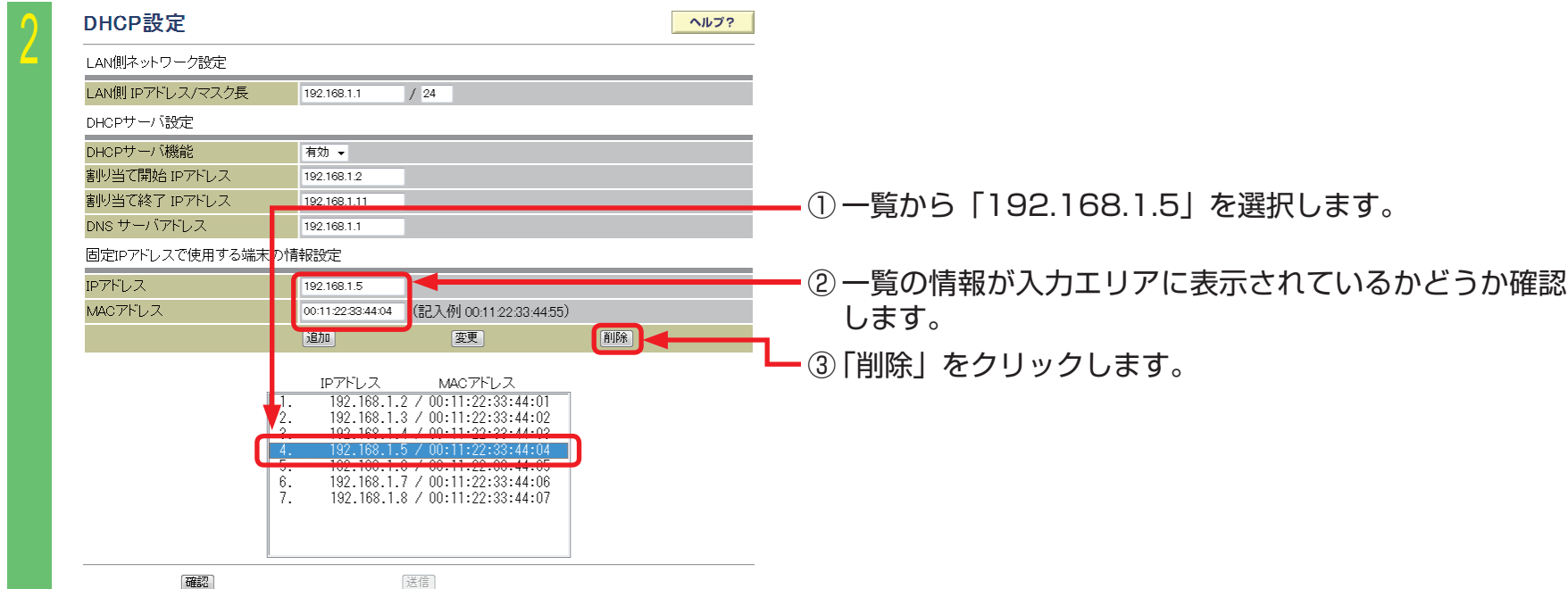
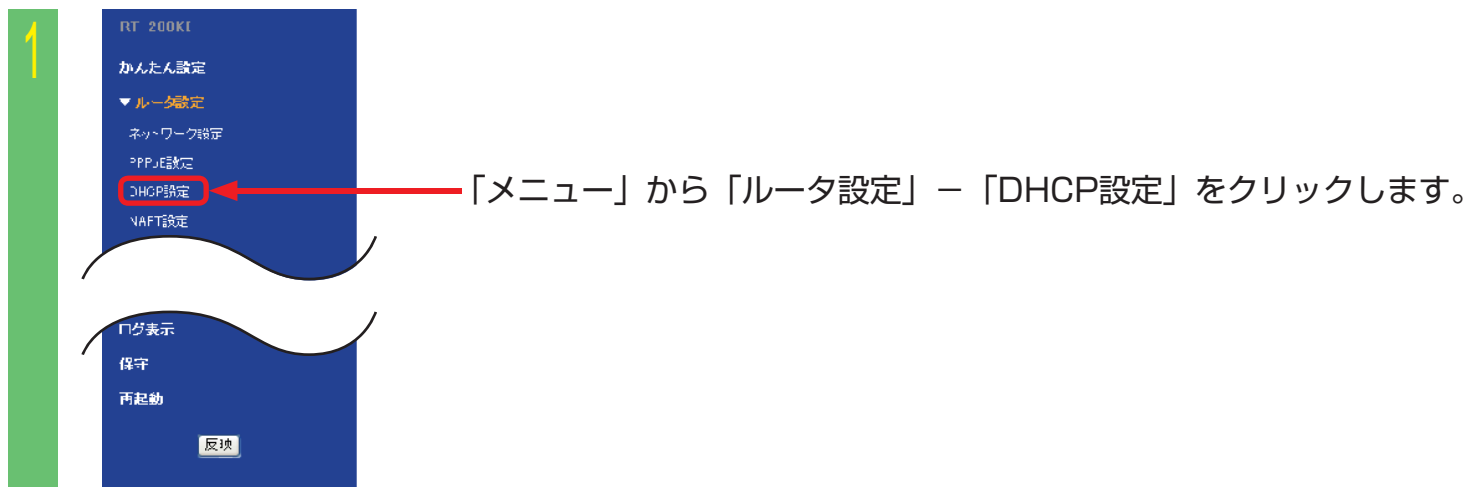
⑦「送信」をクリックします。

3

反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

（IPアドレスが192.168.1.5で登録した端末を削除する場合）

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「DHCP設定」をクリックします。

2

①一覧から「192.168.1.5」を選択します。

②一覧の情報が入力エリアに表示されているかどうか確認します。

③「削除」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

これで設定は終了しました。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

（IPアドレスが192.168.1.6で登録した端末のIPアドレスを192.168.1.7に変更する場合）

1

2

①「192.168.1.6」が削除され「192.168.1.7」と表示されていることを確認します。

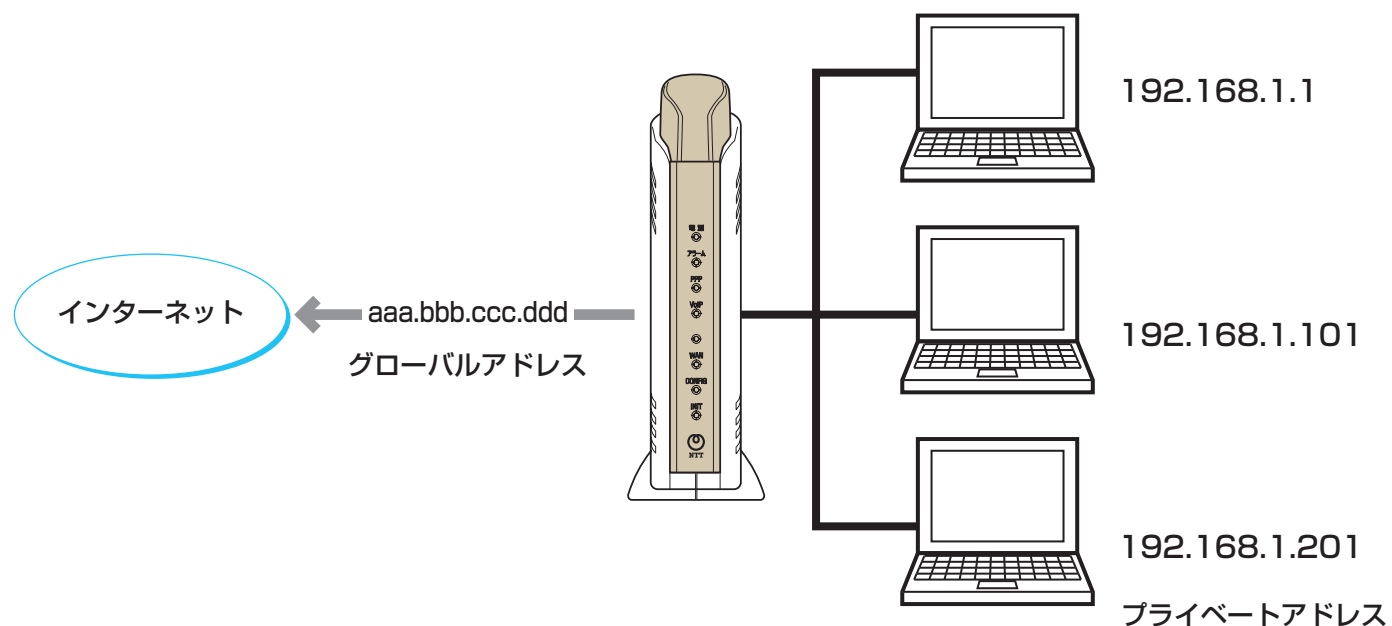
②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

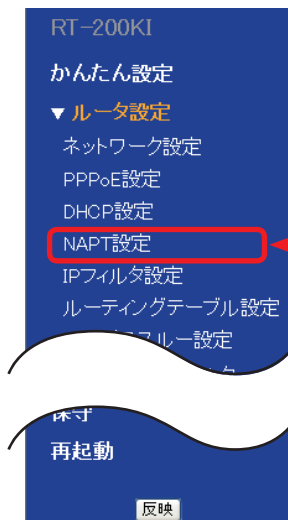
■ NAPT機能（IPマスカレード）

1つのグローバルアドレスを利用して、LAN側のプライベートアドレスを持つ複数のパソコンをインターネットに接続できる機能です。
IPアドレスが外部に流出することを防ぎます。

ワンポイント

●NAPT機能（IPマスカレード）は、初期設定状態で「有効」になっています。

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「NAPT設定」をクリックします。

2

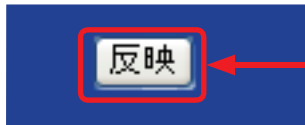
①「有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

3

反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ 音声・ビデオチャットを使用するには（UPnP機能）

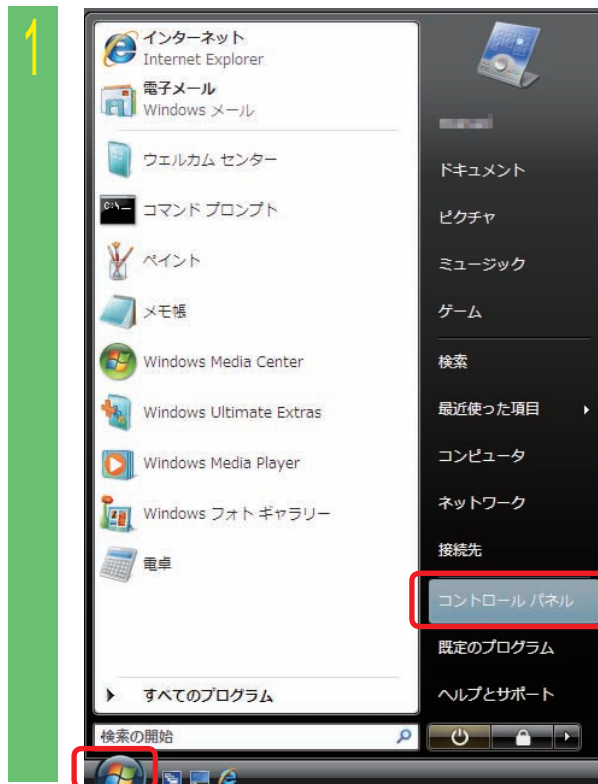
本商品のUPnP機能を利用して、パソコンにインストールされている音声・ビデオチャットを使用できます。
UPnP機能をご利用になる場合は、本商品に設定を行う必要があります。

本機能をご利用の場合は、パソコンの以下の手順で[インターネットゲートウェイ]に本商品が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、パソコンを再起動して再度ご確認になるか、本機能を利用するアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

●設定方法

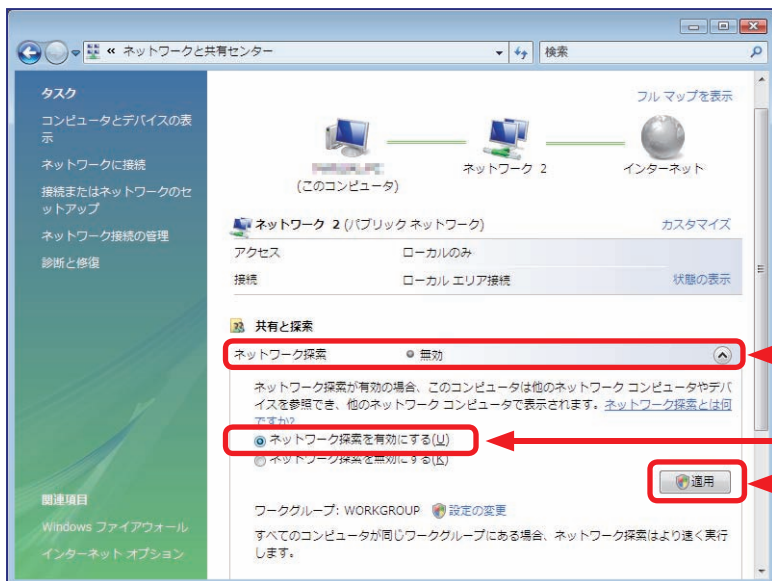
■パソコンの設定

（Windows Vista™の場合）

1

「スタート」メニューから「コントロール パネル」をクリックします。

2

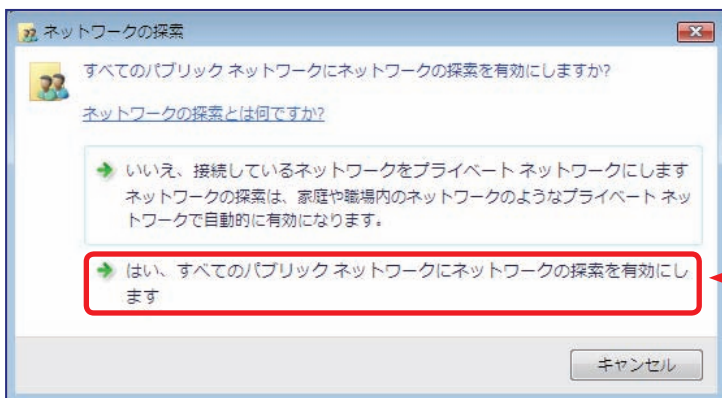
「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

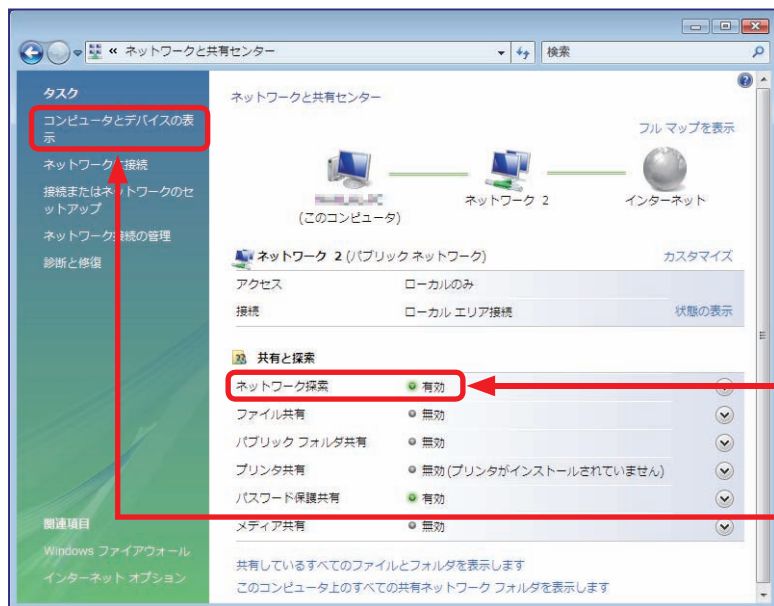
3

①「ネットワーク探索」が「無効」になっている場合は右端の矢印をクリックします。

②「ネットワーク探索を有効にする」をクリックします。

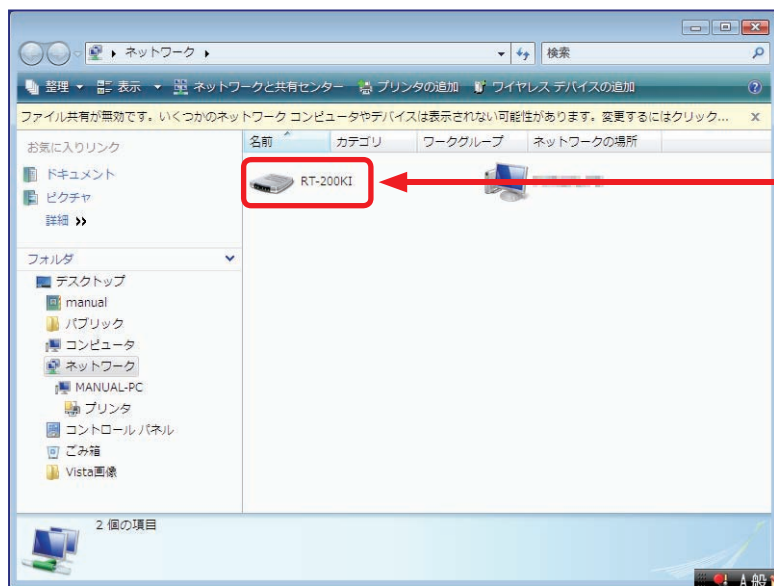
③「適用」をクリックします。

※「ユーザアカウント制御」画面が表示された場合は「続行」をクリックします。

4

「はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索を有効にします」をクリックします。

5

①「ネットワーク探索」が「有効」になっていることを確認します。

②「コンピュータとデバイスの表示」をクリックします。

6

「ネットワーク接続」画面に本商品が表示されていることを確認します。

お知らせ

●Windows® XPの場合は、「スタート」－「コントロールパネル」から、「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックし、「ネットワーク接続」画面に「インターネット接続」のアイコンが表示されていることを確認してください。

ここでは音声・ビデオチャットを行いたい接続先が接続先1の場合の設定について説明します。

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」−「NAPT設定」をクリックします。

①「動的NAPT機能」のプルダウンメニューから「有効」を選択します。

②「UPnP機能」のプルダウンメニューから「接続先1 有効」を選択します。

③「確認」をクリックします。

④「送信」をクリックします。

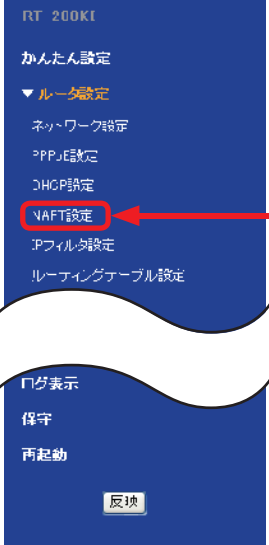
「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
音声・ビデオチャットをお楽しみください。

お知らせ

- 本商品は音声・ビデオチャットのすべてのサービスを保証するものではありません。
- 音声・ビデオチャットの詳細はホームページなどをご確認ください。
- UPnP機能の設定は初期設定状態で「接続先１ 有効」になっています。接続先1～5のいずれか一つしか有効には設定できません。

■ 外部にサーバを公開するには（簡易DMZ機能）

本商品では外部からのアクセスをすべて1台のパソコンに転送する簡易DMZ機能を使用することができます。この機能を使用することにより、外部にサーバを公開するための設定を簡単に行うことができます。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を実施して､Webサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。

2

「メニュー」から「ルータ設定」－「NAPT設定」をクリックします。

3

NAPT設定　ヘルプ?

動的NAPT機能	有効
簡易DMZ IPアドレス	192.168.1.10

UPnP設定

UPnP機能	接続先1 有効

静的NAPT設定(ポート転送規則)

割り当て WAN側 受信ポート範囲	ポート番号指定 ～ / サービス名指定
プロトコル種別	TCP UDP
LAN側 転送IPアドレス	
LAN側 転送ポート	ポート番号指定 / サービス名指定
	追加　変更　削除

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル -> LAN側転送IPアドレス : ポート

上へ↑　下へ↓

確認　送信

①「簡易DMZ IPアドレス」に「192.168.1.10」と入力します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

4

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

お知らせ

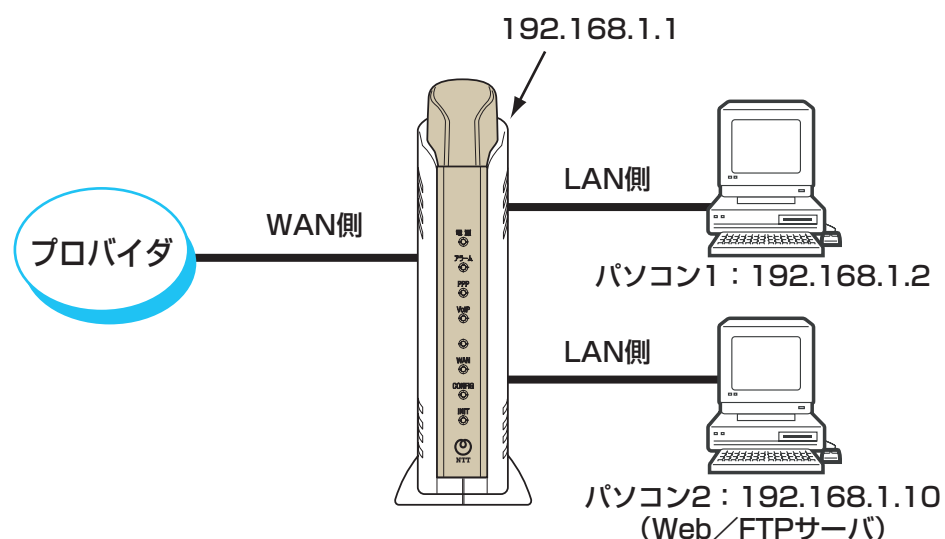
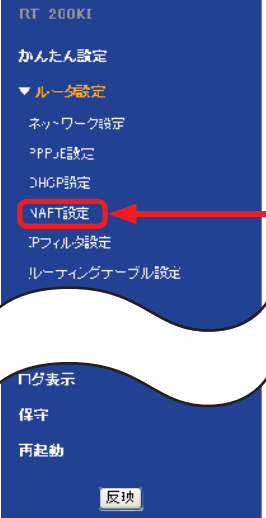
●本商品の簡易DMZ機能は、お客様がパソコン上でご使用になるソフトウェアによっては正常に動作しない場合があります。すべてのソフトウェアの動作を保証するものではありません。
●設定されたパソコンに対してファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが低下しますので、ご注意ください。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

■ 外部にサーバを公開するには（静的NAPT機能）

本商品に静的NAPT設定を行い、WAN側からLAN側へのポート転送規則を定義することで、LAN側に接続したパソコンをサーバ（Webサーバ、FTPサーバなど）としてインターネットへ公開することができます。

以下の構成例では、パソコン1を通常のLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.2)、パソコン2をサーバが稼動するLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.10）としています。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定
（Webサーバとして公開する場合）

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を実施して、Webサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。

3

①「動的NAPT機能」を「有効」にします。

②「割り当てWAN側受信ポート範囲」に「ポート番号指定」をチェックして、「80」を入力します。
※「サービス名指定」を選択する場合は、「サービス名指定」をチェックして、プルダウンメニューから「http(80)」を選択します。

③「プロトコル種別」に「TCP」をチェックします。

④「LAN側転送IPアドレス」に「192.168.1.10」を入力します。

⑤「LAN側転送ポート」に「ポート番号指定」をチェックして、「80」を入力します。
※「サービス名指定」を選択する場合は、「サービス名指定」をチェックして、プルダウンメニューから「http(80)」を選択します。

⑥「追加」をクリックします。

4

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル -> LAN側転送IPアドレス : ポート
1. http(80) / TCP -> 192.168.1.10 : http(80)
上へ↑ 下へ↓
確認 送信

①一覧に入力したデータが表示されているか確認します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

5

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

ワンポイント

- データは一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているデータをクリックし、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
- 「静的NAPT設定（ポート転送規則）」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

（FTPサーバとして公開する場合）

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を実施して、FTPサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。

2

3

①「動的NAPT機能」を「有効」にします。

②「割り当てWAN側受信ポート範囲」に「ポート番号指定」をチェックして、「20～21」を入力します。

③「プロトコル種別」に「TCP」をチェックします。

④「LAN側転送IPアドレス」に「192.168.1.10」を入力します。

⑤「LAN側転送ポート」に「ポート番号指定」をチェックして、「20」を入力します。
※「サービス名指定」を選択する場合は、「サービス名指定」をチェックして、プルダウンメニューから「ftp-data(20)」を選択します。

⑥「追加」をクリックします。

4

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル -> LAN側転送IPアドレス : ポート
1. 20 - 21 / TCP -> 192.168.1.10 : ftp-data(20)
上へ↑ 下へ↓
確認 送信

①一覧に入力したデータが表示されているか確認します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

5 反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

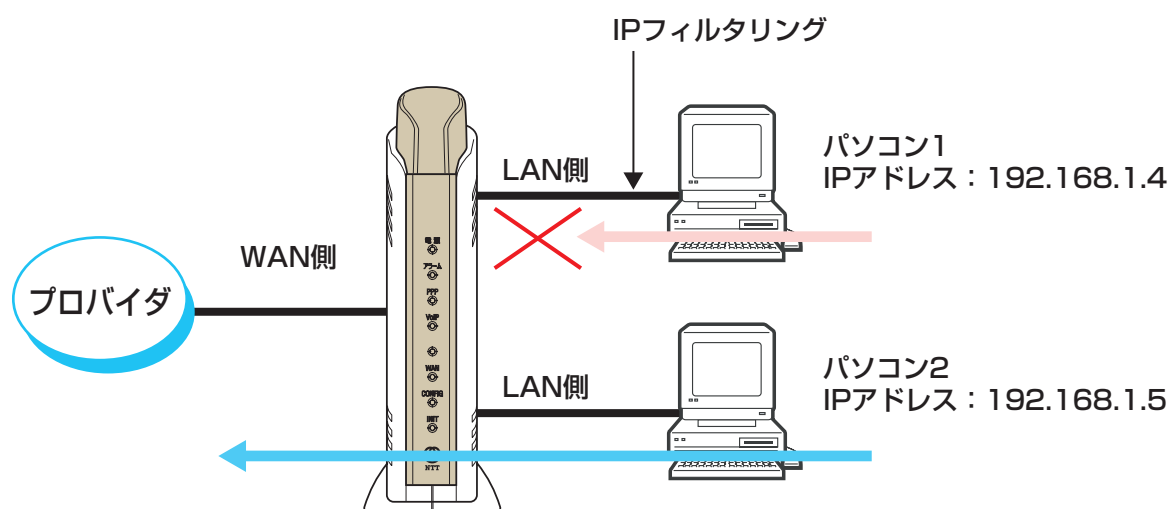
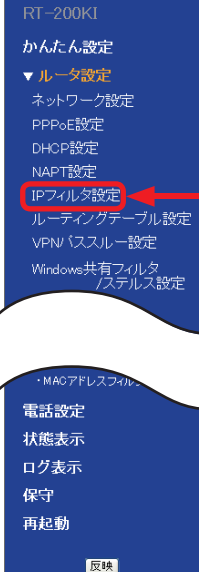
ワンポイント

●データは一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているデータをクリックし、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
●「静的NAPT設定（ポート転送規則）」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

■ インターネットの接続を規制するには（IPアドレス・ポートフィルタ）

パソコンからインターネットへの接続を規制することができます。「IPフィルタ設定」-「パケットフィルタ規制」を使用することでWAN側、およびLAN側からのアクセスをIPアドレスとポート番号を元に規制することができます。

ここでは、IPアドレスが「192.168.1.4」のパソコンからのインターネット接続を規制する設定を例に説明します。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を実施して、インターネット接続を規制するパソコンのIPアドレスを設定します。

2

「メニュー」から「ルータ設定」－「IPフィルタ設定」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

3

①「破棄」をチェックします。
②「TCP」をチェックします。
③「LAN」をチェックします。
④「WAN」をチェックします。
⑤「指定」をチェックし、「送信元IPアドレス」に「192.168.1.4」、「マスク長」に「32」を設定します。
⑥「全て」をチェックします。
⑦「全て」をチェックします。

※ 主なポート番号の例
下記以外の、番号／サービス名を割り振る場合や詳細については、「ルータ設定：IPフィルタ設定」（☛P2-14）の「サービス名対応ポート番号」、またはご利用になるサービス（ソフト）の説明書をご参照ください。

ポート番号	サービス名
20	ftpdata
21	FTP
23	telnet
25	SMTP
53	DNS
80	www
110	POP3

⑧「追加」をクリックします。
⑨一覧に設定したフィルタが登録されているか確認します。
⑩「確認」をクリックします。
⑪「送信」をクリックします。

4

反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

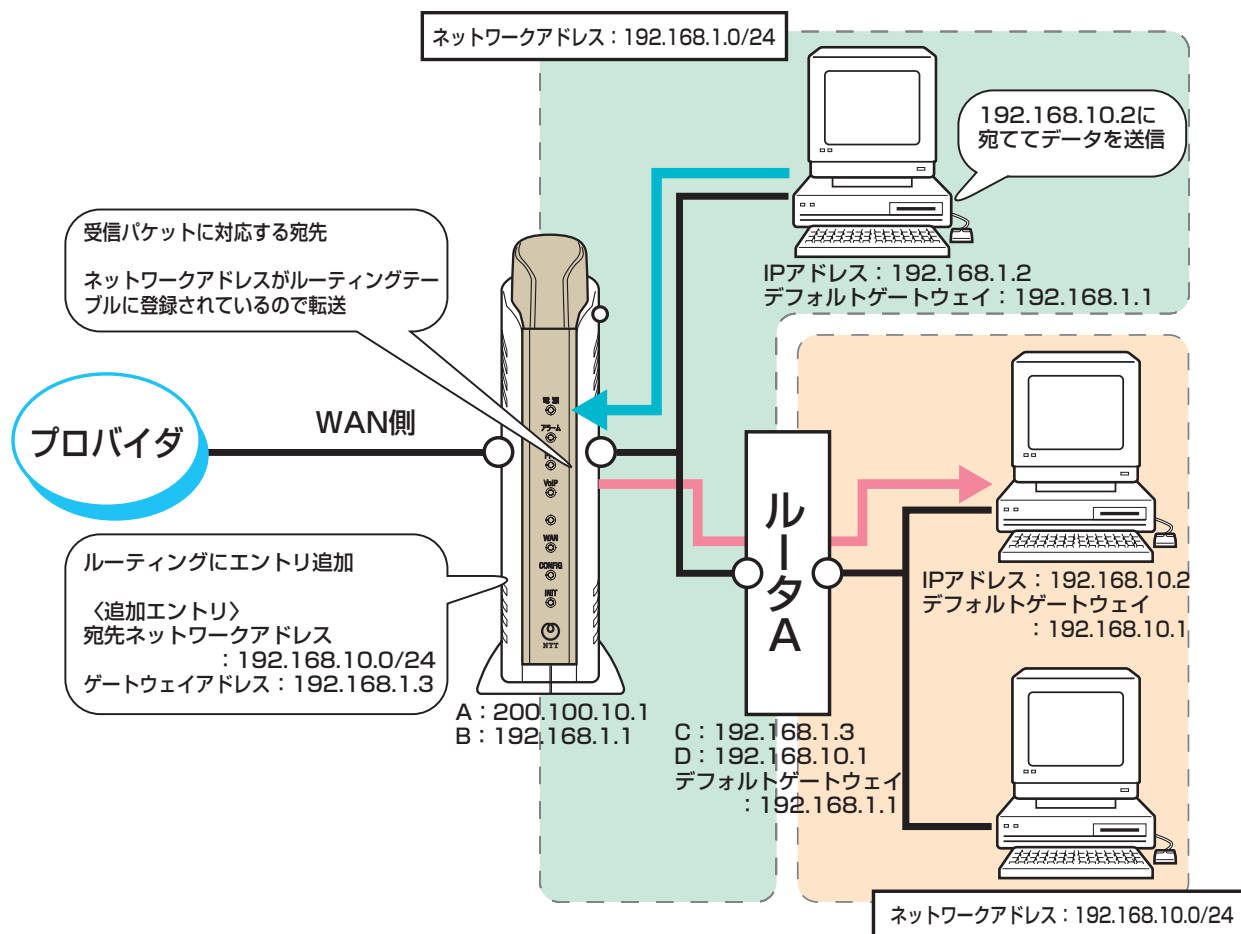
これで設定は終了しました。
IPアドレスが「192.168.1.4」のパソコンからのインターネット接続ができなくなります。

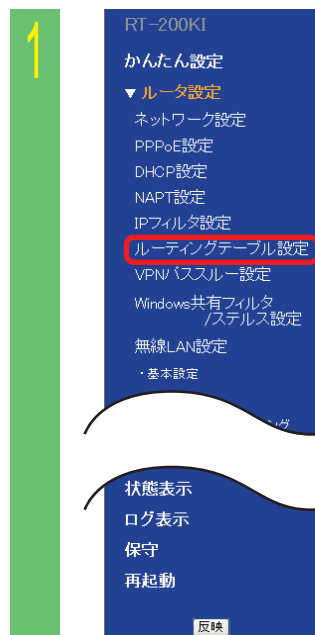
ワンポイント

●最大64パターン登録できます。
●PPPoEセッションごとに登録ができます。
●フィルタは一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているフィルタをクリックし、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
●「パケットフィルタ規則」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

スタティックルーティングをするには

ルーティングテーブルをあらかじめ本商品に設定しておくことで、常に固定的なルートを選択すること(スタティックルーティング)ができます。ルーティングテーブルには経路ごとに宛先ネットワークアドレス/マスク長とゲートウェイアドレスの組み合わせを指定します。

ここでは以下のように本商品にローカルルータ（ルータ A）が設置されていることを前提にローカルルータ配下に接続されたパソコン宛てのパケットを本商品からローカルルータに転送するようなルーティングテーブルの設定手順について説明します。

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」－「ルーティングテーブル設定」をクリックします。

2

①「宛先ネットワークアドレス」は「192.168.10.0」を入力し、「マスク長」は「24」を入力します。
②「ゲートウェイIPアドレス」は「192.168.1.3」を入力します。
③「追加」をクリックします。
④一覧に追加した情報が登録されているかどうか確認します。
⑤「確認」をクリックします。
⑥「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

3 反映

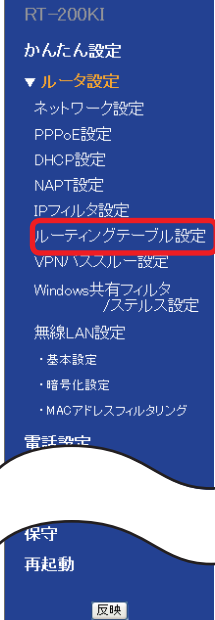
「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

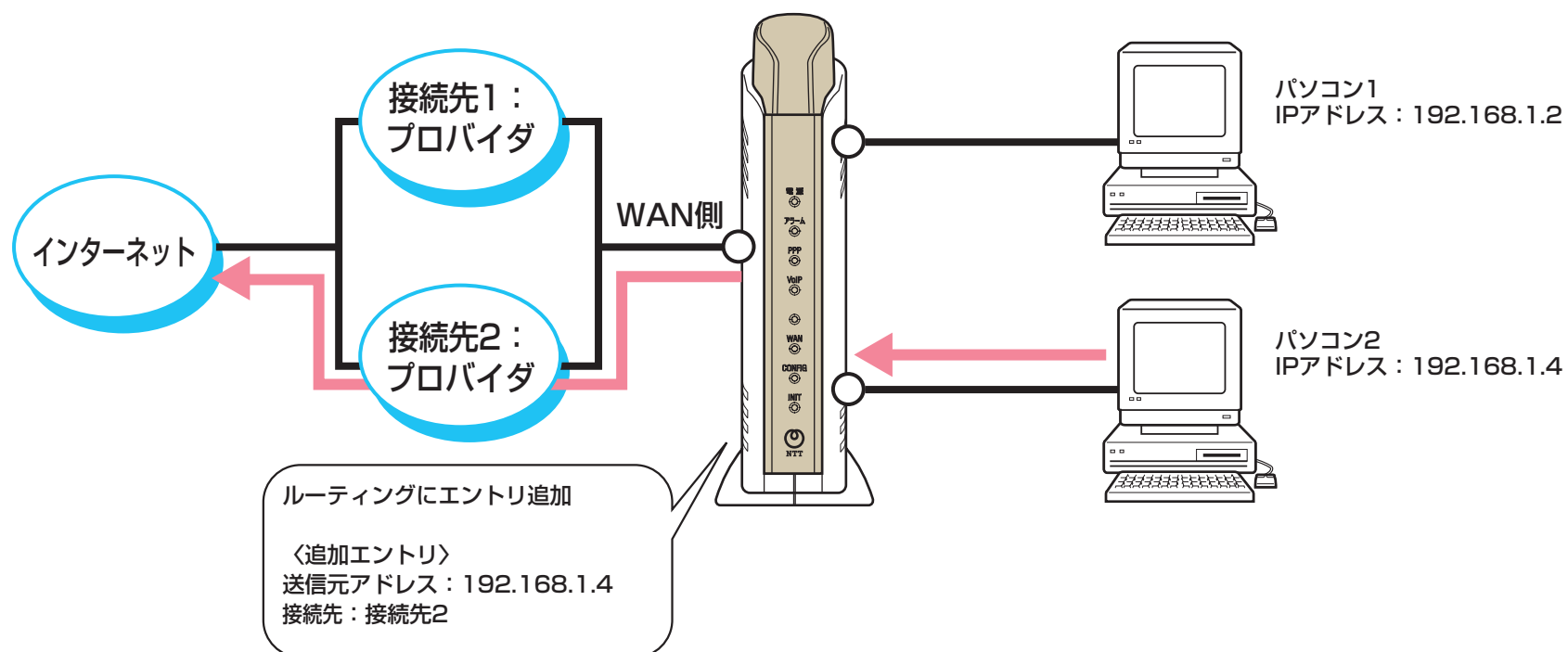
これで設定は終了しました。

ワンポイント

●データは一覧の上に表示されるもの程優先度が高くなります。一覧に表示されているデータをクリックし、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすることで、一覧内の順番を入れ替えることができます。
●「宛先ネットワークアドレスルーティング設定（ゲートウェイIPアドレス指定)」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能)」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

■ 使用するパソコンによって接続先プロバイダを変更するには

LAN側の端末のIPアドレスとルーティング情報を本商品に設定することによって、送信元のIPアドレスによって接続するプロバイダを選択すること（ソースルーティング）ができます。

ここでは以下のように、本商品に接続されたパソコン2から、接続先2のプロバイダに接続する設定手順について説明します。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を実施して、パソコンのIPアドレスを設定します。

2

①「送信元アドレス」に「192.168.1.4」を入力します。

②「接続先2」を選択します。

③「追加」をクリックします。

④一覧に「192.168.1.4／S2」が表示されていることを確認します。

⑤「確認」をクリックします。

⑥「送信」をクリックします。

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

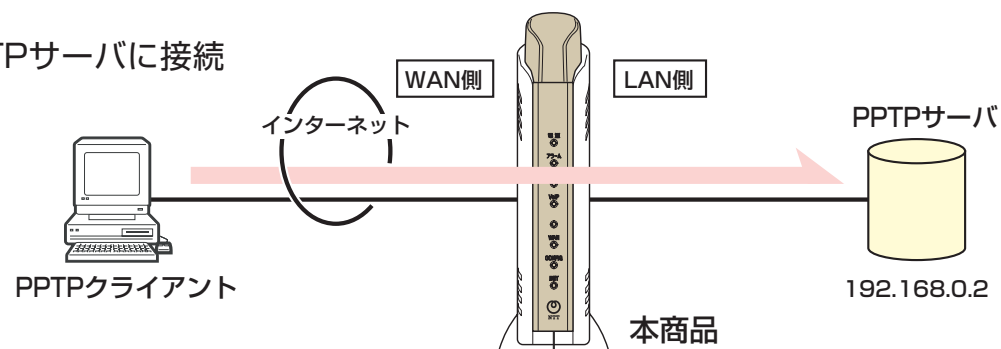
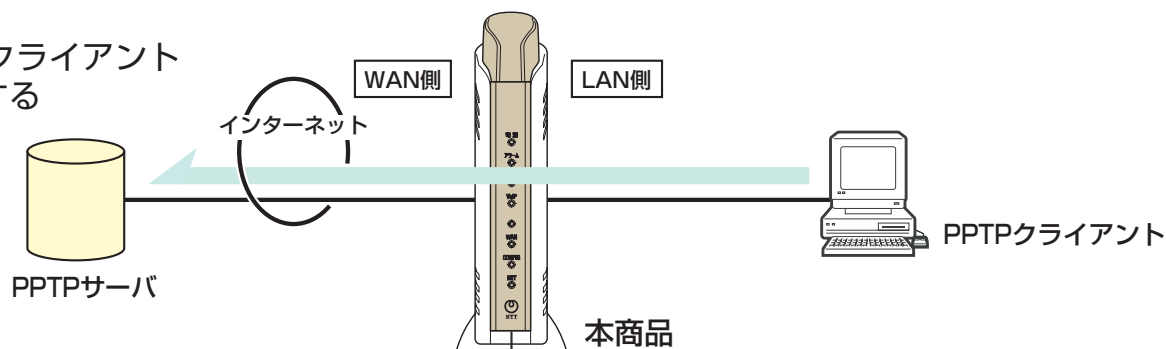
ワンポイント

● 「送信元アドレスルーティング設定」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

VPNパススルー設定

LAN側のプライベートIPアドレスを持つVPNクライアントのパケットをWAN側へ通過させ、WAN側を経由してもう一方のLAN側のプライベートIPアドレスをもつサーバへアクセスすることができます。

WAN側から通信を開始したい場合に、本設定を行ってください。（利用例1の場合）

［利用例1］
本商品に接続したPPTPサーバに接続する

［利用例2］
本商品に接続したPPTPクライアントからPPTPサーバに接続する

お知らせ

- LAN側から通信を開始する場合、VPNパススルーの設定を行う必要はありません。
- VPNパススルー設定を利用する場合は、1つのサーバに対して複数のセッションの通信はできません。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」-「VPNパススルー設定」をクリックします。

①「有効」を選択します。

②「LAN側IPアドレス」を入力します。
※「空欄」の場合は、サーバ公開機能は無効になります。

③「全て」を選択します。
※「全て」を選択した場合は、すべてのWAN側アドレスを有効にします。

④「確認」をクリックします。

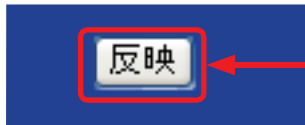
⑤「送信」をクリックします。

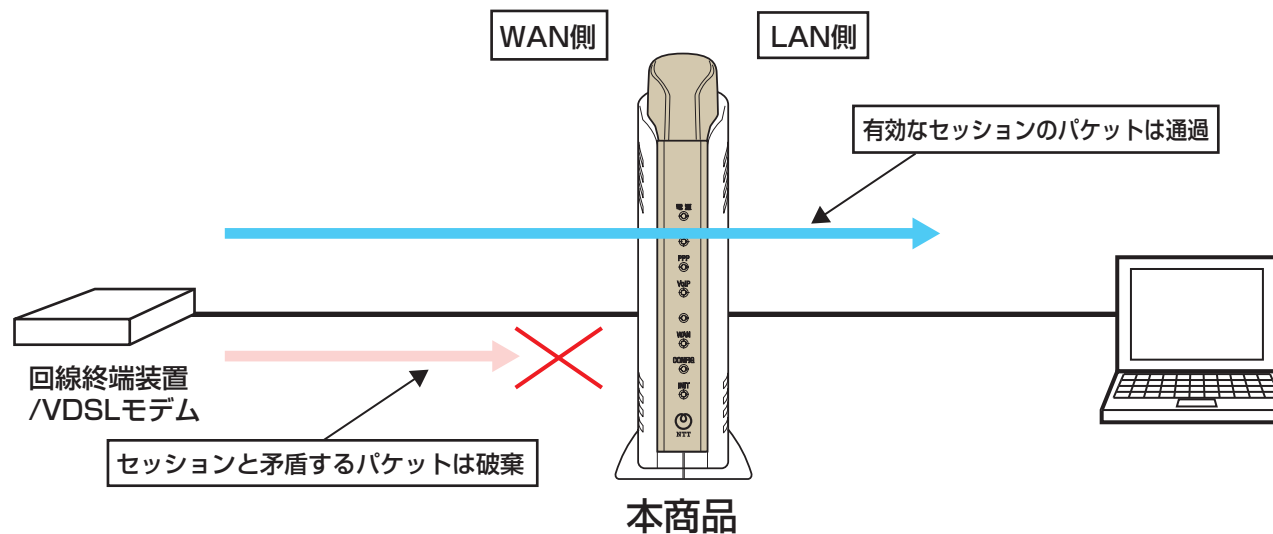
表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

3 反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

外部からの不正アクセスを防止するには（SPI機能）

本商品は、通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放、閉鎖するステートフルパケットインスペクション（SPI）機能を備えています。セッション状態を判定して制御を行うので、IPフィルタ設定では防ぐことのできない不正アクセスにも対応でき、情報セキュリティ対策として有効です。

ワンポイント

● SPI機能に関する本商品の設定は必要ありません。

Windows共有フィルタを設定するには

本商品のWindows共有フィルタ機能を使用することによって、外部とのWindows 共有関係（NetBIOS）のトラフィックを遮断することができ不必要な情報の流出を防止することができます。

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」－「Windows共有フィルタ/ステルス設定」をクリックします。

①「Windows共有フィルタ」のプルダウンメニューから「有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

● Windows共有フィルタの設定は初期設定状態で「有効」になっています。

■ ステルス機能を設定するには

ステルス機能を設定することによってWAN側からの不正なアクセスを防止することができます。以下の機能を制御可能です。

TCPステルス機能…… 開いていないポートに対して装置へ送出されたTCPセッション開始パケットに対してRSTパケットを送出しません。

UDPステルス機能…… 開いていないポートに対してWAN側から送出されたUDPパケットに対して返信されるICMP port unreachableパケットを破棄します。

ICMPステルス機能……WAN側から本商品に向けられた不正なICMPパケットに応答しません。

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」-「Windows共有フィルタ/ステルス設定」をクリックします。

2

①「有効」を選択します。
②「有効」を選択します。
③「有効」を選択します。
④「有効」を選択します。
⑤「確認」をクリックします。
⑥「送信」をクリックします。

3

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

IPv6サービスを利用するには

通常のインターネット接続と同時にフレッツ・ドットネットなどのIPv6によるサービスを利用することができます。

事前に以下の用意をします。
①サービスへの申し込みをします。
②IPv6クライアントの通信装置（ブロードバンド映像受信装置、パソコンなど）を準備します。

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「ネットワーク設定」をクリックします。

2

①「有効」を選択すると、本商品と接続した機器でもIPv6サービスを利用できるようになります。
LAN側ポートにLANケーブルで接続した機器のみでIPv6サービスを利用する場合は、「有線LANのみ有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

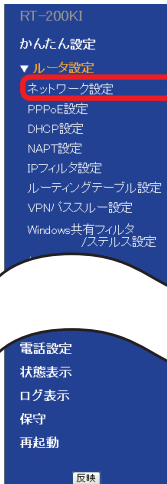
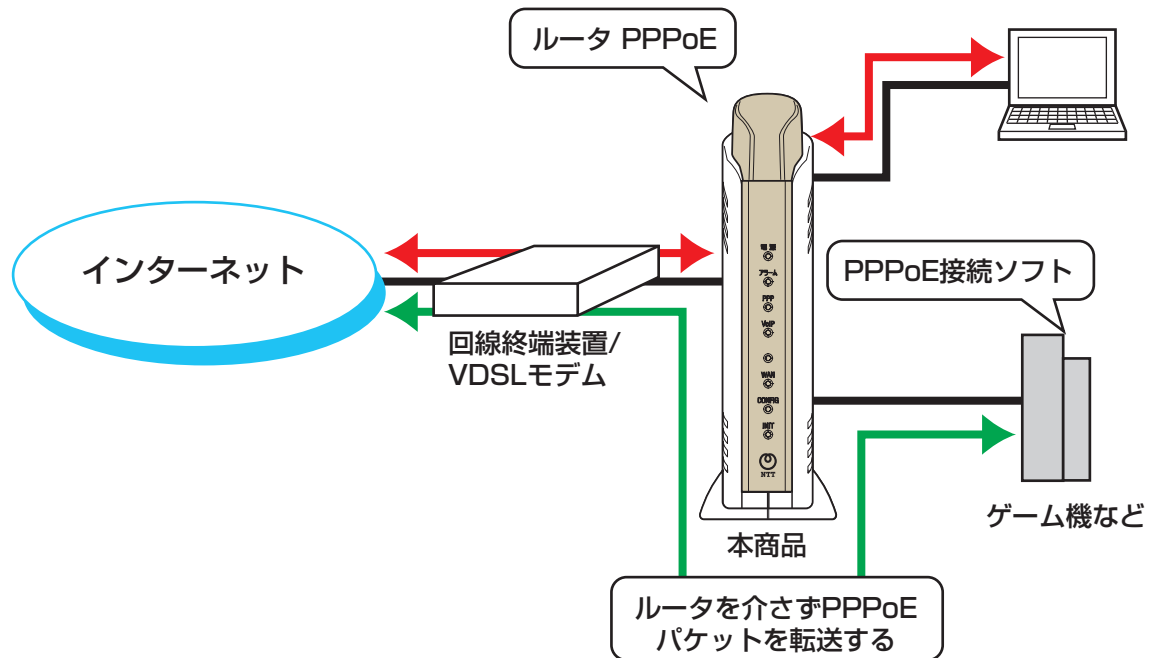
3

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
IPv6サービスをお楽しみください。

ワンポイント

●PPPoEセッションが接続中でも使用できます。
●IPv6の各サービスの詳細については、ホームページなどをご確認ください。

PPPoEフレームをブリッジするには

フレッツ・コネクトやフレッツ・コミュニケーションなどのサービスを利用するときに使用します。
WANとLANインタフェース間でPPPoEフレームをブリッジすることで、LAN側に接続されているパソコンからPPPoEを利用して、インターネットに接続できるようにする機能です。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「ネットワーク設定」をクリックします。

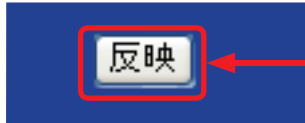
2

①「有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

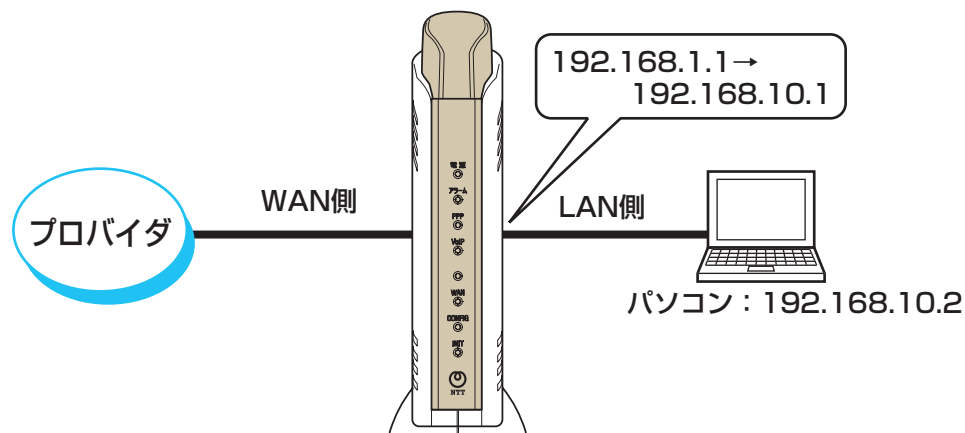
表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

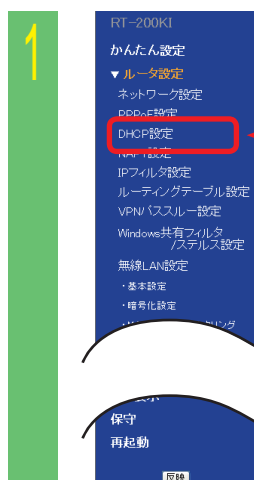
3 反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ LAN側のIPアドレスを変更するには

本商品のLAN側IPアドレスの変更を行います。
本商品の「DHCP設定」の「LAN側ネットワーク設定」で変更することができます。

ここではIPアドレスを「192.168.1.1」から「192.168.10.1」に変更する場合を例に説明します。

●設定方法

■本商品の設定

「メニュー」から「ルータ設定」－「DHCP設定」をクリックします。

①「LAN側IPアドレス/マスク長」を入力します。
(例) 192.168.10.1/24

②「有効」を選択します。

③「割り当て開始IPアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.2

④「割り当て終了IPアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.10

⑤「DNSサーバアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.1

⑥「確認」をクリックします。

⑦「送信」をクリックします。

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

ワンポイント

●LAN側IPアドレスの設定時にIPアドレスの重複を知らせるエラーメッセージが表示された場合は、LAN側IPアドレスを別のIPアドレスに変更してください。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

■ 無線LANクライアントからの通信を制限するには（MACアドレスフィルタリング）

無線LANクライアント（パソコンなど）からの通信を制限することができます。
通信機器は固有の番号として「MACアドレス」を持っています。
MACアドレスを本商品（無線LANアクセスポイント）へ登録することにより、未登録の通信機器からのLAN接続やインターネット接続を制限します。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「無線LAN設定」－「MACアドレスフィルタリング」をクリックします。

2

①「有効」を選択します。
②「拒否」を選択します。
③事前に調べた「MACアドレス」を入力します。
※「MACアドレスの確認方法」（☛P1-116）を参照してください。
④「許可」を選択します。
⑤「追加」をクリックします。
⑥一覧に入力したデータが表示されているか確認します。
⑦「確認」をクリックします。
⑧「送信」をクリックします。

3 反映

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
未登録の通信機器からのLAN接続やインターネット接続ができなくなります。

ワンポイント

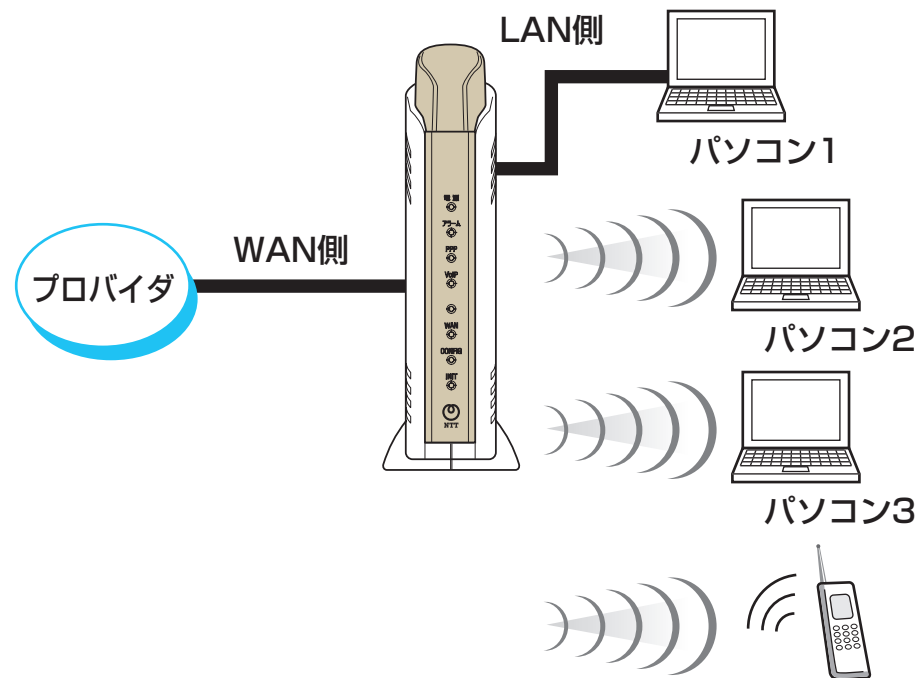
- MACアドレスは32台まで登録できます。
- 「デフォルトポリシー」を「許可」、「ポリシー」を「拒否」に設定することで、MACアドレスを登録した通信機器だけ拒否することも可能です。
- 「MACアドレスフィルタリング」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（☛P1-55）

お知らせ

- 「デフォルトポリシー」を「拒否」に設定した状態において、新しいパソコンなど購入した場合など、そのままでは無線LANを利用することができません。必ずMACアドレスの登録が必要です。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

■ 複数のパソコンやIP端末を接続するには

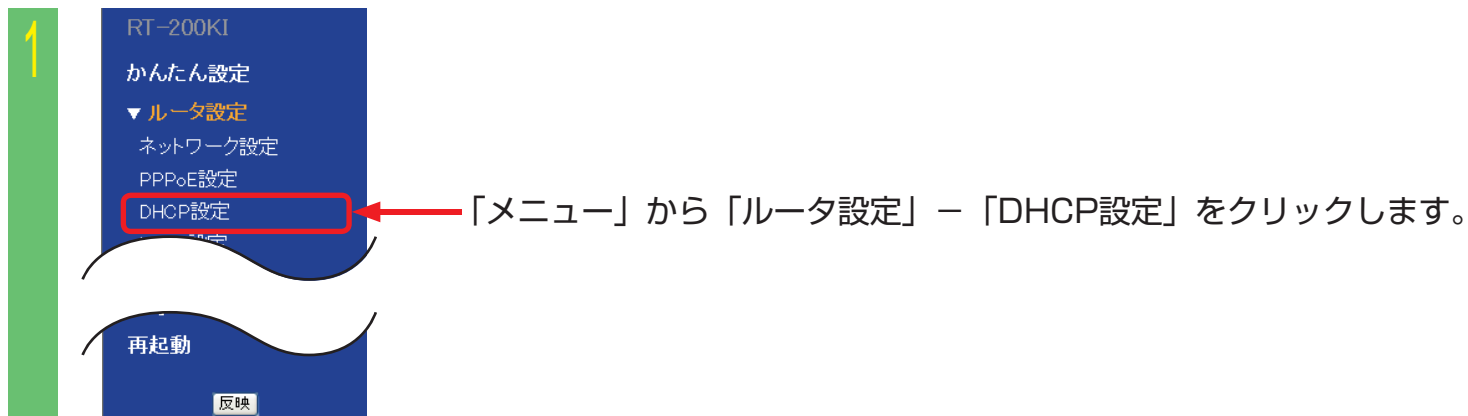
DHCPサーバ機能によりIPアドレスなどのネットワークに必要な情報を自動的に割り当てることができます。
これにより、各パソコンやIP端末でネットワークの詳細の設定を行わなくてもインターネット接続などができます。
ただし、毎回同じ情報が割り当てられるとは限らないため、サーバ公開などを考慮して、端末に常に同じネットワーク情報を割り当てることもできます。

事前に以下の用意をします。
無線IP端末を接続する場合
　①無線IP端末の設定と接続をします。
　②本商品の無線LAN、MACアドレスフィルタリング等の設定をします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「DHCP設定」をクリックします。

2

（例１）パソコンのIPアドレスを「192.168.1.2～10」の間で収容する場合

DHCP設定　ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長	192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能	有効
割り当て開始 IPアドレス	192.168.1.2
割り当て終了 IPアドレス	192.168.1.10
DNS サーバアドレス	192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス	
MACアドレス	(記入例 00:11:22:33:44:55)

追加　変更　削除

IPアドレス　MACアドレス

確認　送信

①「LAN側IPアドレス/マスク長」を入力します。

②「有効」を選択します。

③「割り当て開始IPアドレス」を入力します。（取扱説明書「パソコンを設定する」参照）
（例）192.168.1.2

④「割り当て終了IPアドレス」を入力します。（取扱説明書「パソコンを設定する」参照）
（例）192.168.1.10

⑤「DNSサーバアドレス」を入力します。（本商品のLAN側IPアドレスを推奨します。）
（例）192.168.1.1

⑥「確認」をクリックします。

⑦「送信」をクリックします。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録

（例2）パソコンのIPアドレスを「192.168.1.2～10」の間で収容する場合
（192.168.1.10を固定IPアドレスとする場合）

「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☛P1-55）を参照して設定してください。

3

「反映」をクリックします。
再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

ワンポイント

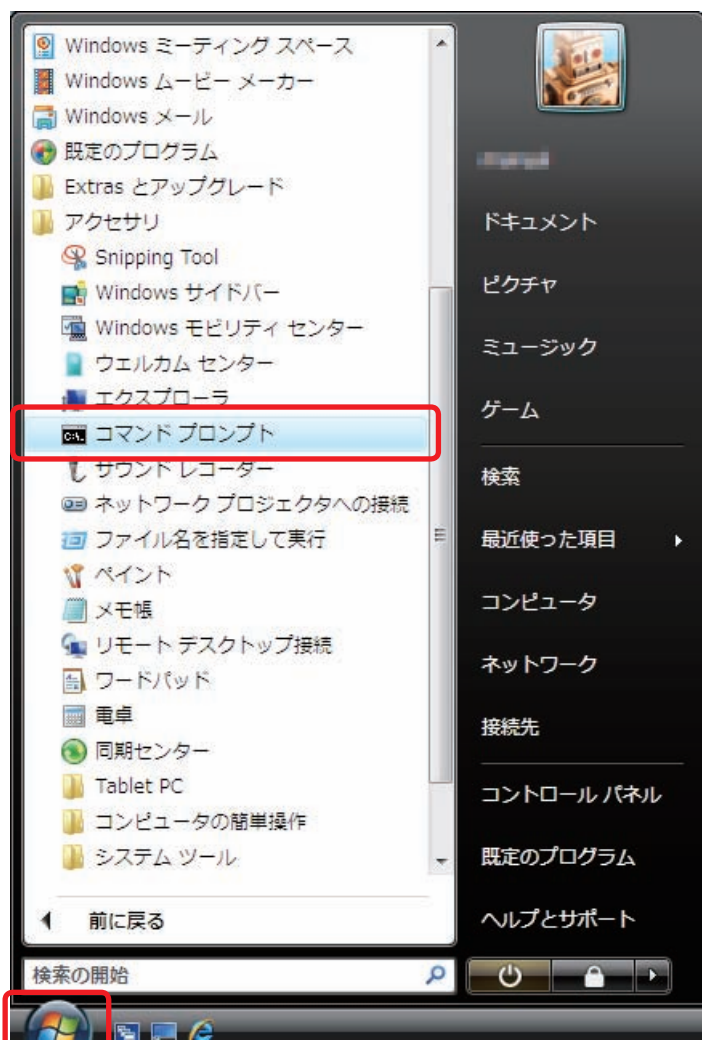
●IPアドレスの固定設定は16種類まで登録できます。

目次
用語集

■ MACアドレスの確認方法

MACアドレスを調べます。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]をクリックします。

2 「ipconfig /all」コマンドを入力します。「物理アドレス」（または「Physical Address」）の値が「MACアドレス」です。

第2章　本商品の設定画面

■ Webブラウザ設定一覧

メインメニュー
サブメニュー
RT−200KI
かんたん設定
ルータ設定
電話設定
状態表示
ログ表示
保守
再起動
反映
▼状態表示
装置状態表示
内線端末状態表示
▼ログ表示
障害ログ表示
通話ログ表示
通信ログ表示
ファームウェア更新ログ表示
▼保守
パスワード設定
Ping送信
設定値保存/復元
ファームウェア更新
ファームウェア更新設定
装置状態表示（☛P2-29）（☛取扱説明書「故障かな？と思ったら」）
内線端末状態表示（☛P2-32）（☛取扱説明書「故障かな？と思ったら」）
障害ログ表示（☛P2-34）
通話ログ表示（☛P2-35）
通信ログ表示（☛P2-36）
ファームウェア更新ログ表示（☛P2-37）
パスワード設定（☛P2-38）（☛取扱説明書「パソコンを設定する」）
Ping送信（☛P2-39）（☛取扱説明書「故障かな？と思ったら」）
設定値保存／復元（☛P2-40）
ファームウェア更新（☛P2-41）（☛取扱説明書「バージョンアップする」）
ファームウェア更新設定（☛P2-42）
再起動（☛P2-43）（☛取扱説明書「パソコンを設定する」）

■ 設定項目説明

かんたん設定

かんたん設定　ヘルプ？

インターネットサービスプロバイダ設定

接続ユーザ名	（例：aaa@xxxxxxx.ne.jp、bbb@xxxxxxx.or.jp）
接続パスワード	
接続パスワード確認	

確認　送信

項目	内容	初期値
インターネットサービスプロバイダ設定		
接続ユーザ名	「プロバイダの設定情報」に書かれている“接続ユーザ名”を設定します。	なし
接続パスワード／確認	「プロバイダの設定情報」に書かれている“接続パスワード”を設定します。確認のため、「接続パスワード確認」にも同じパスワードを設定します。	なし

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：ネットワーク設定

ネットワーク設定　ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長	192.168.1.1 / 24

PPPoEブリッジ設定

PPPoEブリッジ設定	有効

IPv6ブリッジ設定

IPv6ブリッジ設定	有線LANのみ有効

NTPサーバ設定

NTPサーバ設定	

ポート設定

WAN ポート設定	自動認識
LAN 1 ポート設定	自動認識
LAN 2 ポート設定	自動認識
LAN 3 ポート設定	自動認識
LAN 4 ポート設定	自動認識

LAN側 MDI/MDI-X モード設定

MDI/MDI-X設定	MDI-X固定

確認　送信

項目	内容	初期値
LAN側ネットワーク設定		
LAN側IP アドレス	本商品のLAN側 IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例:IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」､IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） 【注意】通常は初期値のままで使用してください。 【注意】送信元アドレスルーティングに登録されているIPアドレスと同じ値、および別のネットワークアドレスとなるような値の設定はできません。 【注意】ひかり電話で使用するIPアドレスと重複した場合は、別のIPアドレスを設定してください。	192.168.1.1
LAN側 マスク長	本商品のLAN側 マスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：「LAN側 IPアドレス」が ・1.0.0.0～126.255.255.255の場合：8～30 ・128.0.0.0～191.255.255.255の場合：16～30 ・192.0.0.0～223.255.255.255の場合：24～30 【注意】通常は初期値のままで使用してください。	24
PPPoEブリッジ設定		
PPPoE ブリッジ設定	WANとLANインタフェース間でPPPoEフレームをブリッジします。 設定範囲：無効／有効	有効
IPv6ブリッジ設定		
IPv6 ブリッジ設定	WANとLANインタフェース間でIPv6フレームをブリッジします。 設定範囲：無効／有効／有線LANのみ有効	有線LANのみ有効

項目	内容	初期値
NTP サーバ設定		
NTP サーバ設定	オプションで時計サーバ（NTPサーバ）のアドレスまたはホスト名を 半角英数字で設定します。本商品の日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。 設定範囲：半角英数字「.」「-」（63文字以内） 【注意】先頭、末尾、ドットの前後には「.」「-」は設定できません。 【注意】NTPサーバがネットワーク上に存在している必要があります。	なし
ポート設定		
WANポート設定	WAN側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重　：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重　：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN1ポート設定	LAN1 側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重　：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重　：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN2ポート設定	LAN2 側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重　：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重　：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN3ポート設定	LAN3 側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重　：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重　：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN4ポート設定	LAN4 側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重　：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重　：10Mbpsの半二重通信	自動認識

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

項目	内容	初期値
LAN側 MDI/MDI-X モード設定		
MDI/MDI-X設定	LAN側ETHERポートのMDI/MDI-Xモードを設定します。 MDIとMDI-Xの接続にはストレートケーブルを、MDI同士やMDI-X同士の接続にはクロスケーブルを使用します。 通常は「MDI-X固定」を使用してください。 設定範囲： ・MDI-X固定：IP端末やパソコンと本商品をストレートケーブルで接続できるよう設定します。 ・MDI固定：IP端末やパソコンと本商品をクロスケーブルで接続できるよう設定します。 ・自動設定：IP端末やパソコンと本商品をストレートケーブル、クロスケーブルどちらも接続できるよう自動設定します。	MDI-X固定

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：PPPoE設定

PPPoE設定　ヘルプ?

セッション設定

接続先	1	2	3	4	5
メインセッション	○	○	○	○	○
使用するセッション	□	□	□	□	□

接続先1

接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワード確認	
認証方式	○認証なし ○PAP ○CHAP ◉PAP+CHAP
接続モード	常時接続　自動切断までの時間 0 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ　セカンダリ
MTU値	1454
IP アドレス指定	◉指定しない ○指定する（unnumbered 接続） IP アドレス　/ マスク長　/

接続先2

接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワード確認	
認証方式	○認証なし ○PAP ○CHAP ◉PAP+CHAP
接続モード	要求時接続　自動切断までの時間 1800 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ　セカンダリ
MTU値	1454
IP アドレス指定	◉指定しない ○指定する（unnumbered 接続） IP アドレス　/ マスク長　/

接続先3

接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワード確認	
認証方式	○認証なし ○PAP ○CHAP ◉PAP+CHAP
接続モード	要求時接続　自動切断までの時間 1800 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ　セカンダリ
MTU値	1454
IP アドレス指定	◉指定しない ○指定する（unnumbered 接続） IP アドレス　/ マスク長　/

接続先4

接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワード確認	
認証方式	○認証なし ○PAP ○CHAP ◉PAP+CHAP
接続モード	要求時接続　自動切断までの時間 1800 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ　セカンダリ
MTU値	1454
IP アドレス指定	◉指定しない ○指定する（unnumbered 接続） IP アドレス　/ マスク長　/

項目	内容	初期値
セッション設定		
メインセッション	メインセッションを選択します。使用するセッションに選択されている中からメインセッションを選択してください。	接続先1
使用するセッション	使用する接続先を選択してください。 契約内容によって最大5セッションまで接続可能です。	接続先1
接続先1～5		
接続ユーザ名	プロバイダより指定された接続ユーザ名を半角英数字で設定します。	なし
接続パスワード／確認	プロバイダより指定されたパスワードを半角英数字で設定します。「接続パスワード確認」にも同じパスワードを設定します。	なし
認証方式	PPPoE接続の認証方式を設定します。 PAP+CHAPを選択した場合、接続先と一致した方式を使用します。 設定範囲：認証なし／PAP／CHAP／PAP＋CHAP	PAP＋CHAP
接続モード	PPPoEセッションを常時接続するか無通信状態が続いた場合にPPPoEセッションを切断するかを設定します。 設定範囲：常時接続／要求時接続 設定範囲（自動切断までの時間）：60～86400秒 常時接続：常に通信可能な状態を保ちます。PPPoEセッション切断時には自動で再接続します。ただし、手動切断の場合は再接続しません。 要求時接続：「自動切断までの時間」に設定した時間だけ無通信状態が続くと、PPPoEセッションを切断します。	接続先1：常時接続 接続先2以降：要求時接続「自動切断までの時間」1800秒

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

接続先5

接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワード確認	
認証方式	○認証なし ○PAP ○CHAP ◉PAP+CHAP
接続モード	要求時接続　自動切断までの時間 1800 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ　セカンダリ
MTU値	1454
IP アドレス指定	◉指定しない ○指定する（unnumbered 接続） IP アドレス　/ マスク長　/

確認　送信

項目	内容	初期値
DNSサーバアドレス	プロバイダよりDNSサーバを指定されている場合、DNSサーバのIPアドレスを半角数字で設定します。 プロバイダから指定された場合にのみ設定してください。 【注意】DNSサーバがネットワーク上に存在している必要があります。	なし
MTU値	MTU値を半角数字で設定します。 設定範囲：576～1492 【注意】通常は初期値のままで使用してください。	1454
IPアドレス指定	プロバイダより提供されるUnnumbered接続を利用する場合、「指定する」を設定します。 ここで指定したIPアドレスが本商品のIPアドレスとして設定されます。 設定範囲：指定しない／指定する Unnumbered接続を行う場合は、IPアドレスとマスク長を半角数字で設定します。 設定範囲（IPアドレス）：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.（ドット）」） 設定範囲（マスク長）：1～32 【注意】ひかり電話で使用するIPアドレスと重複した場合は、IPアドレスを変更してください。	指定しない

ルータ設定：DHCP設定

DHCP設定 ヘルプ?
LAN側ネットワーク設定
LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24
DHCPサーバ設定
DHCPサーバ機能 有効
割り当て開始 IPアドレス 192.168.1.2
割り当て終了 IPアドレス 192.168.1.11
DNS サーバアドレス 192.168.1.1
固定IPアドレスで使用する端末の情報設定
IPアドレス
MACアドレス （記入例 00:11:22:33:44:55）
追加 変更 削除
IPアドレス MACアドレス
確認 送信

項目	内容	初期値
LAN側ネットワーク設定		
LAN側 IP アドレス	本商品のLAN側 IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255（0～9、「.（ドット）」） ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） 【注意】通常は初期値のままで使用してください。 【注意】送信元アドレスルーティングに登録されているIPアドレスと同じ値、および別のネットワークアドレスとなるような値の設定はできません。 【注意】ひかり電話で使用するIPアドレスと重複した場合は、別のIPアドレスを設定してください。	192.168.1.1
LAN側 マスク長	本商品のLAN側 マスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：「LAN側 IPアドレス」が ・1.0.0.0～126.255.255.255の場合：8～30 ・128.0.0.0～191.255.255.255の場合：16～30 ・192.0.0.0～223.255.255.255の場合：24～30 【注意】 通常は初期値のままで使用してください。	24
DHCPサーバ設定		
DHCPサーバ 機能	本商品の配下（LAN側）に接続される装置へIPアドレスを自動割り当てする機能です。 設定範囲：無効／有効	有効

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

項目	内容	初期値
割り当て開始IPアドレス	DHCPサーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス範囲の開始IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） 【注意】IPアドレス割り当て範囲は、LAN側IPアドレスと同一のサブネットでLAN側IPアドレスが含まれない範囲で、253以内のIPアドレス数になるように指定してください。接続される機器数が割り当てるアドレス範囲を超えると、正常に接続ができなくなる場合がありますので、万が一割り当てるアドレス範囲を変更する場合には、接続される機器数以上の範囲を指定してください。	192.168.1.2
割り当て終了IPアドレス	DHCPサーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス範囲の終了IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」）	192.168.1.11
DNSサーバアドレス	本商品の配下の装置に通知するDNSサーバのIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「．（ドット)」) 【注意】本商品のLAN側IPアドレスを推奨します。	192.168.1.1
固定IPアドレスで使用する端末の情報設定 固定IPアドレスで使用する端末の情報を16個登録することができます。		
IPアドレス	DHCPで固定のIPアドレスを割り当てる端末のIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」）	なし
MACアドレス	DHCPで固定のIPアドレスを割り当てる端末のMACアドレスを半角英数字で設定します。 MACアドレスは「ipconfig /all」などのネットワーク状況を確認するコマンドを入力したときに「物理アドレス」または「Physical Address」として表示されます。 設定範囲：00:00:00:00:00:01～FF:FF:FF:FF:FF:FF(0～9、A～F、「：(コロン)」)	なし

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：NAPT設定

項目	内容	初期値
動的NAPT機能	本商品の動的NAPT機能の無効／有効を設定します。 一つのグローバルアドレスを複数のクライアント装置に割り振るときに使用するポート番号は 自動的に決定されます。 設定範囲：無効／有効	有効
簡易DMZ IPアドレス	グローバル側からのアクセスを特定の端末へすべて転送する機能です。 転送先IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット)」)	なし
UPnP設定		
UPnP機能	本商品のUPnP機能の無効／有効を設定します。 設定範囲：無効／接続先1有効／接続先2有効／接続先3有効／接続先4有効／接続先5有効	接続先１有効
静的NAPT設定（ポート転送規則） 静的NAPT機能を適用するポート転送規則を、最大16パターン登録することができます。 ボタン操作により、ルールの優先順位を入れ替えることができます。 【注意】一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。		
設定例	■FTPサーバの公開 公開したいFTPサーバのアドレスが下記の場合 - IPアドレス　192.168.1.20 - サブネットマスク　255.255.255.0	―

割り当て WAN 側受信ポート範囲	20 ～ 21
プロトコル種別	TCP
LAN 側転送 IP アドレス	192.168.1.20
LAN 側転送ポート	20

項目	内容	初期値
設定例	■Webサーバの公開 公開したいWebサーバのアドレスが下記の場合 - IPアドレス　192.168.1.30 - サブネットマスク　255.255.255.0 割り当て WAN 側受信ポート範囲: 80 プロトコル種別: TCP LAN 側 転送 IP アドレス: 192.168.1.30 LAN 側 転送ポート: 80	－
割り当てWAN側受信ポート範囲	入力方法がポート番号入力の場合： 対象ポートが1つの場合は、開始ポートのみ入力で設定できます。ポート範囲は16以内です。テキストボックスの中に数値を入力して設定します。 設定範囲：1～65535 入力方法がサービス名入力の場合： プルダウンで選択して設定します。 設定範囲：サービス名対応ポート番号一覧参照	なし
プロトコル種別	転送するプロトコルを設定します。 設定範囲：TCP／UDP	なし
LAN側 転送IPアドレス	転送するIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット)」)	なし
LAN側 転送ポート	入力方法がポート番号入力の場合： テキストボックスの中に数値を入力して設定します。 設定範囲：1～65535 入力方法がサービス名入力の場合： プルダウンで選択して設定します。 設定範囲：サービス名対応ポート番号一覧参照	なし
サービス名対応ポート番号	(下表参照)	

ポート番号	サービス名	ポート番号	サービス名
20	ftp-data	113	auth
21	ftp	119	nntp
22	ssh	123	ntp
23	telnet	137	netbios-ns
25	smtp	138	netbios-dgm
53	domain	139	netbios-ssn
70	gopher	143	imap
80	http	161	snmp
110	pop3	443	https

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：IPフィルタ設定

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>デフォルトの規則</td><td>パケットフィルタ規則で指定しないIPアドレス、ポート番号からのアクセスに対して許可／破棄を指定します。
設定範囲：許可／破棄</td><td>許可</td></tr>
<tr><td colspan="3">パケットフィルタ規則
受信パケットのフィルタルールを最大64パターン登録することができます。
ボタン操作により、ルールの優先順位を入れ替えることができます。
【注意】フィルタは一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。</td></tr>
<tr><td>設定例</td><td>■特定のパソコンからのWebアクセス禁止
下記のアドレスからのWebアクセスを禁止する場合
- IPアドレス　192.168.1.10
- サブネットマスク　255.255.255.0
<table><tr><td>方針</td><td>破棄</td></tr><tr><td>プロトコル種別</td><td>TCP</td></tr><tr><td>入力インタフェース</td><td>LAN</td></tr><tr><td>出力インタフェース</td><td>全て</td></tr><tr><td>送信元 IP アドレス / マスク長</td><td>192.168.1.10/32</td></tr><tr><td>送信先 IP アドレス / マスク長</td><td>全て</td></tr><tr><td>送信先ポート番号</td><td>80</td></tr></table></td><td>－</td></tr>
<tr><td>方針</td><td>受信パケットのフィルタルールを設定します。
設定範囲：許可（ALLOW）／破棄（DROP）
【注意】本商品に対するひかり電話、Web設定機能、遠隔保守機能によるアクセスは規制されません。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>プロトコル種別</td><td>フィルタリングするパケットのプロトコルを設定します。
設定範囲：全て（ANY）／TCP／UDP／ICMP</td><td>－</td></tr>
</table>

項目	内容	初期値
入力インタフェース	フィルタリングする入力インタフェースを設定します。 設定範囲：全て（ANY）／WAN／LAN／接続先1～5	－
出力インタフェース	フィルタリングする出力インタフェースを設定します。 設定範囲：全て（ANY）／WAN／LAN／接続先1～5	－
送信元IPアドレス／マスク長	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスとサブネットマスクを半角数字で設定します。 設定範囲：全て（ANYWHERE）／指定：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.（ドット）」）／1～32	－
送信先IPアドレス／マスク長	フィルタリングするパケットの送信先IPアドレスとサブネットマスクを半角数字で設定します。 設定範囲：全て（ANYWHERE）／指定：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.（ドット）」）／1～32	－
送信先ポート	入力方法がポート番号入力の場合： 対象ポートが1つの場合は、開始ポートのみ入力で設定できます。テキストボックスの中に数値を入力して設定します。 設定範囲：1～65535 入力方法がサービス名入力の場合： プルダウンで選択して設定します。 設定範囲：サービス名対応ポート番号一覧参照	－
サービス名対応ポート番号	（下表）	

ポート番号	サービス名	ポート番号	サービス名
20	ftp-data	113	auth
21	ftp	119	nntp
22	ssh	123	ntp
23	telnet	137	netbios-ns
25	smtp	138	netbios-dgm
53	domain	139	netbios-ssn
70	gopher	143	imap
80	http	161	snmp
110	pop3	443	https

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：ルーティングテーブル設定

ルーティングテーブル設定　ヘルプ？

送信元アドレスルーティング設定

送信元アドレス　接続先1

追加　変更　削除

送信元アドレス / 接続先

ドメイン名ルーティング設定

ドメイン名　接続先1

追加　変更　削除

ドメイン名 / 接続先

上へ↑　下へ↓

各ルーティングテーブルの優先順位は、下記の通りとなります。
1. 送信元アドレス
2. ドメイン名
3. 宛先ネットワークアドレス（接続先指定）
4. 宛先ネットワークアドレス（ゲートウェイIPアドレス指定）

【注意】マスク長で指定した宛先ネットワークアドレスの部分が、そのマスク長の範囲において、その他のルーティング設定と一致する場合、マスク長が長い方のルーティング設定が優先されます。

【注意】DNSリレー機能は、ドメイン名ルーティング設定に従って動作します。

項目	内容	初期値
送信元アドレスルーティング設定 最大16パターン登録することができます。		
送信元アドレス	送信元アドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255（0～9、「.（ドット）」）/ 接続先1～接続先5 ただし、以下は除きます。 ・127.0.0.0～127.255.255.255 / 接続先1～接続先5 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） 【注意】登録可能なアドレスはLAN側ネットワーク内のアドレスのみです。また、本商品のLAN側IPアドレスは設定できません。	なし／接続先1
ドメイン名ルーティング設定 最大16パターン登録することができます。 ボタン操作により、ルーティングの優先順位を入れ替えることができます。 【注意】一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。		
ドメイン名	ドメイン名を半角英数字で設定します。 設定範囲：半角英数字「.」「-」（63文字以内）／接続先1～接続先5 【注意】先頭、末尾、ドットの前後には「.」「-」は設定できません。	なし／接続先1

宛先ネットワークアドレスルーティング設定(接続先指定)

宛先ネットワークアドレス/マスク長　/　接続先1

追加　変更　削除

宛先ネットワークアドレス / マスク長 / 接続先

宛先ネットワークアドレスルーティング設定(ゲートウェイIPアドレス指定)

宛先ネットワークアドレス/マスク長　/

ゲートウェイIPアドレス

追加　変更　削除

宛先ネットワークアドレス / マスク長 / ゲートウェイIPアドレス

上へ↑　下へ↓

確認　送信

項目	内容	初期値
宛先ネットワークアドレスルーティング設定（接続先指定） 最大16パターン登録することができます。		
宛先ネットワークアドレス／マスク長	宛先ネットワークアドレスとサブネットマスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.(ドット)」）／1～32／接続先1～接続先5	なし／なし／接続先1
宛先ネットワークアドレスルーティング設定（ゲートウェイIPアドレス指定） 最大24パターン登録することができます。 ボタン操作により、ルーティングの優先順位を入れ替えることができます。 【注意】一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。		
宛先ネットワークアドレス／マスク長	宛先ネットワークアドレスとサブネットマスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.(ドット)」）／1～32	なし／なし
ゲートウェイIPアドレス	指定したい経路の宛先ルータIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255（0～9、「.(ドット)」） 【注意】LAN側ネットワーク内のゲートウェイIPアドレスを設定してください。もし、WAN側IPアドレスが設定された場合は、設定されたIPアドレスに関係なく、デフォルトゲートウェイにルーティングされます。	なし

ルータ設定：VPNパススルー設定

VPNパススルー設定　ヘルプ?

PPTPパススルー設定
WANからLANへのアクセス　無効
LAN側IPアドレス
WAN側IPアドレス　全て　指定

IPsecパススルー設定
WANからLANへのアクセス　無効
LAN側IPアドレス
WAN側IPアドレス　全て　指定

L2TPパススルー設定
WANからLANへのアクセス　無効
LAN側IPアドレス
WAN側IPアドレス　全て　指定

確認　送信

【注意】本商品は、LAN側から発生するVPN通信の監視を行い、その通信の情報を元にWAN側からの通信を自動的にLAN側へ転送します。このため、LAN側から通信を開始する場合、VPNパススルーの設定を行う必要はありません。WAN側から通信を開始したい場合に、本設定を行ってください。

項目	内容	初期値
PPTPパススルー設定		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へPPTPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：　0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：　全て／指定　:0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	全て
IPsecパススルー設定		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へIPsecパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：全て／指定　：　0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	全て
L2TPパススルー設定		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へL2TPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：全て／指定　：　0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)	全て

ルータ設定：Windows共有フィルタ/ステルス設定

Windows共有フィルタ/ステルス設定 ヘルプ?

Windows 共有フィルタ	有効
ステルスモード設定	
TCPステルスモード	有効
UDPステルスモード	有効
ICMPステルスモード(PPPoE)	無効
ICMPステルスモード(ひかり電話)	無効

確認 送信

項目	内容	初期値
Windows共有フィルタ	外部とのWindows共有関係（Net BIOS）のトラフィックを遮断する設定です。 設定範囲：無効／有効	有効
ステルスモード設定		
TCPステルスモード	各プロトコルにおける本商品へのアクセスに応答するかを設定します。「有効」にすると応答しません。 設定範囲：無効／有効	有効
UDPステルスモード		有効
ICMPステルスモード（PPPoE）		無効
ICMPステルスモード（ひかり電話）		無効

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：無線LAN設定－基本設定

基本設定 ヘルプ?

無線動作モード	11b+g
Super AG	有効(圧縮なし)
無線ネットワーク名(SSID)	RT200KI-012345
無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)	有効
送信パワー設定	100 %
ビーコン送出間隔	100 (設定単位: 1024μSec)
DTIM	1 (設定単位: ビーコン送出間隔)

無線チャネル

11b+g/11g	13 チャネル
11a	48 チャネル

送信速度

11b+g	auto Mbps
11g	auto Mbps
11a	auto Mbps
マルチキャストパケット伝送速度	24 Mbps

無線QoS

WMM/EDCA 優先制御	有効

確認 送信

項目	内容	初期値
無線動作モード	無線LANの種別を設定します。 「11b+g」:IEEE802.11b&IEEE802.11g 「11g」:IEEE802.11g 「11a」:IEEE802.11a 設定範囲：11b+g／11g／11a 【注意】無線動作モードは無線LANクライアントと設定を合わせてご使用ください。	11b+g
Super AG	Super AG機能を設定します。 設定範囲：無効／有効（圧縮あり）／有効（圧縮なし）	有効（圧縮なし）
無線ネットワーク名(SSID)	無線ネットワーク名（SSID）を設定します。 設定範囲：1～32文字以内 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く）	「RT200KI-」 ＋「WAN側MACアドレスの下6桁」 (例)RT200KI-012345
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）	無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否）を設定します。 この機能を「有効」に設定することにより、他のパソコンや無線LANクライアントからのネットワーク名の参照(検索)に応答しないようになります。 設定範囲：無効／有効	有効
送信パワー設定	送信パワーを設定します。 設定範囲：100／50／25(%)	100(%)
ビーコン送出間隔	ビーコン送出間隔を設定します。 設定範囲：20～1000(×1024μSec)	100
DTIM	パワーセーブモードの無線LANクライアントが起動する時間間隔を指定します。 設定範囲：1～255(×ビーコン送出間隔)	1

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

項目	内容	初期値
無線チャネル		
11b+g ／11g	無線動作モードが「11b+g」または「11g」の場合に使用するチャネルを設定をします。 設定範囲：1～13(ch)	ランダムに選択します。
11a	無線動作モードが「11a」の場合に使用するチャネルを設定をします。 設定範囲：36／40／44／48(ch)	ランダムに選択します。
送信速度 【注意】表示の数値は無線LANの規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。		
11b+g	11b+gの速度は自動設定のみです。 設定範囲： auto	auto
11g	11gの速度を設定します。 設定範囲： auto／54／48／36／24／18／12／9／6(Mbps)	auto
11a	11aの速度を設定します。 設定範囲： auto／54／48／36／24／18／12／9／6(Mbps)	auto
マルチキャストパケット伝送速度	マルチキャストパケット伝送速度を設定します。 設定範囲： auto／54／48／36／24／18／12／11／9／6／5.5／2／1(Mbps) 【注意】無線動作モードの送信速度が「auto」以外の場合は設定できません。無線動作モードが「11a」の場合、「11／5.5／2／1」の伝送速度は設定できません。	24(Mbps)
無線QoS		
WMM/EDCA優先制御	優先制御機能（WMM/EDCA）を設定します。 設定範囲：有効／無効	有効

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：無線LAN設定－暗号化設定

暗号化設定 ヘルプ?
暗号方式 OFF WEP TKIP AES
WEP
暗号化ビット長 64 128 152
入力方法 英数字 16進(HEX)入力
使用するWEPキー(キーインデックス) 1 2 3 4
WEPキー1
WEPキー2
WEPキー3
WEPキー4
TKIP / AES
事前共有キー
キー更新間隔 30 分
確認 送信

項目	内容	初期値
暗号方式	データの暗号方式の種別を設定します。 「OFF」： 暗号化を行いません。 「WEP」：「WEP」項目の設定を行ってください。 「TKIP」：「TKIP／AES」項目の設定を行ってください。 「AES」：「TKIP／AES」項目の設定を行ってください。 セキュリティ強度はOFF<WEP< TKIP<AESの順に高くなります。 設定範囲： OFF／ WEP／TKIP／AES	OFF
WEP		
暗号化ビット長	WEPキーのビット長を設定します。ビット長が長い程、セキュリティレベルは高くなります。 設定範囲： 64／128／152	64
入力方法	WEPキーの形式を設定します。 設定範囲： 16進（HEX）入力／英数字	16進（HEX）入力
使用するWEPキー（キーインデックス）	使用するWEPキーの番号を設定します。 設定範囲： 1～4	1
WEPキー1～4	入力方法が16進（HEX）入力の場合： 設定範囲：a-f、A-F、0-9 暗号化ビット長：「64」：10桁、「128」：26桁、「152」：32桁 入力方法が英数字の場合： 設定範囲： 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く） 暗号化ビット長：「64」：5桁、「128」：13桁、「152」：16桁	なし

項目	内容	初期値
TKIP／AES		
事前共有キー	事前共有キーを設定します。 設定後に下記のキー更新間隔の値を設定してください。 設定範囲 :8～63文字以内 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く）	なし
キー更新間隔	暗号化キーの更新時間を設定します。 設定範囲 :0～60(分)	30(分)

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ルータ設定：無線LAN設定－MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング ヘルプ?

MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング	無効
デフォルトポリシー	拒否

フィルタリングするMACアドレスの情報設定

MACアドレス	（記入例 00:11:22:33:44:55）
ポリシー	拒否 許可
	追加 変更 削除

MACアドレス ポリシー

確認 送信

項目	内容	初期値
MACアドレスフィルタリング		
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリングの有効／無効を設定します。「有効」に設定した場合は「デフォルトポリシー」および「フィルタリングするMACアドレスの情報設定」の設定をします。 設定範囲：無効／有効	無効
デフォルトポリシー	デフォルトポリシーの設定をします。「許可」に設定した場合はすべてのMACアドレスからのアクセスを許可します。 設定範囲：拒否／許可	拒否
フィルタリングするMACアドレスの情報設定 フィルタリングするMACアドレスを32個登録することができます。		
MACアドレス	MACアドレスを設定します。 MACアドレスは「ipconfig /all」などのネットワーク状況を確認するコマンドを入力したときに「物理アドレス」または「Physical Address」として表示されます。 設定範囲：00:00:00:00:00:01～FF:FF:FF:FF:FF:FF(0～9､A～F､「：(コロン)」)	なし
ポリシー	ポリシーを設定します。 設定範囲：拒否（DENY）／許可（PERMIT）	許可

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

電話設定：サービス設定

サービス設定　ヘルプ？

電話サービス

音質優先モード	無
優先着信ポート	無効

確認　送信

項目	内容	初期値
電話サービス		
音質優先モード	音声品質の優先度を設定します。 インターネットとひかり電話を同時に行っている条件でひかり電話の音声品質が劣化した場合は、本設定で「最優先」を選択することにより改善することがあります。 設定範囲：無／優先／最優先	無
優先着信ポート	優先着信ポート設定をすることで、指定したアナログポートに優先して着信させる機能です。2つのアナログポートに同一の着信番号が設定されている場合に設定可能となります。 設定範囲：無効／アナログ端末（TEL1）／アナログ端末（TEL2）	無効

電話設定：内線番号一覧

内線番号一覧

ヘルプ?

内線番号	収容端末選択	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
1	有効	アナログ端末(TEL1)	–	–	–
2	有効	アナログ端末(TEL2)	–	–	–
3	有効	IP端末1	–	–	未登録
4	有効	IP端末2	–	–	未登録
5	有効	IP端末3	–	–	未登録
6	無効	IP端末4	–	–	–
7	無効	IP端末5	–	–	–

確認　送信

項目	内容	初期値
内線番号	各内線端末の内線番号を表示します。	1～7
収容端末選択	各内線端末の使用有無を設定します。 設定範囲：有効／無効 【注意】アナログ端末1～2およびIP端末1～5の中から最大5つ有効に設定が可能です。	アナログ端末（TEL1～TEL2）：有効 IP端末1～3：有効 IP端末4～5：無効
端末名	各内線端末の端末名を表示します。	－
優先着信ポート	アナログ端末の優先着信ポートの設定状態を表示します。 範囲：優先／非優先／－ 【注意】IP端末の優先着信ポート状態は常に「－」と表示されます。	－
指定着信機能	アナログ端末の指定着信機能の設定状態を表示します。 範囲：有効／- 【注意】IP端末の指定着信状態は常に「-」と表示されます。	－
登録状態	IP端末の内線登録状態（レジスタ状態）を表示します。 範囲：登録済み／未登録／ - 【注意】アナログ端末の登録状態は常に「－」と表示されます。	アナログ端末（TEL1~TEL2）：－ IP端末1～3：未登録 IP端末4～5：－

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

電話設定：アナログ端末設定

アナログ端末TEL1　ヘルプ?

内線番号設定

内線番号	着信音選択
1	着信音2(SIR)

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定なし着信	着信音選択
	有効	有効	無効		無効	着信音1(IR)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(IR)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(IR)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(IR)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(IR)

その他の設定

ナンバー・ディスプレイ	使用する
モデムダイヤルイン	使用しない
割込音通知	使用する
ダイヤル桁間タイマ	4 秒

確認　送信

項目	内容	初期値
内線番号設定		
内線番号	アナログ端末の内線番号を設定します。 設定範囲：1～9、10～99(半角数字1～2桁)	アナログ端末TEL1：1、 アナログ端末TEL2：2
着信音選択	内線電話の着信音を設定します。 設定範囲：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	着信音2(SIR)
電話番号設定		
電話番号	ひかり電話の電話番号を表示します。 【注意】優先着信ポート設定が適用されている電話番号は、太字で表示されます。	−
通知番号	アナログ端末からひかり電話へ発信するときに、相手に通知する電話番号を設定します。 設定範囲：有効／無効	電話番号（契約者電話番号）：有効 追加電話番号1～4：無効
着信番号	アナログ端末へ着信させる電話番号を設定します。電話番号1～5より最大5つまで設定できます。 設定範囲：有効／無効	電話番号（契約者電話番号）：有効 追加電話番号1～4：有効
指定着信機能	指定着信機能を設定します。 設定範囲：有効／無効	無効
指定着信番号	指定着信番号を設定します。 設定範囲：なし、半角数字1～19桁 【注意】指定着信番号が未設定の場合、指定着信機能は動作しません。	なし
指定なし着信	指定なし着信を設定します。 設定範囲：有効／無効	無効

項目	内容	初期値
着信音選択	ひかり電話の着信音を設定します。 設定範囲：着信音1（IR）／着信音2（SIR）	着信音1（IR）
その他の設定		
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ機能の使用有無を設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続する場合は「使用する」に設定してください。 設定範囲：使用する／使用しない	使用する
モデムダイヤルイン	モデムダイヤルイン機能の使用有無を設定します。 設定範囲：使用する／使用しない	使用しない
割込音通知	複数チャネルサービス「ダブルチャネル」契約時の割込音通知の有無を設定します。 設定範囲：使用する／使用しない 【注意】お話し中にかかってきた電話に出る必要がない場合は「使用しない」に設定してください。 【注意】キャッチホン契約をされている場合は、この設定にかかわらず割込音通知されます。	使用する
ダイヤル桁間タイマ	アナログ端末で番号を入力するときに、次の番号入力を待つ時間を指定します。 設定範囲：4／5／6／7／8（秒）	4（秒）

電話設定：IP端末設定

IP端末1　ヘルプ?

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号
	有効	有効
	無効	有効
	無効	有効
	無効	有効
	無効	有効

内線番号設定

以下の項目はお客様ご自身で内線番号の設定を行う場合を除き、設定を変更しないで下さい。

内線番号	3
端末属性	-
ユーザ名	0003
パスワード	●●●●●●●●●
パスワード確認	●●●●●●●●●
内線番号設定の削除	削除

確認　送信

項目	内容	初期値
電話番号設定		
電話番号	ひかり電話の電話番号を表示します。	
通知番号	IP端末からひかり電話へ発信するときに、相手に通知する電話番号を設定します。 設定範囲：有効／無効	電話番号（契約者電話番号）：有効 追加電話番号1～4：無効
着信番号	IP端末へ着信させる電話番号を設定します。電話番号1～5より最大5つまで設定できます。 設定範囲：有効／無効	電話番号（契約者電話番号）：有効 追加電話番号1～4：有効
内線番号設定 【注意】ユーザ名とパスワードは両方空に設定できますが、片方のみ空には設定できません。		
内線番号	IP端末の内線番号を設定します。 設定範囲：1～9、10～99（半角数字1～2桁）	IP端末1～5：3～7
端末属性	IP端末の端末属性を設定します。 設定範囲：-／IP端末（音声）／IP端末（映像）	―
ユーザ名	IP端末のユーザ名を設定します。 設定範囲：半角英数字0文字以上32文字以内	IP端末1～5：0003～0007
パスワード／確認	IP端末のパスワードを設定します。「パスワード確認」にはパスワードと同じものを設定してください。 設定範囲：半角英数字0文字以上32文字以内	IP端末1～5：LAN側MACアドレスの下6桁+03～07
内線番号設定の削除	表示しているIP端末に対するすべての設定（通知番号・着信番号・内線番号・端末属性・ユーザ名・パスワード）を初期値に戻します。	なし

状態表示：装置状態表示

項目	内容	初期値
バージョン		
ファームウェアバージョン	■現在のバージョン 　現在のファームウェアバージョンです。 ■最新のバージョン 　アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。	なし
アップデート状態	ファームウェアの更新に関する状態です。	なし
ファームウェア手動アップデート		
ファームウェア更新	■更新確認 　ファームウェアの更新状態を確認します。 　ファームウェアの更新確認結果を、“アップデート状態”へ表示します。 　ファームウェアの更新がある場合､｢ダウンロード実行｣をクリックしてファームウェアの更新を行ってください。 【注意】ひかり電話が使用できない場合は更新確認できません。 ■ダウンロード実行 　ファームウェアのダウンロードを実行し、自動的にファームウェアの更新を行います。	なし

項目	内容	初期値
動作状態		
WANポート状態	WAN側インタフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 1 ポート状態	LAN 1 側インタフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 2 ポート状態	LAN 2 側インタフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 3 ポート状態	LAN 3 側インタフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 4 ポート状態	LAN 4 側インタフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
DSP状態	DSPの状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
SLIC(1)／(2) 状態	TEL制御部の状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
ひかり電話状態	ひかり電話のサービス状況を表示します。 ※内線電話は含まれません。 範囲：利用可 / 利用不可	なし
運用設定値		
WAN側MACアドレス	本商品のWAN側MACアドレスを表示します。	なし
LAN側MACアドレス	本商品のLAN側MACアドレスを表示します。	なし
WAN側取得IPアドレス/マスク長	本商品のWAN側取得（メインセッション)IPアドレスおよびサブネットマスク長を表示します。	なし
WAN側取得デフォルトゲートウェイ	本商品のWAN側が取得しているデフォルトゲートウェイを表示します。	なし

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

項目	内容	初期値
PPPoE状態		
有効／無効	PPPoEセッションの設定を行います。 実行する接続先の「有効」または「無効」をクリックします。 結果を実行結果画面に表示します。	なし
状態	各接続先の状態を表示します。 範囲：正常／異常／未使用／認証エラー／重複	なし
取得IPアドレス／マスク長	本商品のPPPoEが取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。	なし
プライマリDNS セカンダリDNS	本商品のPPPoEが取得しているプライマリDNSおよびセカンダリDNSのIPアドレスを表示します。	なし
遠隔保守		
遠隔保守	本商品の設定を遠隔から行うことを許可する場合、「許可する」に設定します。 「実行」をクリックすることで、即時有効となります。 再起動後、本設定は初期値に戻ります。 範囲：許可しない／許可する 【注意】必要がない場合は変更しないでください。	許可しない

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

状態表示：内線端末状態表示

内線端末状態表示　ヘルプ？

アナログ端末状態

アナログ端末TEL1

アナログ端末TEL1の状態	利用不可	
内線番号 /着信音	1	/着信音2(SIR)
通知番号		
着信番号1 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号2 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号3 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号4 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号5 /着信音		/着信音1(IR)
ナンバー・ディスプレイ	使用する	
モデムダイヤルイン	使用しない	
割込音通知	使用する	
ダイヤル桁間タイマ	4 秒	

アナログ端末TEL2

アナログ端末TEL2の状態	利用不可	
内線番号 /着信音	2	/着信音2(SIR)
通知番号		
着信番号1 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号2 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号3 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号4 /着信音		/着信音1(IR)
着信番号5 /着信音		/着信音1(IR)
ナンバー・ディスプレイ	使用する	
モデムダイヤルイン	使用しない	
割込音通知	使用する	
ダイヤル桁間タイマ	4 秒	

アナログ端末状態

項目	内容	初期値
アナログ端末TEL1、TEL2		
アナログ端末の状態	アナログ端末の状態を表示します。 範囲：利用可／利用不可／利用停止	なし
内線番号／着信音	アナログ端末の内線番号とその着信音を表示します。 範囲（内線番号）：半角数字(1～2桁) 範囲（着信音）　：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
通知番号	アナログ端末の通知番号を表示します。	なし
着信番号1／着信音	アナログ端末の着信番号1とその着信音を表示します。 範囲（着信音）：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
着信番号2／着信音	アナログ端末の着信番号2とその着信音を表示します。 範囲（着信音）：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
着信番号3／着信音	アナログ端末の着信番号3とその着信音を表示します。 範囲（着信音）：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
着信番号4／着信音	アナログ端末の着信番号4とその着信音を表示します。 範囲（着信音）：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
着信番号5／着信音	アナログ端末の着信番号5とその着信音を表示します。 範囲（着信音）：着信音1(IR)／着信音2(SIR)	なし
ナンバー・ディスプレイ	アナログ端末のナンバー・ディスプレイ機能の設定状態を表示します。 範囲：使用する／使用しない	なし
モデムダイヤルイン	アナログ端末のモデムダイヤルイン機能の設定状態を表示します。 範囲：使用する／使用しない	なし
割込音通知	複数チャネルサービス「ダブルチャネル」契約時の割込音通知の設定状態を表示します。 範囲：使用する／使用しない	なし
ダイヤル桁間タイマ	アナログ端末のダイヤル桁間タイマの設定状態を表示します。 範囲：4／5／6／7／8(秒)	なし

IP端末状態

IP端末1

IP端末1の状態	利用可
内線番号	3
通知番号	
着信番号1	
着信番号2	
着信番号3	
着信番号4	
着信番号5	
端末属性	音声
ユーザ名	0003
IPアドレス	
IP端末ID	

IP端末2

IP端末2の状態	利用可
内線番号	4
通知番号	
着信番号1	
着信番号2	
着信番号3	
着信番号4	
着信番号5	
端末属性	音声
ユーザ名	0004
IPアドレス	
IP端末ID	

IP端末3

IP端末3の状態	利用可
内線番号	5
通知番号	
着信番号1	
着信番号2	
着信番号3	
着信番号4	
着信番号5	
端末属性	音声
ユーザ名	0005
IPアドレス	
IP端末ID	

IP端末4

IP端末4の状態	利用可
内線番号	6
通知番号	
着信番号1	
着信番号2	
着信番号3	
着信番号4	
着信番号5	
端末属性	音声
ユーザ名	0006
IPアドレス	
IP端末ID	

IP端末5

IP端末5の状態	利用可
内線番号	7
通知番号	
着信番号1	
着信番号2	
着信番号3	
着信番号4	
着信番号5	
端末属性	音声
ユーザ名	0007
IPアドレス	
IP端末ID	

IP 端末状態

項目	内容	初期値
IP端末1-5		
IP端末の状態	IP端末の状態を表示します。 範囲：利用可／利用不可／利用停止	なし
内線番号	IP端末の内線番号を表示します。 範囲（内線番号）：半角数字（1～2桁）	なし
通知番号	IP端末の通知番号を表示します。	なし
着信番号1	IP端末の着信番号1を表示します。	なし
着信番号2	IP端末の着信番号2を表示します。	なし
着信番号3	IP端末の着信番号3を表示します。	なし
着信番号4	IP端末の着信番号4を表示します。	なし
着信番号5	IP端末の着信番号5を表示します。	なし
端末属性	IP端末の端末属性を表示します。 範囲：音声／ 映像	なし
ユーザ名	IP端末のユーザ名を表示します。	なし
IPアドレス	IP端末のIPアドレスを表示します。	なし
IP端末ID	IP端末の端末IDを表示します。	なし

ログ表示：障害ログ表示

ログ表示

ヘルプ？

障害ログ

```
ELOG.LOG : There are 001 entries.

  1. 01(Report) 00(SYSTEM)  03(COMREBOOT)   SEQ=00  Thu Jan  1 09:02:30 2006
                46757052  65626F6F  74000000  00000000    FupReboot.......
```

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>障害ログ</td><td>障害ログは以下の項目を表示します。（最大100件）
ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。
【注意】初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。
<table><tr><td>表示番号</td><td>ログ種別</td><td>装置番号（略名）</td><td>詳細番号（略名）</td><td>回線番号</td><td>日時</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">詳細メッセージ</td></tr></table>【注意】お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。</td></tr>
</table>

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ログ表示：通話ログ表示

ログ表示

ヘルプ？

通話ログ

```
CALL.LOG : There are 001 entries.

  1. Thu Jan 16 09:18:34  2006   Thu Jan 16 09:18:50  2006   Thu Jan 16 09:24:13  2006
       0312345678                                           192.168.1.21     AUDIO  ORG 10
       0387654321                                           111.222.111.222 NW 016  000 E1
```

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>通話ログ</td><td>通話ログは以下の項目を表示します。（最大100件）
ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。
【注意】初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。
<table>
<tr><td>表示番号</td><td>発着信日時</td><td>通話開始日時</td><td colspan="5">通話切断日時</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">装置内電話番号（※1）</td><td>IP端末IPアドレス(※2)</td><td colspan="2">メディア種別（※3）</td><td>発着信種別(※4)</td><td>内線番号（※5）</td></tr>
<tr><td colspan="2">相手先電話番号（※6）</td><td>相手先IPアドレス(※7)</td><td>切断源(※8)</td><td>切断理由</td><td>切断理由（SIP)</td><td>チャネル番号（※9）</td></tr>
</table>
【※1】 装置内電話番号
外線発信時は、発信した電話機（端末）に設定されている通知番号を表示します。
外線着信時は、着信番号を表示します。
内線通話時は、発信した電話機（端末）の内線番号を表示します。
【※2】 IP端末IPアドレス
外線および内線発信時は、発信したIP端末のIPアドレスを表示します。
外線着信時は、応答したIP端末のIPアドレスを表示します。
ただし、アナログ端末による発信および応答や応答端末が未決定の場合は、0.0.0.0を表示します。
【※3】 メディア種別：AUDIO(音声通信)/VIDEO(映像通信)/UK(不明)
【※4】 発着信種別：ORG(外線発信)/TRM(外線着信)/EXT(内線通話)/TRS(内線転送)
【※5】 内線番号
外線発信時と内線通話時は、発信した電話機（端末）の内線番号を表示します。
外線着信時は、応答した電話機（端末）の内線番号を表示します。
電話機（端末）が未決定の場合は「-」を表示します。
【※6】 相手先電話番号
外線発信時は、ダイヤルした相手先の電話番号を表示します。
外線着信時は、ナンバー・ディスプレイをご契約いただき、相手先電話番号が通知ありの場合は通知された電話番号を表示します。
ナンバー・ディスプレイ未契約の場合および相手先電話番号が非通知の場合は「-」を表示します。
内線通話時は、着信した電話機（端末）の内線番号を表示します。
【※7】 相手先IPアドレス
外線発着信時は、相手先電話機（端末）のIPアドレスを表示します。
ただし、相手先電話機（端末）がIPアドレスを取得できない場合は、0.0.0.0を表示します。
内線通話時は、着信したIP端末のIPアドレスを表示します。
ただし、着信先がアナログ端末やIPアドレスを取得できない場合は、0.0.0.0を表示します。
【※8】 切断源：GW(外線通話の本商品からの切断) / NW(外線通話の相手切断) / EX(内線通話の切断)
【※9】 チャネル番号：A1/A2(アナログ端末)、E1/E2/E3/E4/E5(IP端末)
【注意】お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。</td></tr>
</table>

ログ表示：通信ログ表示

ログ表示

ヘルプ？

通信ログ

```
ACCESS.LOG : There are 001 entries.

  1. 2006/05/23 09:00:53 VUP-NOTI OK 200/0000  0
     0080878D6639 RT-200KI                 00.00.0000
```

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>通信ログ</td><td>通信ログは以下の項目を表示します。（最大100件）
ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。
【注意】初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。
<table>
<tr><td>表示番号</td><td>通信日時</td><td>通信サーバ種別(※ 1)</td><td>通信結果（※ 2)</td><td>結果コード</td><td>処理結果</td><td>リトライ回数（※ 3)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">詳細メッセージ</td></tr>
</table>
【※1】通信サーバ種別
AUTOSET（自動設定サーバ）／VUP-NOTI（バージョンアップ通知サーバ）／VUP-DOWN（バージョンアップサーバ）
【※2】通信結果
OK(通信成功）／NG(通信失敗)
【※3】リトライ回数
通信を試みた回数を表示します。
【注意】お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。</td></tr>
</table>

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

ログ表示：ファームウェア更新ログ表示

ログ表示 ヘルプ?

ファームウェア更新ログ

FUP.LOG : There are 001 entries.

1. 2006/02/27 09:02:30 01.01.0000 -> 01.02.0000 OK 000 LOCAL

項目	内容
ファームウェア更新ログ	ファームウェア更新ログは以下の項目を表示します。（最大20件） ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。 【注意】初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。 表示番号 / 更新日時 / 更新前バージョン(※ 1) / 更新後バージョン(※ 2) / 実行結果 （※ 3） / 結果コード / 更新種別(※ 4) 【※1】更新前バージョン バージョンアップする前のファームウェアバージョンを表示します。 【※2】更新後バージョン バージョンアップしたファームウェアバージョンを表示します。 【※3】実行結果 OK(更新成功) ／NG(更新失敗) 【※4】更新種別 INITIAL(初期バージョンアップ) ／LOCAL(ローカルバージョンアップ) ／MANUAL(手動バージョンアップ) ／SCHEDULE (定時バージョンアップ) ／AUTO (即時バージョンアップ) ／TEL (電話機からの操作によるバージョンアップ) ／EMERGENCY(緊急バージョンアップ) 【注意】お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

保守：パスワード設定

パスワード設定
ヘルプ?

Web設定 ログインパスワード設定

現在のパスワード	
新しいパスワード	
新しいパスワード確認	

確認　送信

項目	内容	初期値
Web設定 ログインパスワード設定		
パスワード	Web設定へのパスワードを設定します。 ■現在のパスワード 現在使用しているパスワードを半角英数字で設定してください。 ■新しいパスワード／確認 新しいパスワードを半角英数字で設定してください。「新しいパスワード確認」にも同じパスワードを設定してください。 設定範囲：1～10文字以内 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く）	なし

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

保守：Ping送信

Ping送信

ヘルプ?

Ping 送信を実行します

送信先 IPアドレス

実行

結果

通信に成功しました。

詳細結果

```
PING 192.168.1.1 (192.168.1.1): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.3 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.3 ms

--- 192.168.1.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.3/0.3/0.4 ms
```

項目	内容
Ping送信	
Ping送信	Pingを送信し正常に接続できることを確認します。 WAN／LANどちらの側の装置にも送信することができます。 ■ステップ 1 送信先IPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ■ステップ 2 「実行」をクリックするとPing送信され、送信先端末との通信結果が表示されます。 (Pingの送信回数は3回です。) 【注意】PPPoE設定の接続モードが要求時接続に設定されているときは、Ping送信に失敗する場合があります。そのような場合は、PPPoE状態にて接続されていることを確認し、再度実行することで成功する場合があります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

保守：設定値保存／復元

設定値保存/復元

ヘルプ?

設定値の保存/復元

実行アクション	◉保存 ○復元

復元情報の設定

復元ファイル	参照...

実行

項目	内容
設定値保存／復元	
設定値の保存	本商品の設定データをファイルに保存します。 ■ステップ1 設定値の保存／復元の「実行アクション」を「保存」に設定します。 ■ステップ2 「実行」をクリックします。 ■ステップ3 設定データをファイルに保存します。保存するファイル名は任意に変更可能です。
設定値の復元	ファイルに保存した設定データを本商品へ復元します。 ■ステップ1 設定値の保存／復元の「実行アクション」を「復元」に設定します。 ■ステップ2 復元情報の設定の「復元ファイル」で、「参照」をクリックして、保存した設定データのファイルを設定します。 ■ステップ3 「実行」をクリックします。 ■ステップ4 本商品を再起動します。 【注意】設定データファイル保存よりも古いファームウェアが適用された本商品へは復元できません。

保守：ファームウェア更新

ファームウェア更新　ヘルプ?

ステップ1：ファームウェア更新ファイルを入力して、「送信」をクリックしてください。

ファームウェア更新ファイル　参照...

送信中は絶対に電源を切らないでください。
送信

ファームウェア更新　ヘルプ?

ステップ2：ファームウェア更新を実行し、再起動を行います。

実行中は絶対に電源を切らないでください。
実行

秒後にトップ画面へ戻ります

システム更新中

自動的にトップ画面へ戻ります。

ファームウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。

◆ご注意１◆
ファームウェア更新中に電源を切ると、起動できなくなる場合があります。

◆ご注意２◆
ファームウェア更新中、本商品のランプは図のようになります。
※アラームランプが赤点滅しますが、異常ではありません。

◆ご注意３◆
ファームウェア更新中はひかり電話サービスをご使用できません。

項目	内容
ファームウェア更新	
ファームウェア更新	■ステップ１ 「参照」をクリックして、更新対象ファームウェアを選択してください。 「送信」をクリックしてください。 ■ステップ２ ファームウェア更新画面が表示されるので、「実行」をクリックしてください。 ■ステップ３ ファームウェアを更新しています。 更新中は、絶対に電源を切らないでください。 ■ステップ４ ファームウェア更新終了後、自動的に「かんたん設定」画面に戻ります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

保守：ファームウェア更新設定

ファームウェア更新設定　ヘルプ?

バージョン

	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン		
アップデート状態	新しい更新はありません。	

ファームウェア手動アップデート

ファームウェア更新	更新確認　ダウンロード実行

アップデート設定

ファームウェア更新種別	即時更新　定時更新　手動更新
定時更新時間	

確認　送信

項目	内容	初期値
バージョン		
ファームウェアバージョン	■現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンです。 ■最新のバージョン アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。	なし
アップデート状態	ファームウェアの更新に関する状態です。	なし
ファームウェア手動アップデート		
ファームウェア更新	■更新確認 ファームウェアの更新状態を確認します。 ファームウェアの更新確認結果を、“アップデート状態”へ表示します。 ファームウェアの更新がある場合､「ダウンロード実行」をクリックしてファームウェアの更新を行ってください。 【注意】ひかり電話が使用できない場合は更新確認できません。 ■ダウンロード実行 ファームウェアのダウンロードを実行し、自動的にファームウェアの更新を行います。	なし
アップデート設定		
ファームウェア更新種別	ファームウェア更新の方法を設定します。 「即時更新」：　新しいファームウェアが確認されたら（ただし､「ファームウェア更新設定」､「装置状態表示」画面からの更新確認の場合は除く）、すぐにバージョンアップします。 「定時更新」：　新しいファームウェアが確認されたら､定時更新時間の設定にあわせてバージョンアップします。 「手動更新」：　「ファームウェア更新設定」､「装置状態表示」画面から「ダウンロード実行」をクリック、または電話機からの操作でのみバージョンアップします。 範囲　：　即時更新／定時更新／手動更新	手動更新
定時更新時間	1日ごとの定期的なバージョンアップの時間を設定します。 設定した時間+60分未満（ランダム）でバージョンアップします。 ※新しいファームウェアがない場合は何もしません。 範囲　：　00:00～23:00 【注意】「ファームウェア更新種別」で「定時更新」を選択した場合のみ設定できます。	なし

再起動

再起動　ヘルプ?

本商品の再起動を実行します

■ 設定したデータを本商品へ反映させます
反映

■ 本商品の再起動を行います
再起動

■ 本商品を初期設定へ戻します
初期設定へ戻す

項目	内容
再起動	本商品の再起動を行います。 ■反映 　設定したデータを本商品へ保存し、本商品の再起動を行います。 ■再起動 　本商品の再起動のみ行います。 【注意】各設定画面で「送信」をクリックし､メニュー画面で「反映」をクリックする前のデータは保存されません。 ■初期設定へ戻す 　本商品の設定を初期設定へ戻し、再起動を行います。

第3章　付録

■ 設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
プロバイダの認証パスワードは、お客様の個人情報となります。
記入された場合は、本設定記入シートのお取り扱いにご注意ください。

初期設定	設定項目	項目名	設定データ
	Web 設定ログイン パスワード設定	新しいパスワード	

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
かんたん設定		インターネットサービスプロバイダ設定	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
ルータ設定	ネットワーク設定	LAN 側ネットワーク設定	LAN 側 IP アドレス / マスク長	／
		PPPoE ブリッジ設定	PPPoE ブリッジ設定	無効／有効
		IPv6 ブリッジ設定	IPv6 ブリッジ設定	無効／有効／有線 LAN のみ有効
		NTP サーバ設定	NTP サーバ設定	
		ポート設定	WAN ポート設定	自動認識 /100M 全二重 /100M 半二重 /10M 全二重 /10M 半二重
			LAN1 ポート設定	自動認識 /100M 全二重 /100M 半二重 /10M 全二重 /10M 半二重
			LAN2 ポート設定	自動認識 /100M 全二重 /100M 半二重 /10M 全二重 /10M 半二重
			LAN3 ポート設定	自動認識 /100M 全二重 /100M 半二重 /10M 全二重 /10M 半二重
			LAN4 ポート設定	自動認識 /100M 全二重 /100M 半二重 /10M 全二重 /10M 半二重
		LAN 側 MDI/MDI-X モード設定	MDI/MDI-X 設定	MDI-X 固定 /MDI 固定 / 自動設定

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	PPPoE 設定	セッション設定	メインセッション	接続先 1 ／接続先 2 ／接続先 3 ／接続先 4 ／接続先 5
			使用するセッション	接続先 1 ／接続先 2 ／接続先 3 ／接続先 4 ／接続先 5
		接続先 1	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし /PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間：　　（秒）
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない／指定する（unnumbered 接続）
			IP アドレス／マスク長	／
		接続先 2	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし /PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間：　　（秒）
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない／指定する（unnumbered 接続）
			IP アドレス／マスク長	／
		接続先 3	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし /PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間：　　（秒）
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない／指定する（unnumbered 接続）
			IP アドレス／マスク長	／

メイン メニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	PPPoE 設定	接続先 4	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし /PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間：　　(秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない／指定する（unnumbered 接続）
			IP アドレス／マスク長	／
		接続先 5	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし /PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間：　　(秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない／指定する（unnumbered 接続）
			IP アドレス／マスク長	／
	DHCP 設定	LAN 側ネットワーク設定	LAN 側 IP アドレス／マスク長	／
		DHCP サーバ設定	DHCP サーバ機能	有効 / 無効
			割り当て開始 IP アドレス	
			割り当て終了 IP アドレス	
			DNS サーバアドレス	
		固定 IP アドレスで使用する端末の情報設定	IP アドレス	(☛P3-13 参照)
			MAC アドレス	

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときには この設定にする
2 本商品の 設定画面
3 付録

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	NAPT 設定	ー	動的 NAPT 機能	有効 / 無効
		ー	簡易 DMZ IP アドレス	
		UPnP 設定	UPnP 機能	無効／接続先 1 有効／接続先 2 有効／接続先 3 有効／接続先 4 有効／接続先 5 有効
		静的 NAPT 設定（ポート転送規則）	割り当て WAN 側受信ポート範囲	（☛P3-14 参照）
			プロトコル種別	
			LAN 側 転送 IP アドレス	
			LAN 側 転送ポート	
	IP フィルタ設定	ー	デフォルトの規則	許可 / 破棄
		パケットフィルタ規則	方針	許可 / 破棄
			プロトコル種別	（☛P3-15 ～ P3-22 参照）
			入力インタフェース	
			出力インタフェース	
			送信元 IP アドレス／マスク長	
			送信先 IP アドレス／マスク長	
			送信先ポート	
	ルーティングテーブル設定	送信元アドレスルーティング設定	送信元アドレス	（☛P3-23 参照）
		ドメイン名ルーティング	ドメイン名	（☛P3-24 参照）
		宛先ネットワークアドレスルーティング設定（接続先指定）	宛先ネットワークアドレス／マスク長	（☛P3-25 参照）
		宛先ネットワークアドレスルーティング設定（ゲートウェイ IP アドレス指定）	宛先ネットワークアドレス／マスク長	（☛P3-26 参照）
			ゲートウェイ IP アドレス	

目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	VPN パススルー設定	PPTP パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効／無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	全て／指定 指定：
		IPsec パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効／無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	全て／指定 指定：
		L2TP パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効／無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	全て／指定 指定：
	Windows 共有フィルタ／ステルス設定	ー	Windows 共有フィルタ	有効／無効
		ステルスモード設定	TCP ステルスモード	有効／無効
			UDP ステルスモード	有効／無効
			ICMP ステルスモード（PPPoE）	有効／無効
			ICMP ステルスモード（ひかり電話）	有効／無効
	無線 LAN 設定基本設定	ー	無線動作モード	11b+g／11g／11a
			Super AG	無効／有効（圧縮あり）／有効（圧縮なし）
			無線ネットワーク名（SSID）	
			無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）	有効／無効
			送信パワー設定	100／50／25（%）
			ビーコン送出間隔	
			DTIM	
		無線チャネル	11b+g／11g	1（チャネル）／2（チャネル）／3（チャネル）／4（チャネル）／5（チャネル）／6（チャネル）／7（チャネル）／8（チャネル）／9（チャネル）／10（チャネル）／11（チャネル）／12（チャネル）／13（チャネル）
			11a	36（チャネル）／40（チャネル）／44（チャネル）／48（チャネル）

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	無線 LAN 設定基本設定	速度設定	11b+g	auto
			11g	auto ／ 54(Mbps)／ 48(Mbps)／ 36(Mbps)／ 24 (Mbps) ／ 18 (Mbps) ／ 12 (Mbps)／ 9 (Mbps) ／ 6 (Mbps)
			11a	auto ／ 54(Mbps)／ 48(Mbps)／ 36(Mbps)／ 24 (Mbps) ／ 18 (Mbps) ／ 12 (Mbps)／ 9 (Mbps) ／ 6 (Mbps)
			マルチキャストパケット伝送速度	auto ／ 54(Mbps)／ 48(Mbps)／ 36(Mbps)／ 24 (Mbps) ／ 18 (Mbps) ／ 12 (Mbps)／ 11 (Mbps) ／ 9 (Mbps) ／ 6 (Mbps)／ 5.5 (Mbps) ／ 2 (Mbps) ／ 1 (Mbps)
		無線 QoS	WMM/EDCA 優先制御	有効 / 無効
	無線 LAN 設定暗号化設定	ー	暗号方式	OFF ／ WEP ／ TKIP ／ AES
		WEP	暗号化ビット長	64 ／ 128 ／ 152
			入力方法	英数字／ 16 進 (HEX) 入力
			使用する WEP キー (キーインデックス)	1 ／ 2 ／ 3 ／ 4
			WEP キー 1	
			WEP キー 2	
			WEP キー 3	
			WEP キー 4	
		TKIP ／ AES	事前共有キー	
			キー更新間隔	分
	無線 LAN 設定 MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスフィルタリング	有効／無効
			デフォルトポリシー	拒否／許可
		フィルタリングする MAC アドレスの情報設定	MAC アドレス	(☛P3-27 ～ P3-28 参照)
			ポリシー	

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	サービス設定	電話サービス	音質優先モード		無／優先／最優先
			優先着信ポート		無効／アナログ端末（TEL1）／アナログ端末（TEL2）
	内線番号一覧	（☛P3-28）を参照			
	アナログ端末（TEL1）	内線番号設定	内線番号		
			着信音選択		着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
		電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効 / 無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効 / 無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効 / 無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効 / 無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
			電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効 / 無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効 / 無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	アナログ端末（TEL1）	電話番号設定	電話番号４		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効 / 無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効 / 無効
				着信音選択	着信音１（IR）／着信音２（SIR）
			電話番号５		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効 / 無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効 / 無効
				着信音選択	着信音１（IR）／着信音２（SIR）
		その他の設定	ナンバー・ディスプレイ		使用する / 使用しない
			モデムダイヤルイン		使用する / 使用しない
			割込音通知		使用する / 使用しない
			ダイヤル桁間タイマ		４／５／６／７／８（秒）
	アナログ端末（TEL2）	内線番号設定	内線番号		
			着信音選択		着信音１（IR）／着信音２（SIR）
		電話番号設定	電話番号１		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効／無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効／無効
				着信音選択	着信音１（IR）／着信音２（SIR）
			電話番号２		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効／無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効／無効
				着信音選択	着信音１（IR）／着信音２（SIR）

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	アナログ端末（TEL2）	電話番号設定	電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効／無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効／無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効／無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効／無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
			電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
				指定着信機能	有効／無効
				指定着信番号	
				指定なし着信	有効／無効
				着信音選択	着信音 1（IR）／着信音 2（SIR）
		その他の設定	ナンバー・ディスプレイ		使用する / 使用しない
			モデムダイヤルイン		使用する / 使用しない
			割込音通知		使用する / 使用しない
			ダイヤル桁間タイマ		4／5／6／7／8（秒）
	IP 端末 1	電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	IP 端末 1	電話番号設定	電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
		内線番号設定	内線番号		
			端末属性		-/IP 端末（音声）/IP 端末（映像）
			ユーザ名		
			パスワード		
	IP 端末 2	電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
		内線番号設定	内線番号		
			端末属性		-/IP 端末（音声）/IP 端末（映像）
			ユーザ名		
			パスワード		

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	IP 端末３	電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
		内線番号設定	内線番号		
			端末属性		-/IP 端末（音声）/IP 端末（映像）
			ユーザ名		
			パスワード		
	IP 端末４	電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名		設定データ
電話設定	IP 端末 4	電話番号設定	電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
		内線番号設定	内線番号		
			端末属性		-/IP 端末（音声）/IP 端末（映像）
			ユーザ名		
			パスワード		
	IP 端末 5	電話番号設定	電話番号 1		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 2		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 3		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 4		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
			電話番号 5		
				通知番号	有効 / 無効
				着信番号	有効 / 無効
		内線番号設定	内線番号		
			端末属性		-/IP 端末（音声）/IP 端末（映像）
			ユーザ名		
			パスワード		
保守	ファームウェア更新設定	アップデート設定	ファームウェア更新種別		即時更新 / 定時更新 / 手動更新
			定時更新時間		

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

1．固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

登録番号	IP アドレス	MAC アドレス	記事
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

2．静的NAPT設定（ポート転送規則）

登録番号	割り当て WAN 側受信 ポート範囲	プロトコル種別	LAN 側転送 IP アドレス	LAN 側転送 ポート	記事
1	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
2	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
3	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
4	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
5	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
6	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
7	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
8	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
9	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
10	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
11	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
12	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
13	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
14	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
15	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	
16	ポート番号指定　～ ／サービス名指定	TCP／UDP		ポート番号指定　～ ／サービス名指定	

3. パケットフィルタ規則

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート	記事
1	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
2	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
3	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
4	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
5	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
6	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
7	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
8	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	
9	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/WAN/LAN/接続先1/接続先2/接続先3/接続先4/接続先5	全て/指定/(　/　)	全て/指定/(　/　)	全て/ポート番号指定　～/サービス名指定	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
10	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
11	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
12	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
13	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
14	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
15	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
16	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
17	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
18	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
19	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
20	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
21	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
22	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
23	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
24	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
25	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
26	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	
27	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
28	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
29	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
30	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
31	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
32	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
33	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
34	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
35	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
36	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／（　／　）	全て／指定／（　／　）	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
37	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
38	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
39	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
40	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
41	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
42	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
43	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
44	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	
45	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～ ／サービス名指定	

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
46	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
47	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
48	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
49	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
50	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
51	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
52	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
53	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
54	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
55	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
56	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
57	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
58	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
59	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
60	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
61	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
62	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	
63	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(　／　)	全て／指定／(　／　)	全て／ポート番号指定　～／サービス名指定	

目次
用語集

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート	記事
64	許可／破棄	全て／TCP／UDP／ICMP	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／WAN／LAN／接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	全て／指定／(／)	全て／指定／(／)	全て／ポート番号指定 ～／サービス名指定	

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

4. 送信元アドレスルーティング設定

登録番号	送信元アドレス	接続先	記事
1		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
2		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
3		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
4		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
5		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
6		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
7		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
8		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
9		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
10		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
11		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
12		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
13		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
14		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
15		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
16		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	

5. ドメイン名ルーティング設定

登録番号	ドメイン名	接続先	記事
1		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
2		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
3		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
4		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
5		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
6		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
7		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
8		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
9		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
10		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
11		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
12		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
13		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
14		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
15		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
16		接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	

6. 宛先ネットワークアドレスルーティング設定（接続先指定）

登録番号	宛先ネットワークアドレス / マスク長	接続先	記事
1	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
2	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
3	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
4	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
5	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
6	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
7	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
8	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
9	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
10	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
11	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
12	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
13	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
14	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
15	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	
16	／	接続先１／接続先２／接続先３／接続先４／接続先５	

7．宛先ネットワークアドレスルーティング設定（ゲートウェイIPアドレス指定）

登録番号	宛先ネットワークアドレス / マスク長	ゲートウェイ IP アドレス	記事
1	／		
2	／		
3	／		
4	／		
5	／		
6	／		
7	／		
8	／		
9	／		
10	／		
11	／		
12	／		
13	／		
14	／		
15	／		
16	／		
17	／		
18	／		
19	／		
20	／		
21	／		
22	／		
23	／		
24	／		

8．フィルタリングするMACアドレスの情報設定

登録番号	MAC アドレス	ポリシー	記事
1		拒否／許可	
2		拒否／許可	
3		拒否／許可	
4		拒否／許可	
5		拒否／許可	
6		拒否／許可	
7		拒否／許可	
8		拒否／許可	
9		拒否／許可	
10		拒否／許可	
11		拒否／許可	
12		拒否／許可	
13		拒否／許可	
14		拒否／許可	
15		拒否／許可	
16		拒否／許可	
17		拒否／許可	
18		拒否／許可	
19		拒否／許可	
20		拒否／許可	
21		拒否／許可	
22		拒否／許可	
23		拒否／許可	
24		拒否／許可	
25		拒否／許可	
26		拒否／許可	
27		拒否／許可	
28		拒否／許可	
29		拒否／許可	
30		拒否／許可	

登録番号	MAC アドレス	ポリシー	記事
31		拒否／許可	
32		拒否／許可	

9．内線番号一覧

内線番号	収容端末設定	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
	有効 / 無効	アナログ端末（TEL1）	優先／非優先／ -	有効／ -	-
	有効 / 無効	アナログ端末（TEL2）	優先／非優先／ -	有効／ -	-
	有効 / 無効	IP 端末 1	-	-	登録済み / 未登録 /-
	有効 / 無効	IP 端末 2	-	-	登録済み / 未登録 /-
	有効 / 無効	IP 端末 3	-	-	登録済み / 未登録 /-
	有効 / 無効	IP 端末 4	-	-	登録済み / 未登録 /-
	有効 / 無効	IP 端末 5	-	-	登録済み / 未登録 /-

※内線番号はお客様が設定されていない場合は上から順に1～7に設定されています。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

用語集

【アルファベット順】

用語	説明
AES (Advanced Encryption Standard)	「TKIP」よりも強力な次世代の共通化鍵暗号化方式です。PSKを元に作成する暗号化キーを一定時間ごとに自動的に更新します。 コンピュータのパフォーマンスが向上するにしたがって、現在の標準暗号方式であるDESの信頼性が下がったため、新しい強固な方式としてNIST(米標準技術局）に採用されたのがAESです。「キー長は128/192/256bit」、「シンプルな構造」、「トリプルDESより強固で30～40年使える」などの条件を満たし、暗号や復号が高速である点が特徴です。
ANY接続	パソコンに取り付けた無線LANカードの設定で、接続先無線LANアクセスポイントのSSIDを空欄に設定した場合に、クライアント端末から電波が届く範囲にいる無線LANアクセスポイントの中で最も電波状態が良好な無線LANアクセスポイントに接続する方法のことです。
CHAP (Challenge Handshake Authentication Protocol)	PPPで接続のときにユーザを認証するために利用する認証用プロトコルです。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴があります。RFC1994で仕様が公開されています。
CTS (Clear To Send)	端末Aと無線LANアクセスポイントとの通信が開始したときに端末AからのRTS（Request to Send）を受信した無線LANアクセスポイントが端末Aに返す信号のことです。通信していないほかの端末はやり取りされたRTSとCTSのデュレーション時間を読み取り、その間は通信を行わないため端末Aが回線を占有することができます。
CTSプロテクション機能	IEEE802.11bとIEEE802.11g混在環境において、IEEE802.11gのクライアントがデータ送信を始める前にCTS信号を送信して、IEEE802.11bのクライアントにIEEE802.11gのクライアントがデータ送信を始めていることを通知することにより、データの衝突を防ぐ機能です。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスなどのIP設定値を、インターネットに接続するときにプロバイダのDHCPサーバから取得します。（このとき、本商品のWAN側ポートはDHCPクライアントとなります。）設定が非常に簡単ですが、接続するたびにWAN側IPアドレスが変化することになる方式です。
DHCP クライアント (DHCP Client)	DHCP サーバにより接続に必要なIPアドレス等をを割り当てられるシステムです。
DHCPサーバ (DHCP Server)	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステムです。
DNS (Domain Name System)	TCP/IPネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際のアドレスを関連付けるシステムです。
DNSサーバ (Domain Name System Server)	ネットワークのグループについた名前を問い合わせると、そのIPアドレスを教えてくれるサーバのことです。DNSサーバを使用することにより、WWWブラウザなどのアドレス入力欄でアドレスを文字で入力することができます。（IPアドレスの数値を直接入力する必要がなくなります。）

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

用語	説明
DNSリレー (Domain Name System Relay)	LAN側からPPPやDHCPなどから取得したDNSサーバアドレスへDNS問い合わせを中継し、名前解決を実施します。
DSP (Digital Signal Processor)	デジタル信号処理専用のマイクロプロセッサです。音声や画像などの処理に特化しています。
DTIM (Delivery Traffic Indication Message)	DTIMはビーコンに含まれる情報で、省電力モードのクライアントデバイスに、パケットがクライアント待ちであることを通知します。
EDCA (Enhanced Distributed Channel Access)	送信フレームを、アクセスカテゴリと呼ばれる4種類のカテゴリに分類して優先制御を行います。
FQDN (Fully Qualified Domain Name)	ホストやドメインを指定する場合にドメイン名部分の文字列を省略せずにすべて記述する表記方法です。
FTP (File Transfer Protocol)	ネットワーク上のクライアントとホストコンピュータとの間で、ファイルの転送を行うためのプロトコルです。
HTTP (Hyper-Text Transfer Protocol)	WWWサーバとブラウザの間でHTML（hypertext markup language）ファイルなどを転送するときに利用するプロトコルです。
ICMP (Internet Control Message Protocol)	TCP/IPプロトコルにおいて、その機能を補助するために用意された制御用のプロトコルであり、RFC792で定義されています。TCP/IPパケットの転送中において発生した各種のエラーの通知や、動作の確認などを行うために利用されます。
IEEE802.11	IEEE802.11は無線LAN通信に関する国際標準規格のひとつです。この規格を拡張したものとしてIEEE802.11a/802.11b/802.11gがあります。
IEEE802.11a	IEEE802.11を拡張した無線LAN通信に関する国際標準規格です。 最大速度54Mbpsによる通信が可能です。5.2GHz帯の電波を使用しますので、法令により屋外での使用は禁止されています。
IEEE802.11b	IEEE802.11を拡張した無線LAN通信に関する国際標準規格です。 最大速度11Mbpsによる通信が可能です。2.4GHz帯の電波を使用します。
IEEE802.11g	IEEE802.11bに、IEEE802.11aの高速化技術を取り入れたものです。 最大速度54Mbpsによる通信が可能です。2.4GHz帯の電波を使用します。
IP (Internet Protocol)	異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表します。IPアドレスにより相手先を判断します。
IPsec (Security Architecture for the Internet Protocol)	IPのパケットを暗号化し、インターネット上で通信するための規格です。VPNで最も広く使用されています。
IPアドレス (Internet Protocol Address)	ネットワーク上で機器を特定するためのアドレスです。例えば、192.168.1.1のようにピリオドを挟んだ4つの数字（0～255）で表します。
IP電話	インターネットなどのIPネットワーク上で音声データを転送するサービスです。

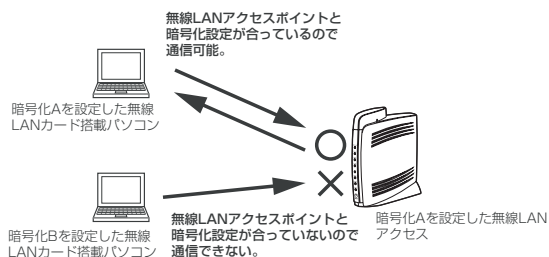
用語	説明
IPパケットフィルタリング (Internet Protocol Packet Filtering)	ネットワークを流れるデータ（IPパケット）を選別し、そのデータを通過させるか（許可）、させないか（拒否）を指定することで、外部から流れてくる不要なデータを遮断したり、逆に内部からデータ漏洩を防ぐ技術です。
L2TP (Layer 2 Tunneling Protocol)	VPNを構築するためのプロトコルです。OSI基本参照モデルのデータリンク層でトンネリングを実現します。
LAN (Local Area Network)	ローカル・エリア・ネットワークの略称です。小規模なコンピュータネットワークのことです。
MACアドレス (MAC Address)	LANに接続されている機器を識別するためのアドレスです。各機器に対して重複しない6バイトのアドレスが付与されています。
MACアドレスフィルタリング	すべてのネットワーク機器は固有の番号としてMACアドレスという6バイト(12桁)の番号を持っています。無線LAN通信においてはサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LANカードなどからの通信を防ぎます。
MDI/MDI-X (Medium Dependent Interface/ Medium Dependent Interface Crossover)	より対線(ツイストペアケーブル)を利用するEthernet機器のポートの種類です。ネットワークカードのポートのように端子の1・2番に送信、3～6番に受信が割り当てられているものをMDIといい、ハブやスイッチのように送受信の配置がその逆に割り当てられているものをMDI-Xといいます。MDIとMDI-Xの接続にはストレートケーブルを、MDI同士やMDI-X同士の接続にはクロスケーブルを用います。MDI/MDI-Xを「自動設定」にすると、相手のポートタイプを自動判別して接続します。
MSS (Maximum Segment Size)	最大セグメント・サイズです。TCPを使った交信では、最初のTCP接続確立時に、１パケットのTCP最大データ長を表します。MSS値=MTU値－40の数値で表します。
MTU (Maximum Transmission Unit)	ネットワークにおいて、１回で送信できる１パケットのデータの最大値を示す値で、RFC791で定義されています。本商品では1454としています。MTUの単位はバイトです。
NAPT (Network Address Port Translation)	LANで利用されるプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換する仕組みです。これにより、複数の機器が1つのグローバルアドレスを利用して接続ができるようになります。
NAT (Network Address Translation)	割り当てられたひとつのIPアドレスを複数のコンピュータで共有する技術のことです。
NetBIOS (Network Basic Input/ Output System)	ネットワーク環境を実現するトランスポート層やセッション層のネットワーク・サービスを呼び出すためのAPIインターフェイスです。RFC1001、RFC1002で仕様が公開されています。下位プロトコルに、TCP/IP（ポート137,138,139: Windows 2000/XPでは、さらにポート445）が使われます。 主としてLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）環境やイントラネット環境を想定したものであり、WAN接続やプロバイダ接続する場合などは離れた場所でも、ファイル共有、プリンタ共有が使えるなどの利点はありますが、「不必要な情報」が外部へ流出する可能性があります。本商品はNetBIOSによる情報の外部流出を防止することができます。また、ロケーション・サービス（TCP/UDPポート番号135）に対しても同様の処置がとられます。
NTP (Network Time Protocol)	ネットワークを介して時刻を調整するプロトコルです。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整します。
ONU (Optical Network Unit)	光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置です。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持ちます。

PAP (Password Authentication Protocol)	PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコルです。RFC1334で仕様が公開されています。
PING (Packet InterNet Groper)	TCP/IPネットワークにおいてパケットの送受信テストを行うコマンドです。ネットワーク機器が接続されているかどうかの確認に利用します。
PPP (Point-to-Point Protocol)	2地点間での通信に利用するWAN用のプロトコルです。主にダイヤルアップ接続などに利用されます。
PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet)	Ethernet上にPPPコネクションを構築し、PPPによる認証を経て通信が可能になる方式です。一般的に、接続のときにPPPoEユーザ名とパスワードが必要になります。フレッツ・ADSLやBフレッツはこの方式を採用しています。この方式は、プロバイダ側のPPPoEサーバとの1対1接続になるため、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイという概念はありません。一方、IPアドレスやDNSサーバアドレス（プライマリ/セカンダリ）に関しては、PPP（IPCP）ネゴシエーション中にプロバイダのサーバから自動取得する場合がほとんどですが、自動取得せずに常に同じIPアドレス、DNSサーバアドレスを利用するサービスもあります。RFC2516で仕様が公開されています。
PPTP (Point to Point Tunneling Protocol)	米インターネット上で暗号化された情報を送受信するときに使用されるプロトコルで、VPNを実現するために利用されています。PPPというプロトコルを拡張したものです。国際標準規格RFC2637で定義されています。
QoS (Quality of Service)	ネットワークで特定の通信のための通信帯域を予約して、通信速度の品質を保証する機能です。音声や映像の通信など遅延が許されないサービスを提供するためには重要となります。
SIP (Session Initiation Protocol)	ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つです。RFC3261で仕様が公開されています。
SIPサーバ (Session Initiation Protocol Server)	ひかり電話サービスネットワーク内に設置され、各装置のひかり電話サービスへの登録および、装置間の通話確立などを仲介するサーバです。プロキシサーバ、レジスタサーバから構成します。
SLIC (Subscriber Line Interface Circuit)	電気通信事業者の設備と加入者の間を結ぶ回線のことで、加入者回路、加入者線終端回路を意味します。
SSID (Service Set Identifier)	通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。本商品にSSIDを設定しておき、接続するパソコン等にも同じSSIDを設定しておけば、通信が可能になります。（本商品と、接続するパソコン等に同じSSIDを設定しないと無線LAN通信はできません。）接続するネットワークをSSIDで指定することができます。SSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合もありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、他のパソコンからのアクセスを防止するため、一定期間ごとに変更することを推奨します。また、SSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。
TCP (Transmission Control Protocol)	データの転送を制御するプロトコルです。送信先に接続してデータ送信をします。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できます。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	インターネットでの標準プロトコルです。TCP/UDPとIPというそれぞれのプロトコルを用いて通信を行います。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

用語	説明
TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)	従来の暗号化であるWEPの脆弱性を克服するために、キーを自動的に変更して暗号化を行うように改良された暗号化方式の1つです。 定期的に使用する暗号化キーを変更するために、キーの解析が困難となり、WEPより強固なセキュリティとなります。
UDP (User Datagram Protocol)	データの転送を制御するプロトコルです。TCPとは異なり受信側へ接続をせずに送信します。このため、高速に通信することが可能です。
Unnumbered (Unnumbered)	他のネットワークに接続するルータのWAN側ポートにIPアドレスを割り当てず、2台のルータを見かけ上1台のルータのように扱う接続方式です。Unnumberedで運用されているルータはLAN側にのみIPアドレスを持ちます。 Unnumbered接続を行う場合、2台のルータが繋がっているネットワークに他のコンピュータがいるとパケットの行き先が確定しなくなるため、ルータ同士が直結している必要があります。
UPnP (Universal Plug and Play)	特別な設定なしに機器をLANに接続し通信することができます。アプリケーションがアドレス変換を考慮して送受信パケットを作成するためNAPT機能などを実装していても通信が可能です。
URL (Uniform Resource Locator)	インターネット上の情報資源（文書や画像など）の場所を指し示す記述方式です。インターネット上に存在する情報のアドレスと、アクセス方法を特定します。
VDSLモデム (Very high-bit-rate Digital Subscriber Line)	コンピュータをVDSL回線に接続するときに必要になる信号変換機を表します。具体的には、加入電話回線を通じて送られてくるVDSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、VDSLモデムとコンピュータの間はEthernetLANで繋ぎます。
VPN (Virtual Private Network)	企業などでプライベートネットワーク専用の回線を設置する場合、工事や維持管理に膨大な費用を投入しなければなりませんが、情報を暗号化して電話回線やインターネット上で通信するシステムを構築すれば、費用を安く抑えることができます。VPNはこれを実現するためのネットワークシステムです。
VPNクライアント	VPNに接続している端末を指します。
WAN (Wide Area Network)	広域のネットワークを意味します。LANと対比して利用されることがあり、伝送距離に制限がないことが特徴です。
Webブラウザ (Web Browser)	Webページ（WWWシステムを使ってインターネット上で公開されている文書）を閲覧（ブラウズ）するためのソフトウェアです。代表的なものとしてInternet Explorerがあります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

用語	説明
WEP (Wired Equivalent Privacy)	無線LAN規格（IEEE802.11）にて規格されている暗号化方式の一つです。直訳は「有線LANと同等のプライバシー機能」となり、無線LANに対するセキュリティの有効な手段とされています。 WEPを設定することで、無線電波が第三者に傍受されても、暗号を解読しないとデータの中身を判読することができなくなり、また無線LANに侵入することもできません。WEP機能は、パソコン等および無線LANアクセスポイント側の両方に共通の「WEPキー（WEP暗号化キー）」を設定する必要があります。40bitのキーでは約1兆通りの暗号化が可能なため、暗号化キーを知らないパソコンは通信に参加できません。
WEPキー	WEPで使用する暗号化キーです。市販の無線LAN製品は64ビット、128ビットおよび152ビット長のWEPキーをサポートしています。各ビット長のうち、ユーザが設定できるWEPキー長は、それぞれ「40bit（5byte)」、「104bit（13byte)」、「128bit（16byte)」となります。残り24ビットはIV（Initialization Vector）といわれる自動的にパソコンや無線LANアクセスポイントにより付加されるデータとなります。このキーを元に受信データを暗号化します。設定されるWEPキーの長さが長いほど、暗号は強力なものとなります。
WMM (Wi-Fi MultiMedia)	QoSが必要とされる音や映像を扱う機器向けの認証プログラムのことです。
WPA (Wi-Fi Protected Access)	無線LANの業界団体であるWi-Fi Allianceが発表した無線LANの暗号化方式の規格です。従来の無線LANのもつ問題点としてあげられていた「ユーザ認証機構が存在しないこと」、「暗号化キー（WEPキー）が基本的に固定になっていること」などの弱点を補強すべく、これらのプロトコルの標準的な実装を定めています。 具体的には、従来のSSIDとWEPキーに加えて、ユーザ認証機能を備え、暗号化キーを一定時間ごとに自動的に更新する機能についてTKIP（TemporalKey Integrity Protocol）と呼ばれる暗号化方式を採用することにより、セキュリティ強度の向上などの改善が加えられています。WPAのユーザ認証機能で認証サーバを使用しない方式を「WPA-PSK」と呼びます。
WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared key)	WPAにおける認証方式の１つであり、認証サーバを使用しない方式を指します。事前共有キー（Pre-Shared Key）と呼ぶ共有キーを使用して認証を行います。AESやTKIPなどの暗号化方式で使用します。共有キー自体を指す場合もあります。
WPA-PSK情報	WPA-PSKの設定情報です。

【五十音順】

【あ行】

用語	説明
イーサネット(Ethernet)	現在、最も普及しているLANです。10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格があります。
インフラストラクチャ通信(Infrastructure Communication)	無線LANアクセスポイントを介して、無線LAN上で通信する形態を指します。

【か行】

用語	説明
回線終端装置(Digital Service Unit)	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置です。BフレッツではONU(Optical Network Unit)などを指します。
簡易DMZ(Simplicity De-Militarized Zone)	グローバル側へのアクセスを特定の端末へすべて転送します。NAPTを使用すると通信が行えないネットワークゲームなどに使用するときに用います。バーチャルコンピュータ(Virtual Computer)とも称します。
キーインデックス	WEP暗号化方式では、4つのWEPキーを切り替えることができます。 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の両方のキーインデックス(本商品ではWEPキー1～4の「1～4」に該当する部分)を同じに設定します。製品によってはキーインデックスの値が“0～3”のものと“1～4”のものがあり、設定に注意が必要です。
ゲートウェイ(Gateway)	プロトコルの異なるLAN同士やLANとWANとを接続する装置です。

【さ行】

用語	説明
サブネットマスク(Subnet Mask)	コンピュータ同士が同じネットワーク部であるかを判断するための値です。例えば、255.255.255.0のようにピリオドを挟んだ4つの数字(0～255)で表します。
事前共有キー	共有キー認証の「認証キー」、および暗号化機能の「暗号化キーまたはPSK」の両方に用いられるキーのことです。
自動設定	本商品は電源を入れたときにフレッツ網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができます。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するフレッツ網に設置されたサーバです。
16進	0から15までの16個の数字を、10個の数字と6個のアルファベットを用いて表した、数値の表現方法です。 16進数の「12AB」は、10進数では1×4096+2×256+10×16+11×1の4779に対応します。
ステルスモード(Stealth Mode)	WAN側からの不正アクセスを防止します。 本商品はTCPパケット/UDPパケット/ICMPパケットのそれぞれのアクセスを防止する/しないを選択することができます。
スループット(Throughput)	コンピュータが処理を行う速度を意味します。CPU、メモリ、ハードウェア等がそれぞれ影響しあった結果、すべての要素を通して、最終的に処理がどれほどの速度で行われるかを指します。
セッション(Session)	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態を意味します。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態になります。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集

【た行】

用語	説明
チャネル	無線LAN通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。 複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合があります。 その場合、なるべく各チャネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨します。
ドメイン(Domain)	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位を表します。

【な行】

用語	説明
ネットワークアドレス(Network Address)	IPアドレスの中のネットワークを識別する部分です。例えばサブネットマスクが255.255.255.0の場合は、IPアドレスの3つ目のピリオドまでの数字がネットワークアドレスになります。

【は行】

用語	説明
パケット	一定のサイズに分割されたデータの先頭に、データの属性や宛先などを付けたものです。
パケット通信	パケット化されたデータを送受信する通信のことです。携帯電話やISDN等で利用されています。
パススルー	信号を何の処理もしないで通過させることです。
パスワード(Password)	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号です。パスワードを設定するときは、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望まれます。
ひかり電話	NTT東日本/西日本提供のIP電話サービスです。
ビーコン	無線LANクライアント機器の接続を容易にするために無線LANアクセスポイント側で定期的に流している自身のSSIDを含んだパケットのことです。
ファームウェア	本商品に内蔵されていて、本商品の動作を制御するソフトウェアのことを指します。 ファームウェアは機能の追加や不具合の修正のために後から変更できるようになっており、バージョンアップを行うことで、最新機能をご利用いただくことができます。
ファイアウォール(Fire Wall)	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステムです。LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現しています。
プライベートIPアドレス	外部のネットワークに直接接続することのない端末に対し、企業や組織内で自由に設定できるIPアドレスです。インターネット通信は、ProxyサーバやNAT機構などを使って実現しています。
フレッツ・コネクト	フレッツ・コネクトはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客様同士による、IP電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。NTT東日本エリア全域のご利用者に提供をしております。
フレッツ・コミュニケーション	フレッツ・コミュニケーションはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客様同士による、IP電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。NTT西日本エリア全域のご利用者に提供をしております。
フレッツ・スクウェア	フレッツ・スクウェアは、フレッツ・ADSL、Bフレッツおよびフレッツ・ISDNご利用のお客様専用のサイトです。
プロキシサーバ(Proxy Server)	各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバです。

用語	説明
プロトコル (Protocol)	データ通信を行うために必要な取り決めを意味します。TCPやUDP、IPなどがあります。
プロバイダ (Internet Services Provider)	インターネットの接続サービスを提供している事業者を表します。
ポート転送 (Port Forwarding)	WAN側のポート番号、プロトコル種別とLAN側に接続された機器のIPアドレス、ポート番号を静的に対応付ける機能です。これにより、LAN側に位置するWebサーバをWAN側に開示するといったサーバホスティングが可能になります。
ポート番号 (Port Number)	TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号です。
ホスト名 (Host Name)	ネットワークを利用している機器に付加される名前です。DNSサーバによりIPアドレスと対応付けられています。

【ま行】

用語	説明
マルチキャスト (multicast)	ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。
マルチセッション (Multisession)	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態を意味します。
無線LANアクセスポイント	インフラストラクチャ通信での通信の中継点となるポイントです。有線LAN接続のパソコンでは、無線LANアクセスポイントと通信することで無線LAN接続のパソコンと通信します。

【ら行】

用語	説明
ルータ (Router)	LAN同士やLANとWANを接続するための中継装置です。
ルーティング (Routing)	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。
ルーティングテーブル (Routing Table)	ルーティングのときに参照するデータです。このデータにもとづいてルーティングを実行します。
レジスタサーバ (REGISTER Server)	各装置からの登録情報を受け付け、データベースに登録されている装置情報を更新するサーバです。

表紙
マニュアルの見かた
1 こんなときにはこの設定にする
2 本商品の設定画面
3 付録
目次
用語集